保証とアフターサービス

●必ずお読みください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の最低保有期間

● 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後８年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
● 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理とお取り扱いのご相談は

※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談、ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答などで販売店に修理のご相談が出来ない場合
『東芝家電修理ご相談センター』 ☎ 0120-1048-41

新製品などの商品選び、お取り扱い、お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』 ☎ 0120-1048-86
携帯電話、PHSからのご利用は（03)3426-1048（有料）

修理をご依頼されるときは～出張修理

● 143ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	BSデジタルハイビジョンチューナー
形名	TT-D2000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ お買い上げ店名	TEL（　　）　　ー

長年ご使用のチューナーの点検をぜひ !!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか
● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物が入った。

▶

● ご使用中止 ●
このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検 修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

本機は、このように正しくお使いください。 ●電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。

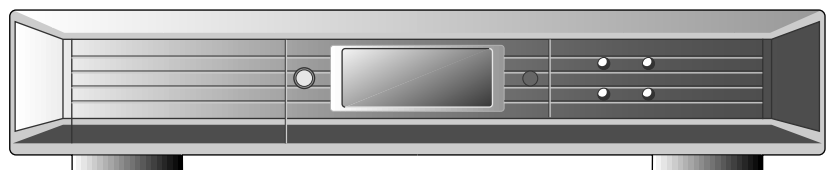
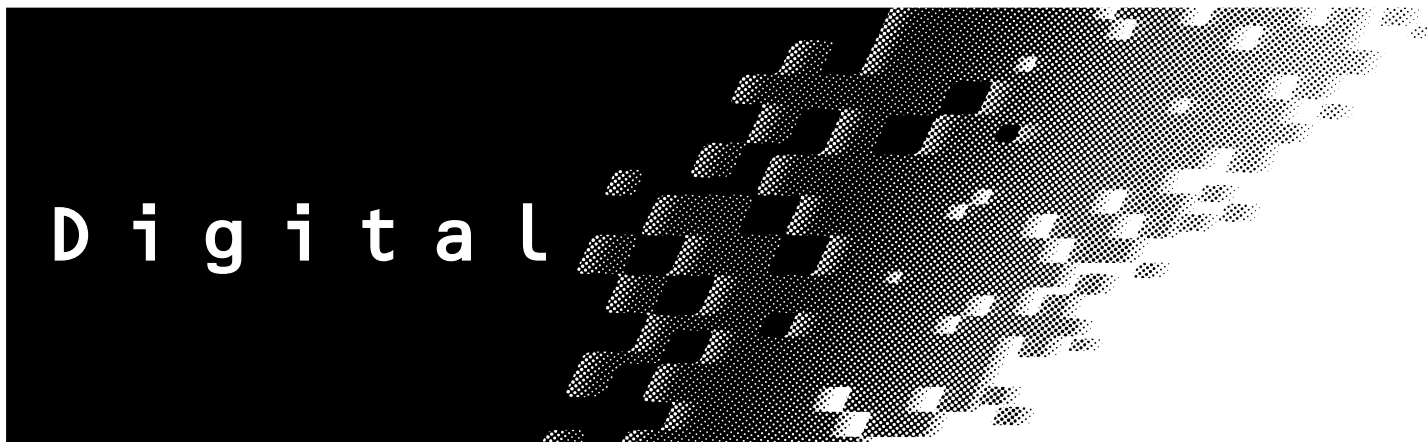
この取扱説明書は自然保護のためエコマーク認定のリサイクルペーパーを使用しています。

株式会社東芝
映像ネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦１丁目１番地１号 東芝ビルディング
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓣ 23552930A

東芝BSデジタルハイビジョンチューナー取扱説明書　TT-D2000

TOSHIBA　E&Eの東芝

● このたびは東芝BSデジタルハイビジョンチューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● お求めの商品を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
● お読みになった後は、いつも手元に置いてご使用ください。

形名
TT-D2000
東芝BSデジタルハイビジョンチューナー 取扱説明書

もくじ

ご使用の前に

番組を見る

便利な機能を使う

接続のしかた

設定のしかた

その他

ご使用の前に

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること”を示します。
⚠注意	“誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性のあること”を示します。

●傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。
●物的損害とは、家屋・家財などにかかわる拡大損害をいいます。

【図記号の意味】

図記号	図記号の意味
禁　止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
強　制	強制（実行していただきたいこと）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

⚠警告

異常や故障のとき

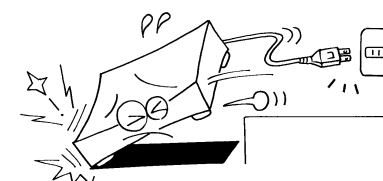
■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

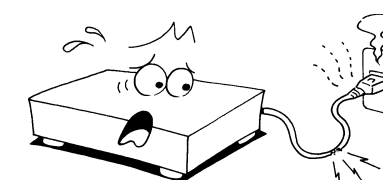
煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 内部に水や異物が入ったらすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

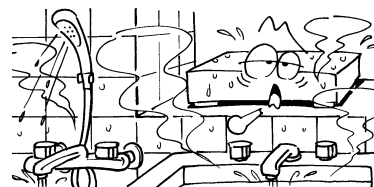
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

⚠警告

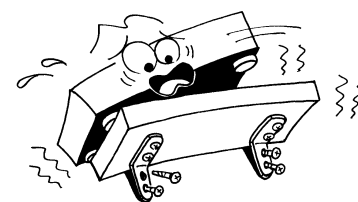
設置されるとき

■ 風呂、シャワー室には置かないこと

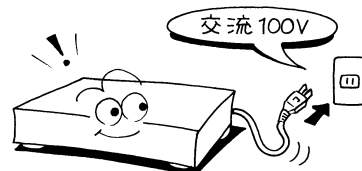
火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

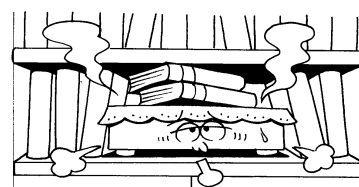
本体が落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。

禁　止

■ 電源プラグは交流 100V コンセントに接続すること

交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

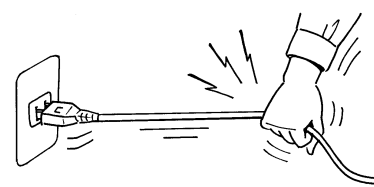
強　制

■ 通風孔を絶対にふさがないこと

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり､火災の原因になります。
- ●押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- ●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- ●新聞紙や雑誌などを上に置かないでください。
- ●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- ●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁　止

ご使用になるとき

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと､電源コードや電源プラグが傷つき火災･感電の原因となります｡電源プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

■ 修理・改造・分解はしないこと

内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

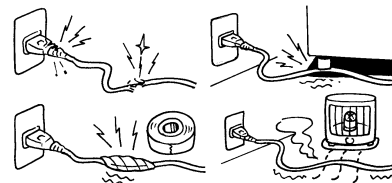
安全上のご注意 つづき

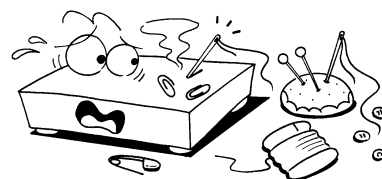
⚠警告

ご使用になるとき つづき

■ 電源コードは、

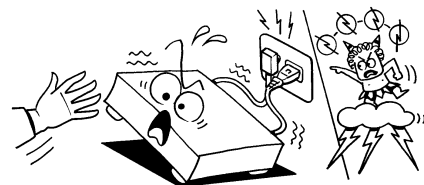
●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
●引っ張ったり、重い物を載せたり、はさんだりしないこと
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 水を入れたり、ぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本体・電源コード・アンテナ線に触れないこと

感電の原因となります。

お手入れについて

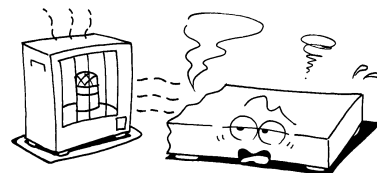
■ 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

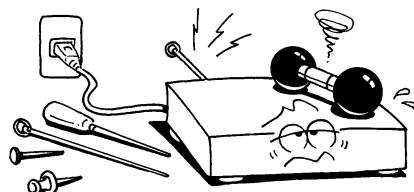
設置されるとき

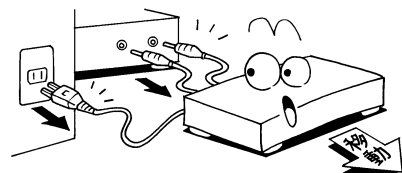
■ 温度の高い場所に置かないこと

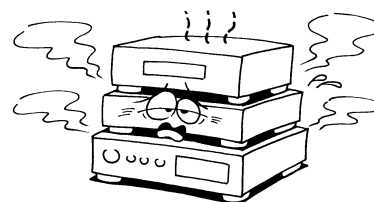
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと火災・感電の原因となることがあります。

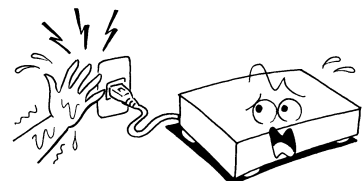
■ 上に物を置かないこと

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となることがあります。

■ 移動する場合は電源コード・アンテナ線・機器間との接続線をはずすこと

はずさないまま移動すると電源コードが傷つき火災・感電や、本体が転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 本体の上に他の機器(VTRなど)を乗せたり、本体を他の機器の上に乗せないこと

他の機器の発熱によって本体内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

ご使用になるとき

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

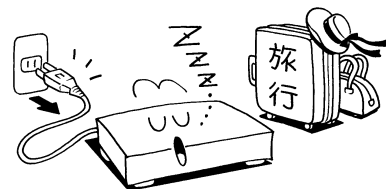
感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

ご使用になるとき つづき

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

■ リモコンに使用している乾電池は、

- **指定以外の電池は使用しないこと**
- **極性表示[(＋)と(－)]を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり・火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

これらを守らないと、液もれなどの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

■ 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください

本体の内部にほこりがたまったまま長期間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行なうとより効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

強　制

お願い

■アンテナの設置については、ご使用になるアンテナの取扱説明書をご覧ください。
（アンテナは送配電線から離れた、安全な場所を選び、堅固に設置してください。アンテナが倒れたり落下した場合、けがや感電事故の原因となることがあります。）

■本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。変質したり塗料がはげることがあります。

■お手入れについて
ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
お手入れの際は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布に含ませてよく絞った後、拭き取ってください。さらに、乾いた布で拭いてください。

本機の特長

ＢＳデジタル放送をハイクオリティピクチャーで！

●新開発の「高性能映像プロセッシングLSI」によって、高精細なデジタルハイビジョン映像（１１２５i,７５０p）を出力します。
●５２５i、５２５pなどにも対応、デジタルプロセッシング処理で高画質を実現しました。

デジタルならではのリアルサウンド！

●(●)TruSurround®の採用によって、映画などでより自然な臨場感をお楽しみいただけます。（→１１５ページ）

カンタン操作、簡単選局！

●番組表やスクロールナビゲーター、ジャンル検索などによって、BSデジタル放送をカンタン操作で選局できます。（→２４、２７、３１ページ）
●付属のビデオコントロールケーブルとテレビ画面に表示される番組表を使えば、BS番組の録画予約もカンタンに行うことができます。（→４７、８２ページ）
●リモコンと多彩なグラフィック画面表示で、楽しく操作できます。

期待が高まるデータ放送に対応

●BSデジタル放送のデータ放送に対応。（→３５ページ）

スマートメディア™、i.LINKなど、デジタルメディアに対応

●デジタルカメラでスマートメディア™に撮影した画像をテレビ画面でご覧になれます。（→４５ページ）
●D-VHSビデオをi.LINK接続すれば、BS番組の録画予約がカンタンに行えます。（→５０ページ）

BSデジタル放送とは

● BS デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン）・多チャンネルなテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載して 2000 年 12 月から放送開始の予定です。
● BS デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができますので（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC 方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに 5.1 チャンネルステレオのサラウンド放送も予定されています。

テレビ放送の特長

● デジタル化によってハイビジョン放送が多チャンネルになります。（7放送局での放送が予定されています）
● デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットが予定されています。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送（従来のBS放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インタレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インタレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● また、デジタルハイビジョン放送１番組と通常放送３番組を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送も予定されています。

ラジオ放送の特長

● 音声放送に加えて、静止画や動画を使ったデータつきの放送も予定されています。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の２種類が予定されています。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使い方がお楽しみいただける予定です。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がお楽しみいただける予定です。

■ 放送の種類と放送局の一覧（2000 年 9 月現在）

放送の種類	テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送	
チャンネル	100番台、200番台（101～209）	300番台、400番台（300～499）	600番台、700番台、800番台、900番台（600～999）	
放送局	NHK BS1	BS日テレ	NHK	ジェイエヌエフ
	NHK BS2	BS 朝日	BS日テレ	セント・ギガ
	NHKハイビジョン	BS−i	BS 朝日	メガポート
	BS日テレ（日本テレビ系）	BSジャパン	BS−i	WNI
	BS朝日（テレビ朝日系）	BSフジ	BSジャパン	デジキャス
	BS-i（TBS系）	WOWOW	BSフジ	NDBでーた
	BSジャパン（テレビ東京系）	BSC	WOWOW	BS955
	BSフジ（フジテレビ系）	ミュージックバード	スター・チャンネル	メディアーク
	WOWOW	ジェイエヌエフ	BSC	ch999
	スターチャンネル	セント・ギガ	ミュージックバード	ー

＊各放送で視聴できるチャンネルは放送されているチャンネルとなります。
＊放送局によっては、テレビ放送やラジオ放送にあわせた番組連動データ放送も予定されています。
＊2000年9月現在予定されている内容です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

必ずお読みください

お問い合わせ先について

- 受信契約など放送受信についてのお問い合わせは、各放送事業者にご連絡ください。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードについて

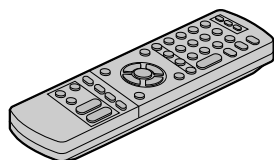
- B-CASカードは、有料放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要となるものです。常に本体に挿入しておいてください。また、B-CASカードの登録は必ず行ってください。
- 詳しくは、カードが添付されていた台紙の説明をご覧ください。
- カードが紛失、盗難にあった場合や、破損、汚損が生じた場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（カード添付の台紙を参照）にご連絡ください。

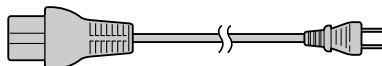
取扱説明書について

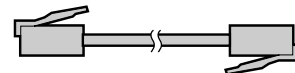
- この取扱説明書に記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- この取扱説明書において受信画面の図などに記載されている、番組名などは架空のものです。
- この取扱説明書に記載されている機能は、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 画面に表示されるアイコン（絵文字）は「アイコン一覧」（→139ページ）をご覧ください。

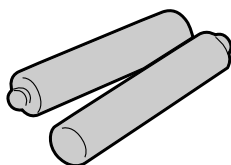
付属品

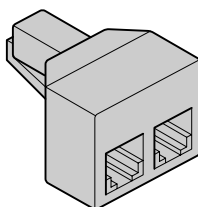
●本機には下記の付属品があります。お確かめください。

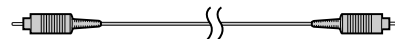
リモコン

1 個

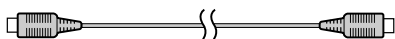
電源コード

1 本

電話機コード

1 本

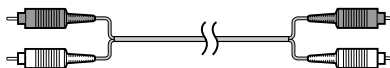
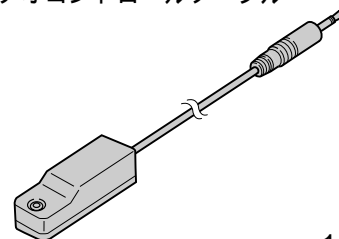
単四形乾電池 R03（UM-4）

2 本

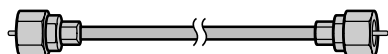
モジュラー分配器

1 個

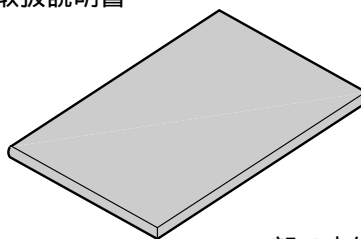
映像用コード

1 本

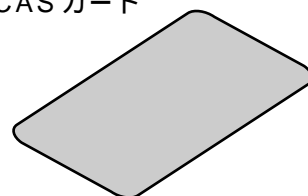
S 映像用コード

1 本

音声用コード（ステレオ）

1 本

ビデオコントロールケーブル

1 本

F 型コネクター付ケーブル（アンテナケーブル）

1 本

取扱説明書

1 部（本紙）

ビーキャス
B-CAS カード

B-CAS カードは説明紙に付いています。

1 枚

BSデジタル放送をご覧いただくための準備

●下記の手順に従って、準備を行ってください。

リモコンに乾電池を入れる (→16ページ)

▼

B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する (→66ページ)

▼

アンテナ線を接続する (→67ページ)

▼

電話回線を接続する (→68、69ページ)

▼

テレビやビデオなどの各機種と接続する (→70～87ページ)

・テレビへの接続は、テレビの種類(ワイドテレビ[16:9]/通常のテレビ[4:3])や接続する映像入力端子に応じた設定が必要です。
お買い上げ時は、本機に付属のS映像用コードまたは映像用コードを接続して見る設定になっています。

▼

はじめての設定をする (→88～110ページ)

▼

簡易確認テストをする (→111ページ)

▼

B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする (B-CASカードに添付されている説明紙を参照)

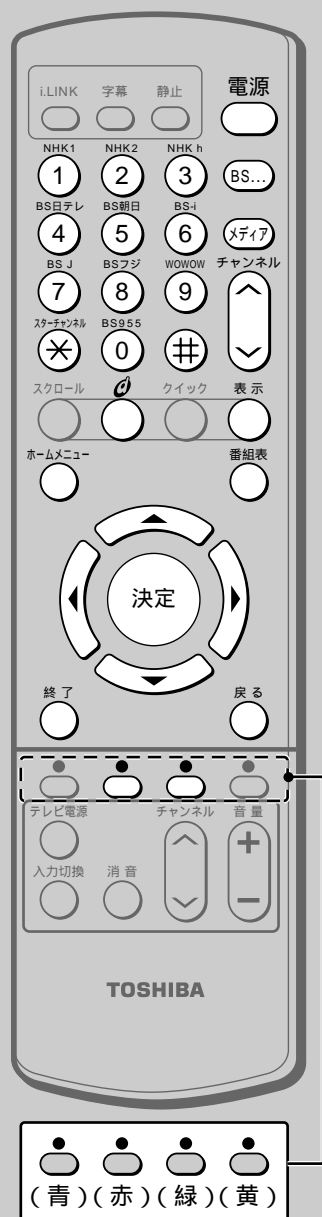
▼

加入契約をする (→146～149ページおよび付属の加入申込書を参照)

● B-CASカードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を加入申込書に必ず貼ってください。

カンタン操作ガイド

● 簡単操作ガイドでは基本の操作だけを記載しています。
● 各機能について、詳しくは（　）内の参照ページをご覧ください。

（青）（赤）（緑）（黄）

●番組を選ぶ前の準備

①テレビの電源を入れ、本機を接続しているビデオ入力に切り換える
②本機の電源ボタンを押して、電源を入れる

●番組の選びかた

本機には、次のような番組の選びかたがあります。

チャンネルを直接選ぶとき（詳しくは、22ページ）

①チャンネルダイレクトボタンを押してチャンネルを選ぶ

チャンネルを順番に選ぶとき（詳しくは、23ページ）

①メディアボタンを押して、放送メディアを選ぶ

● 押すごとに、テレビ→BSラジオ→BSデータと切り換わります。

● BSのテレビ放送を見る場合は「テレビ」を選んでください。

②チャンネル ︿・﹀ ボタンで選ぶ

チャンネル番号を指定して選ぶとき（詳しくは、23ページ）

①BS…ボタンを押し、続けて数字ボタン（3桁）を押してチャンネルを選ぶ

● 例.BS231チャンネルを選ぶ場合(BS…)②③①と押す。

番組表で選ぶとき（詳しくは、24ページ）

①番組表ボタンを押す

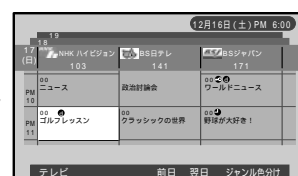
● 番組表が表示されます。

②カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、番組を選ぶ

● 表示ボタンを押すと選んでいる番組の説明を見ることができます。

今、選んでいる番組です。

③決定ボタンを押す

● 現在放送中の番組を選んだ場合は、選んだ番組が選局されます。
● 今後放送となる番組を選んだ場合は、予約設定へと進みます。（→47ページ）

●こんなこともできます!!

BSデジタル放送の番組を予約する （詳しくは、47ページ）

●本機の予約動作に連動してビデオをコントロールし録画予約をカンタンに行うことができます。

BSデータ放送を楽しむ （詳しくは、35ページ）

●番組連動データ放送

・番組を見ながらいろいろな情報をチェックできます。

①ⓓボタンを押す

・番組連動データ放送を受信するとⓓマークが表示されます。

②画面に表示される操作指示に従って操作する

③[BSデータ放送を終了するには]
終了ボタンを押す

●独立データ放送

・ニュース、天気予報などの情報をお楽しみいただけます。

①メディアボタンを押し、データを選ぶ

・メディアボタンを押すごとに、テレビ→BSラジオ→BSデータと切り換わります。

②番組表などでデータ放送番組を選ぶ

③画面に表示される操作指示に従って操作する

④[BSデータ放送を最初から受信しなおすには]
終了ボタンを押す

ホームメニューで便利な機能を使う （詳しくは、28ページ）

●テレビ画面にホームメニューを表示させて、次のような便利な機能が使えます。

- **ジャンルを指定して番組を選ぶ（詳しくは31ページ）**
  映画、スポーツなどのジャンルを指定して番組を選ぶことができます。
- **お気に入りのチャンネルを選ぶ（詳しくは29ページ）**
  あらかじめ登録したお気に入りのチャンネルを選べます。
- **デジタルカメラでスマートメディア™に記録した画像を見る（詳しくは45ページ）**

●こんなことがしたいとき

番組についての情報が見たいとき （詳しくは、33ページ）

● 番組を受信しているときに、表示ボタンを押す

- 番組についての情報が表示されます。
- 表示が数秒後に消えます。
- 情報表示画面に「●（赤）番組説明」の表示がでている状態で赤色ボタンを押すと現在視聴中の番組についての説明を見ることができます。
- 情報表示画面に「●（緑）詳細説明」の表示がでている状態で緑色ボタンを押すと現在視聴中の番組についてのさらに詳しい説明を見ることができます。

操作の途中で前の画面に戻りたいとき

● 選局や設定の途中などで、前の画面に戻りたい場合は、戻るボタンを押す

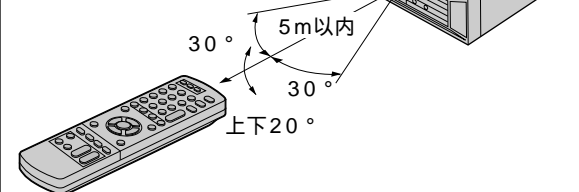
- その時のモードによっては、前画面に戻れない場合があります。

操作の途中で通常の画面に戻りたいとき

● 選局や設定の途中などで、通常の画面に戻りたい場合は、終了ボタンを押す

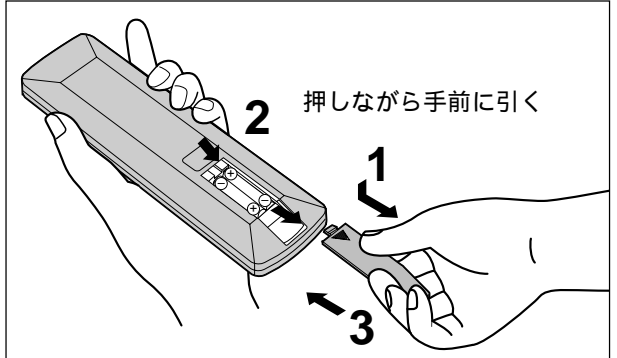
リモコンの準備

リモコンの使用範囲

● リモコンは本体の受光部に向けて使用してください。

乾電池の入れかた

1 裏側のフタをはずす

2 単四形乾電池R03（UM-4）を2個、⊕ ⊖を確かめて入れる

3 フタをもとどおりに付ける

⚠注意	・指定以外の電池は使用しないこと ・乾電池の極性表示[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと これらを守らないと、液もれなどの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

リモコンでテレビを操作する

● 本機のリモコンで、国内メーカー１１社のテレビを操作することができます。お買い上げ時は、東芝製テレビが動作するように設定されています。他のメーカーのテレビをご使用の場合は、次の操作でメーカー設定を行ってください。

1 テレビ電源ボタンを押しながら、数字ボタンでメーカー番号を入力する

テレビ電源

● メーカー番号は、右の表をご覧ください。

2 テレビ操作用ボタンを押して、テレビが動作することを確認する

メーカー	番号
東芝	００
松下　A	０１
松下　B	０２
シャープ　A	０３
シャープ　B	０４
三菱　A	０５
三菱　B	０６
日本ビクター	０７
日立	０８
三洋　A	０９
三洋　B	１０
ソニー	１１
ＮＥＣ	１２
富士通ゼネラル	１３
パイオニア	１４

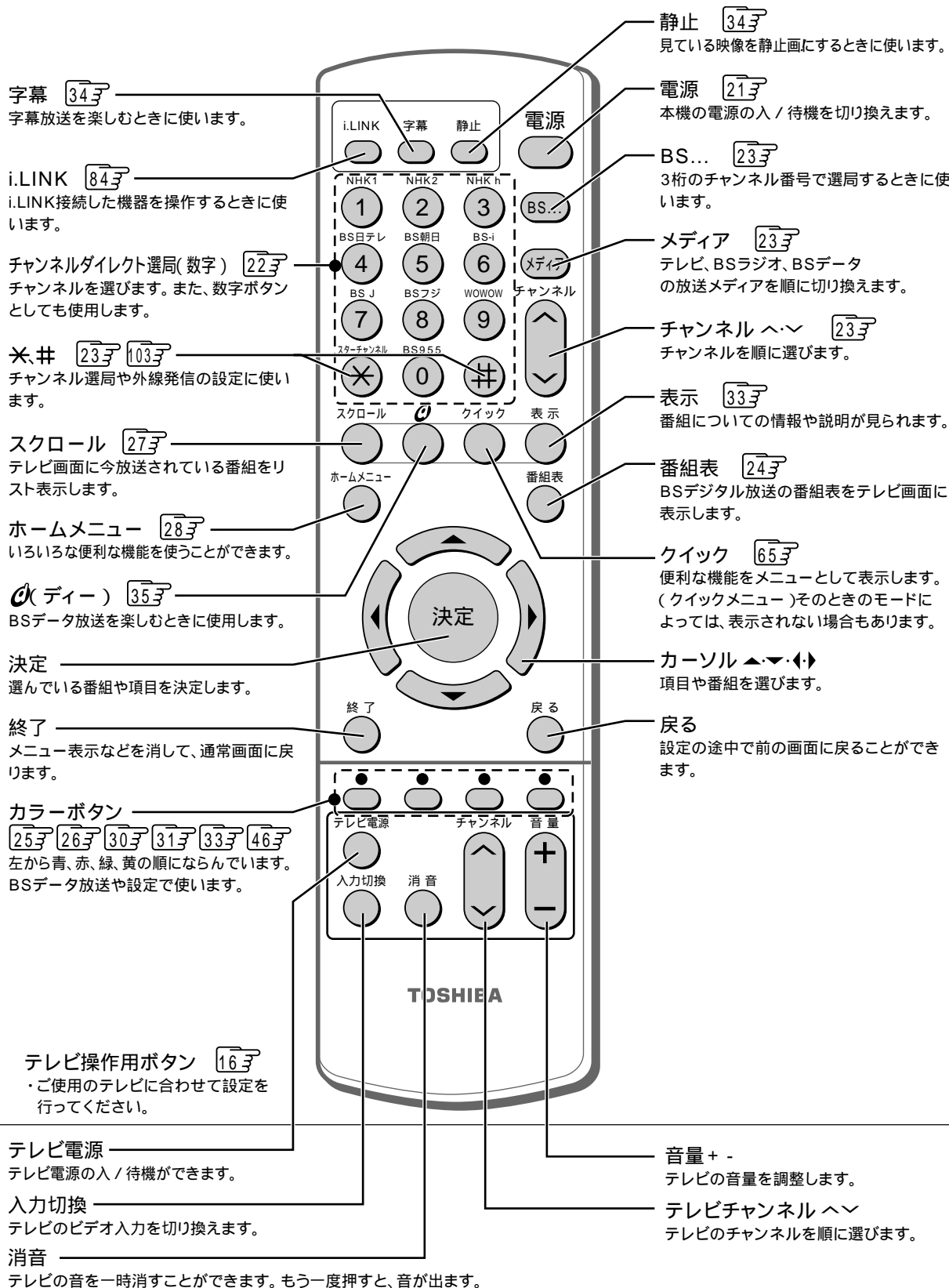
● 安全のご注意（→8ページ）もあわせてご覧ください。
● 乾電池の寿命は約1年です。（ご使用状況によって変わります。）リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら2個とも新しい乾電池と交換してください。
● メーカーによっては、Ａ・Ｂ2種類のメーカー番号が用意されています。
テレビが動作する方に、設定してください。
● 設定した内容は、乾電池交換でお買い上げ時の設定に戻ることがありますので、その場合はもう一度設定してください。

● テレビの機種によっては、操作できない場合や、一部のボタンが動作しない場合があります。

各部のなまえとはたらき

●イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

リモコン

●詳しくは 内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

各部のなまえとはたらき つづき

本体前面部

●詳しくは☞内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

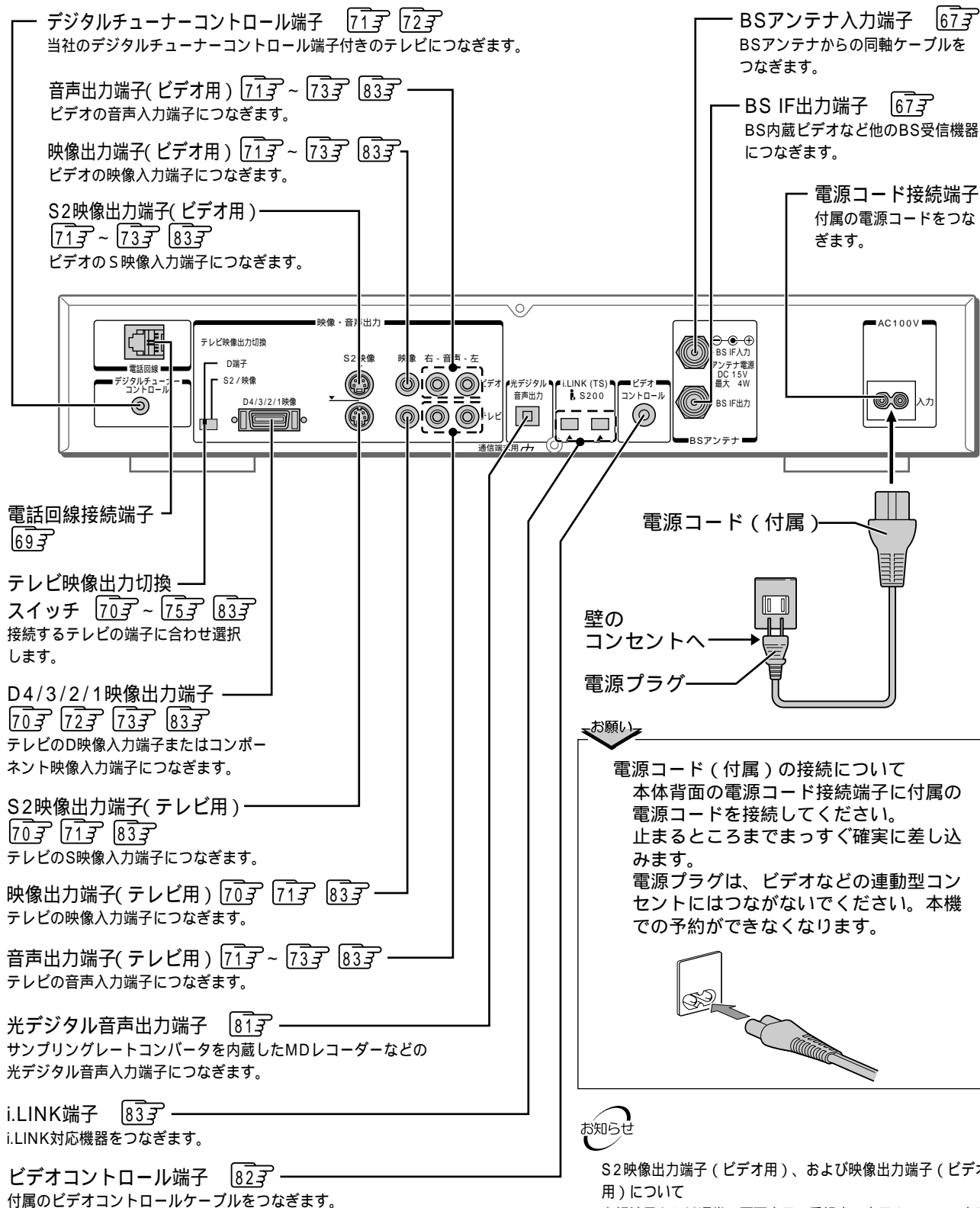
本体背面部

●詳しくは☞内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

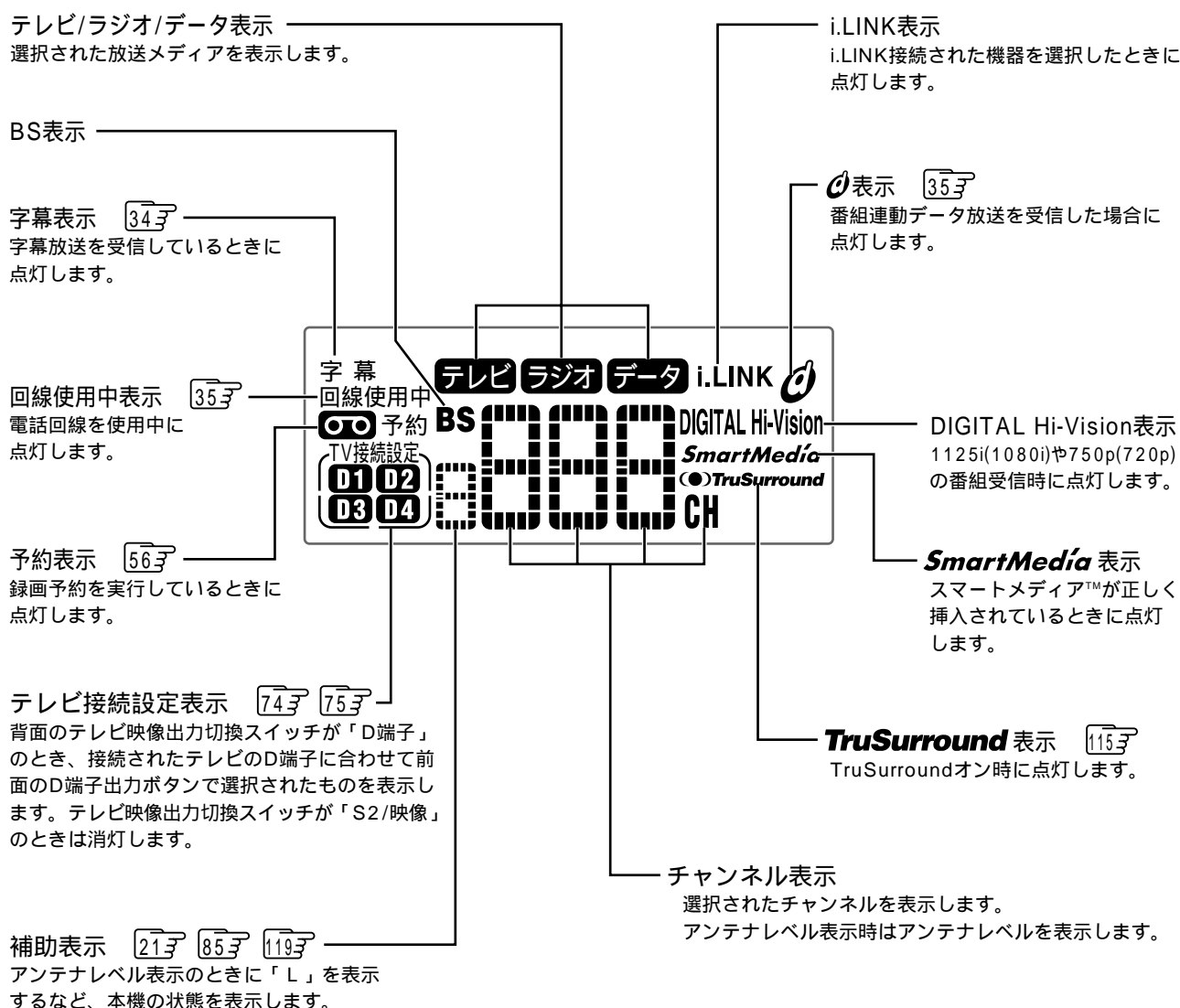
お願い

■**電源コード(付属)の接続について**
- 本体背面の電源コード接続端子に付属の電源コードを接続してください。
- 止まるところまでまっすぐ確実に差し込みます。
- 電源プラグは、ビデオなどの連動型コンセントにはつながないでください。本機での予約ができなくなります。

お知らせ

■**S2映像出力端子(ビデオ用)、および映像出力端子(ビデオ用)について**
- 上記端子からは通常、画面表示(番組表の表示やメニュー表示など)は出力されません。
  また、「テレビ映像出力切換スイッチ」に関係なく、常時映像が出力されます。

各部のなまえとはたらき つづき

表示窓部

●詳しくは☞内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

番組を選ぶ前の準備

●テレビの操作方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

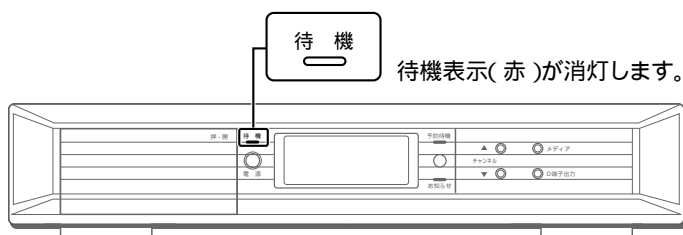
1 テレビの電源を入れる

2 テレビのビデオ入力を切り換える

●本機を接続しているビデオ入力に切り換えます。
●接続するテレビに合わせ本機の設定が必要です。詳しくは70ページをご覧ください。

3 本機の電源を入れる

電源

●電源ボタンを押して、電源を入れます。
●映像が出るまでしばらく時間がかかる場合があります。

● 電源ボタンを押した後、本体の「表示窓」にチャンネル番号が表示されるまでの間（「－－－」が表示されている間）は操作ボタンは働きません。

4 番組を選ぶ

●番組を選ぶ方法には以下の方法があります。詳しくは（　）内のページをご覧ください。

チャンネルダイレクト選局ボタンで選ぶ　☞（22ページ）

チャンネル ∧・∨ ボタンで選ぶ　☞（23ページ）

チャンネル番号を指定して選ぶ　☞（23ページ）

番組表で選ぶ　☞（24ページ）

スクロールナビゲーターで選ぶ　☞（27ページ）

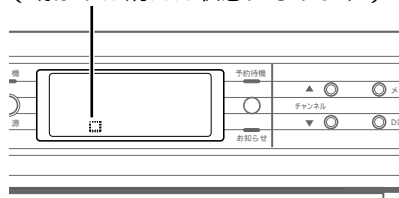
ホームメニューで選ぶ　☞（28ページ）

ジャンルから選ぶ　☞（31ページ）

■本機の電源を切るには

●電源が入っているときに電源ボタンを押す
・ 電源が切れて「待機」になります。
・ 本体前面の待機表示（赤）が点灯します。

■「待機」について

● 本機の「待機」には次の2つの種類があります。
①通常の「待機」
・本体前面の「表示窓」には何も表示されません。
「表示窓」の明かりも消えた状態になります。
②自動的にBSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行うときの「待機」
・本体前面の「表示窓」部は右のようになります。
（明かりは消えた状態になります）
一時的に「表示窓」部の明かりがつくことがありますが、故障ではありません。明かりは数秒後に消えます。
● 上記の2つの待機状態は本機が自動的に切り換えます。

「ロ」が表示されます。
（明かりは消えた状態になります）

本体の前面部

チャンネルダイレクト選局ボタンで選ぶ

● **チャンネルダイレクト選局ボタンを押して、チャンネルを選ぶ**

- お買い上げ時、チャンネルダイレクト選局ボタンは、下表のように設定されています。
- チャンネルダイレクト選局ボタンの設定を変更することもできます。112ページのチャンネル設定をご覧ください。

お買い上げ時の状態

リモコンのボタン	設定されている内容	チャンネル
①（NHK1）	NHK BS1	101
②（NHK2）	NHK BS2	102
③（NHKh）	NHK ハイビジョン	103
④（BS日テレ）	BS日テレ	141
⑤（BS朝日）	BS朝日	151
⑥（BS-i）	BS-i	161
⑦（BSJ）	BSジャパン	171
⑧（BSフジ）	BSフジ	181
⑨（WOWOW）	WOWOW	191,192,193
⊛（スターチャンネル）	スターチャンネル	200
⓪（BS955）	BS955	955
⊕	WNI	910

※）⑨（WOWOW）については⑨ボタンを押すごとに191→192→193と選局できます。

こんな設定もできる!

- チャンネルダイレクトボタンを押すごとに同じ放送局の複数のチャンネルを切り換えて選ぶことができます。
  詳しくはチャンネル設定の「こんな設定もできる!」（→113ページ）をご覧ください。

- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
  購入のしかたは38ページをご覧ください。
- 録画予約、BS一発録画の実行中は、チャンネルを切り換えることはできません。

チャンネル ∧・∨ ボタンで選ぶ

1 メディアボタンを押して、放送メディアを選ぶ

● 押すごとに、テレビ→BSラジオ→BSデータと切り換わります。
● テレビモード…BSデジタル放送のテレビチャンネルをご覧になれます。
● BSラジオモード…BSデジタル放送のラジオチャンネルをお楽しみになれます。
● BSデータモード…BSデジタル放送のデータチャンネルをお楽しみになれます。

2 チャンネル ∧・∨ ボタンでチャンネルを選ぶ

● 手順**1**で選んだ放送メディアのチャンネルを選ぶことができます。

NHK-BS
BS 103
ステレオ

お知らせ

● 本体のチャンネル ∧・∨ やメディアボタンでも同じように選ぶことができます。
● チャンネルのない放送メディアには切り換えられません。

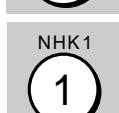
チャンネル番号を指定して選ぶ

● BS…ボタンを押し、続けて、数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

BS…

● 例えば、BS231チャンネルを選ぶ場合 …
(BS…)(2)(3)(1)と押す
● 存在しないチャンネルは選べません。

見たいチャンネルの番号がはっきりとわからない場合

NHK2 (2)　NHK h (3)　NHK1 (1)

● ✳ボタンを使って、次のように選ぶことができます。
● 例1.300番台のチャンネルを見たいとき
BS…3✳((BS…)(3)(✳))と押す
→300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。
● 例2.250番台のチャンネルを見たいとき
BS…25✳((BS…)(2)(5)(✳))と押す
→250番台で放送が行なわれている一番小さい番号のチャンネルが選局されます。
放送が行なわれているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

● ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
購入のしかたについては38ページをご覧ください。

● 録画予約、BS一発録画の実行中は、チャンネルを切り換えることはできません。

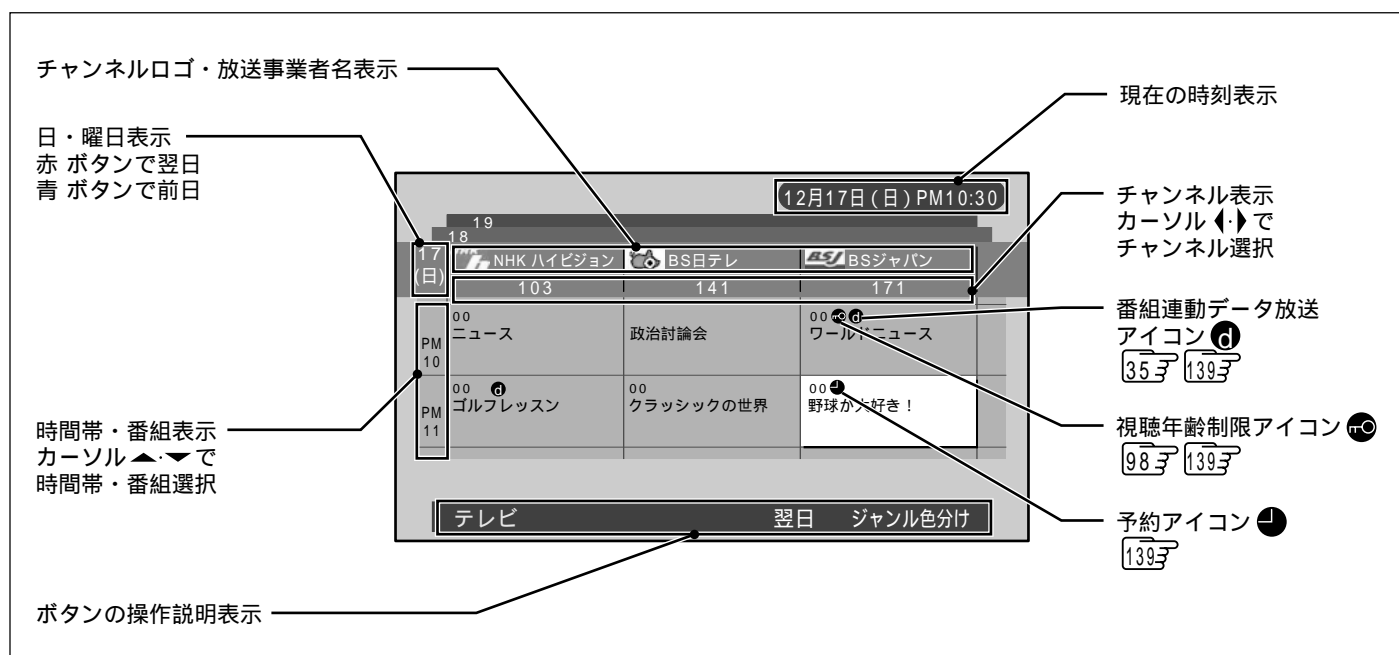
番組表で選ぶ

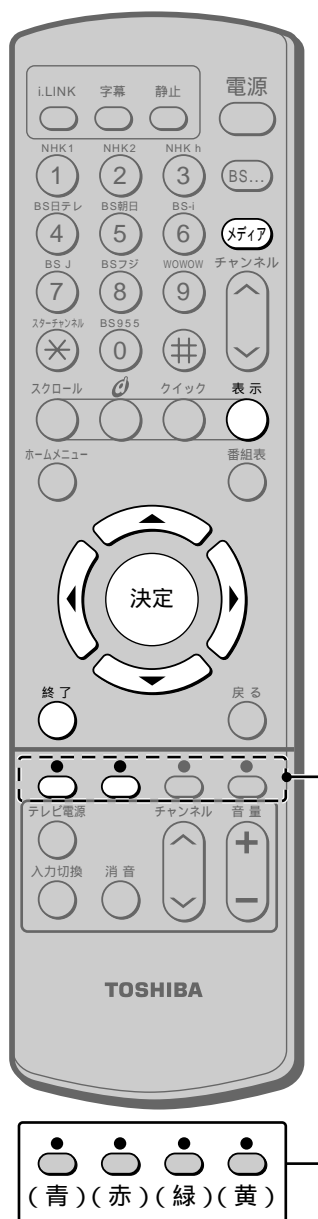
●テレビ画面に番組表を表示させて、番組を選ぶことができます。

番組を選ぶ

1 番組表ボタンを押す

番組表

●番組表が表示されます。

- 電源を「入」にした直後は番組が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- BSデータ放送を視聴しているときは番組表に切り換えられない場合があります。その場合はデータ放送を終了してから操作してください。

（青）（赤）（緑）（黄）

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで番組を選ぶ

- カーソル ◀·▶ ボタンでチャンネルを選べます。
- カーソル ▲·▼ ボタンで先の時間帯に進むことや、前の時間帯に戻ることができます。
（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - 放送メディアについては、23ページの手順1をご覧ください。

番組についての説明を見たいとき

①表示ボタンを押す
- 番組についての説明が見られます。

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

翌日の番組表を見たいとき

- **赤ボタンを押す**

前日の番組表を見たいとき

- **青ボタンを押す**

番組表をジャンルごとに色分け表示する

- 次ページをご覧ください。

3 決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（48または50ページの手順**2**以降の操作）
- 予約設定が終わると番組表画面に戻ります。予約した番組には◕が表示されます。
- 予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→55ページの手順**3**）

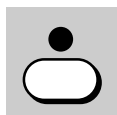
番組表表示を終了したい場合

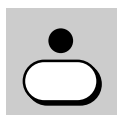
- 終了ボタンを押す。

- 臨時放送サービスは、番組表に表示されません。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 送られてくる日数は最大7日後までですが、チャンネルによって異なる場合があります。
- カーソル ▲·▼ ボタンで現在の日時より前の時間帯には移動できません。

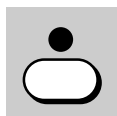
番組表で選ぶ つづき

番組表をジャンルごとに色分け表示するには

1 番組表が表示されている状態で、黄色ボタンを押す

- 番組表が色分けモードになり、青色ボタンに登録されているジャンルで色分け表示されます。

2 青、赤、緑のいずれかのボタンを押して色分けするジャンルを指定する

- お買い上げ時は、各ボタンに次のように設定されています。
  - ・ 青ボタン…映画
  - ・ 赤ボタン…スポーツ
  - ・ 緑ボタン…音楽
- 色分け表示されているジャンルと同じカラーボタンを押すと、そのジャンルの番組にカーソルが順次移動します。

3 色分けしていない番組表に戻すには黄色ボタンを押す

- ジャンル設定を変更するときは「設定されているジャンルを変更したいとき」（→32ページ）をご覧ください。

スクロールナビゲーターで選ぶ

●テレビ画面に今放送されている番組をリスト表示させて、番組を選びます。

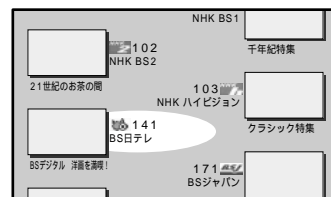
1 スクロールボタンを押す

● スクロールナビゲーターが表示され、自動的にスクロールが始まります。
● チャンネルが4つ以下の場合は自動スクロールはしません。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで、選局したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す

● カーソル ▲・▼ ボタンを押すと、スクロールが一時止まります。
引き続きカーソル ▲・▼ ボタンを押してチャンネルを選んでください。
● 決定ボタンを押すとスクロールナビゲーターが消え、選んでいるチャンネルが選局されます。
● 決定ボタンやカーソル ▲・▼ ボタンを押さない状態で数秒経過すると、再び自動スクロールが始まります。

スクロールナビゲーター表示を終了したい場合

● 終了ボタンを押す

● BSラジオ放送やBSデータ放送のチャンネルは表示されません。
● BSデータ放送を受信しているときは、スクロールナビゲーターに切り換わらない場合があります。
● スクロールナビゲーター中のＢＧＭ（背景音）は、出ないように設定することもできます。（→117ページ）
● 自動スクロール中に他の操作をすると、スクロールする方向が変わったり、スクロールが一時止まる場合があります。
● スクロールナビゲーター表示中は、ビデオ用のS2映像出力端子または映像出力端子および音声出力端子からは、信号が出力されません。

ホームメニューで選ぶ

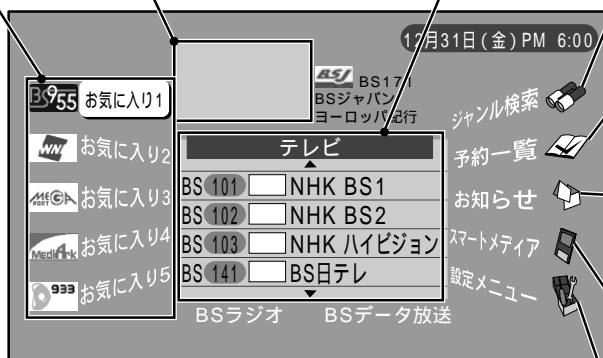
ホームメニューについて

● ホームメニューを表示させて、いろいろな機能を使うことができます。

● ホームメニューボタンを押す

● ホームメニューが表示されます。
● カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンでアイコンを選んで、決定ボタンを押すことによって、いろいろな機能が使えます。

直前に視聴していたチャンネルが表示されます。
(映像がある場合に表示されます。)

あらかじめ登録してあるとBSデジタル放送を簡単に選局できます。
29

テレビ、BSラジオ放送、またはBSデータ放送のチャンネルリストが表示されます。
このリストから選局することができます。
30

ジャンルを指定して番組を探すときに使います。
31

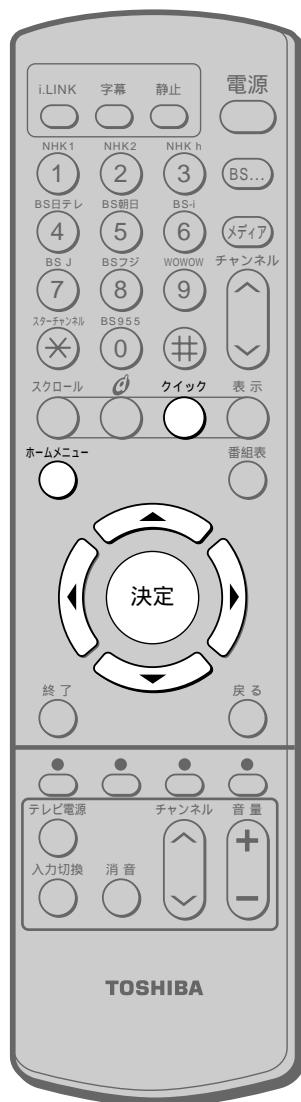
予約一覧を見るときに使います。
55

放送局からのお知らせや本機に関するお知らせを見ることができます。
64

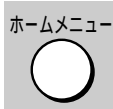
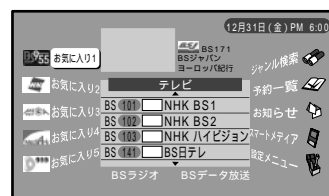
スマートメディア™に記録した、デジタルカメラの画像を見るときに使用します。
45

設定メニューを表示します。

12月31日 (金) PM 6:00
BS171
BSジャパン
ヨーロッパ紀行
お気に入り1
お気に入り2
お気に入り3
お気に入り4
お気に入り5
テレビ
BS 101 NHK BS1
BS 102 NHK BS2
BS 103 NHK ハイビジョン
BS 141 BS日テレ
●BSラジオ ●BSデータ放送
ジャンル検索
予約一覧
お知らせ
スマートメディア
設定メニュー

● BSデータ放送受信中は、ホームメニューに切り換えられない場合があります。

お気に入りで選局する

選局のしかた

1 ホームメニューボタンを押す

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで、「お気に入り1、2、3、4、5」のどれかを選び、決定ボタンを押す

■お買い上げ時に設定されている内容

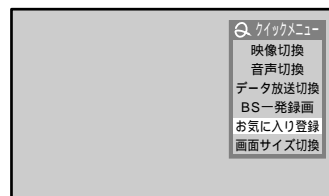
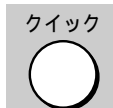
アイコン（絵文字）	設定されている内容	チャンネル	BSデジタル放送の種類
お気に入り1	BS955	955	BSデータ放送
お気に入り2	WNI	910	BSデータ放送
お気に入り3	メガポート	900	BSデータ放送
お気に入り4	メディアーク	963	BSデータ放送
お気に入り5	デジキャス	933	BSデータ放送

チャンネルの登録のしかた

● BSデジタル放送を5チャンネル登録できます。

1 登録したいチャンネルを選局する

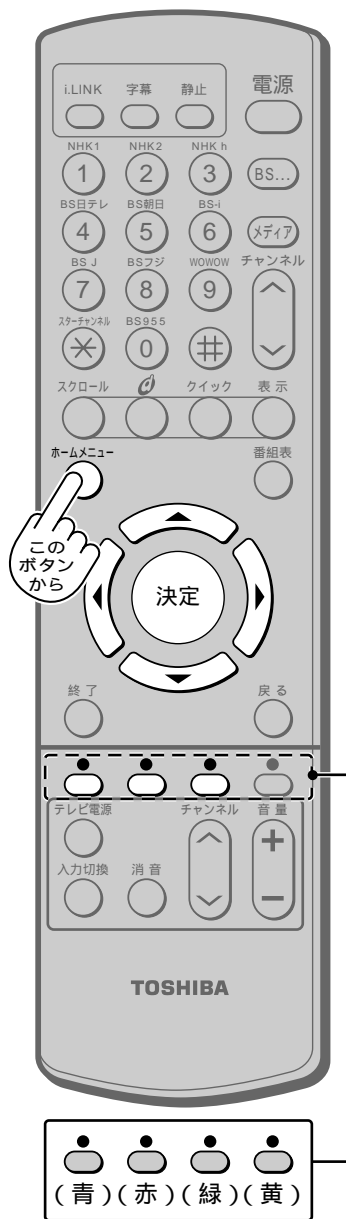
2 クイックボタンを押し、カーソル ▲·▼ ボタンで「お気に入り登録」を選び、決定ボタンを押す

● お気に入り登録画面になります。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 カーソル ▲·▼ ボタンで登録する所を選んで、決定ボタンを押す

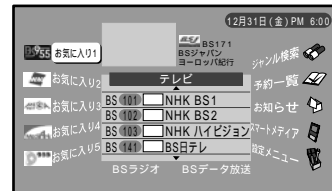
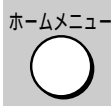
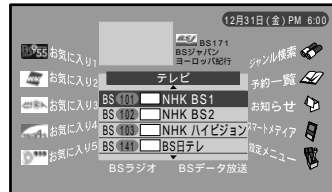
● 手順**1**で選局したチャンネルが登録され、数秒後に通常画面に戻ります。
● すでに登録済みの場所を選んだ場合は、登録済みのチャンネルは取り消され、手順**1**で選んだチャンネルが登録されます。

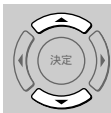
番組を見る

ホームメニューで選ぶ つづき

ホームメニューのチャンネルリストで選局する

● チャンネルリストを使って、BSデジタル放送を選局することができます。

1 ホームメニューボタンを押す

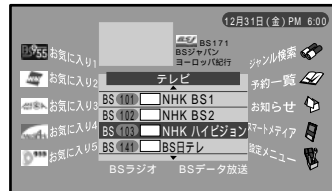
● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、カーソルをチャンネルリストに移動する

3 カーソル ▲・▼ ボタンでチャンネルを選ぶ

表示の上、下に ▲・▼ マークがある場合は、カーソル ▲・▼ ボタンで先に進めます。

テレビ放送のチャンネルリストを見るとき

● **青ボタンを押す**

BSラジオ放送のチャンネルリストを見るとき

● **赤ボタンを押す**

BSデータ放送のチャンネルリストを見るとき

● **緑ボタンを押す**

● チャンネルが存在しない放送メディアには、切り換えることはできません。

4 決定ボタンを押す

● 選局されます。

● 臨時放送サービス放送のチャンネルはリストに表示されません。

ジャンルから選ぶ

● 電源を「入」にした直後は検索できない場合があります。
● 該当する番組がない場合は検索結果画面に「該当する番組はありません」が表示されます。
● お買い上げ時の設定内容は、次のとおりです。
映画、スポーツ、音楽、ニュース･報道、ドラマ、バラエティ、教養･ドキュメンタリー、趣味･教育、福祉、情報･ワイドショー、劇場･公演、アニメ･特撮

番組の選びかた

● 映画、スポーツなどのジャンルを指定して、番組を探したり、選局することができます。
● ジャンル情報が送られてくるのは最大7日後までですが、チャンネルによって異なります。
ジャンルについての情報が送られていない番組については検索されません。
● お買い上げ時には、あらかじめ12個のジャンルが設定されています。（左下の「お知らせ」参照）
お好みに応じて、これらを変更することもできます。（→次ページ）

1 ホームメニューボタンを押す

● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲･▼･◀･▶ ボタンで「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

● ジャンル指定画面になります。

● メディアボタンで、テレビモード、BSラジオモード、BSデータモードを切り換えられます。
放送メディアについては23ページの手順**1**をご覧ください。

3 カーソル ▲･▼･◀･▶ ボタンでジャンルを選び、決定ボタンを押す

● 検索が始まり、検索結果が順次表示されます。

検索結果を切り換えるとき

● **赤ボタンを押すと翌日のはじめの番組にカーソルが移動します**
● **青ボタンを押すと前日のはじめの番組にカーソルが移動します**
・ 翌日、前日に該当する番組がない場合は、該当する番組がある日までカーソルがジャンプします。
・ 該当が多い場合、すべての番組を検索できないことがあります。その場合は操作ガイドに「●（緑）続き」が表示されます。
緑ボタンを押すとつづきを検索できます。
ただし、前の検索結果に戻ることはできません。

番組についての説明を見るには

①表示ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 カーソル ▲･▼ ボタンで選局、または予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

● 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

● 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（48または50ページの手順2以降の操作）
● 予約設定が終わると検索結果の画面に戻ります。

ジャンル検索を終了したい場合

● 終了ボタンを押す。

ジャンルから選ぶ つづき

設定されているジャンルを変更したいとき

1 ホームメニューボタンを押す

● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソル ◀·▶ で「視聴設定」を選ぶ

4 カーソル ▲·▼ で「ジャンル検索設定」を選んで、決定ボタンを押す

● ジャンル検索設定の画面になります。

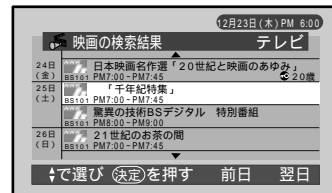
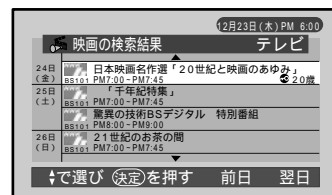
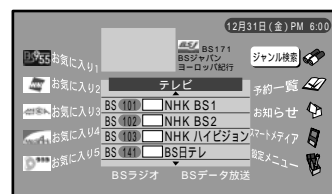
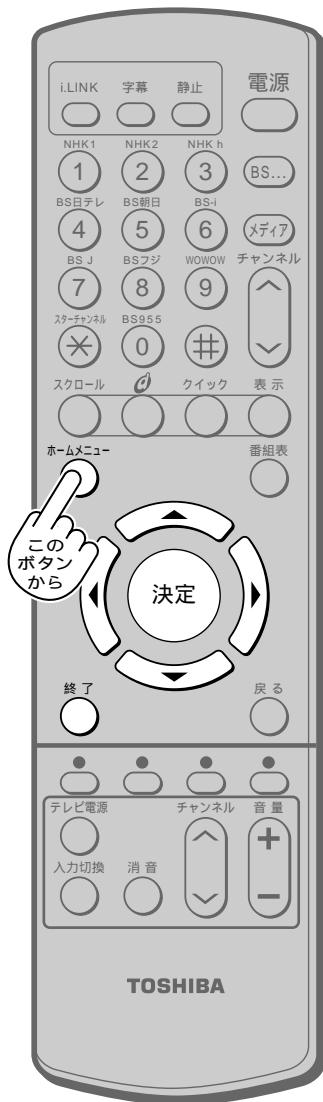
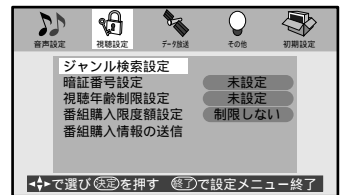
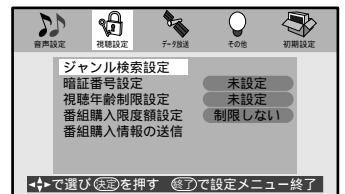
5 カーソル ▲·▼·◀·▶ で登録する場所を選び、決定ボタンを押す

● カーソルが右側のジャンルリストに移動します。すでに登録されている場所を選んだ場合は、新しく変更されます。

6 カーソル ▲·▼ で登録したいジャンルを選び、決定ボタンを押す

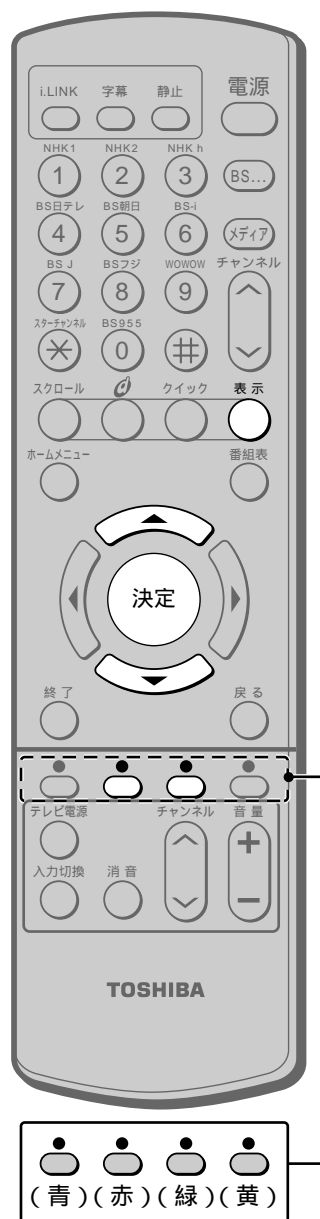
● ジャンルが登録されます。
● 戻るボタンを押すと、手順5に戻ります。

表示の上、下に ▲·▼ マークがある場合は、カーソル ▲·▼ ボタンで先に進めます。

お知らせ

- 登録されているジャンルの左上から三つ目までは、青色、赤色、緑色の順に番組表での色分け表示（→26ページ）に割り当てられます。
- お買い上げ時状態に戻すには、
  ①手順5の画面でカーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す
  ②カーソル ◀·▶ ボタンで「ジャンル検索設定をお買い上げ時の状態に戻しますか？」の画面で「はい」を選び決定ボタンを押す

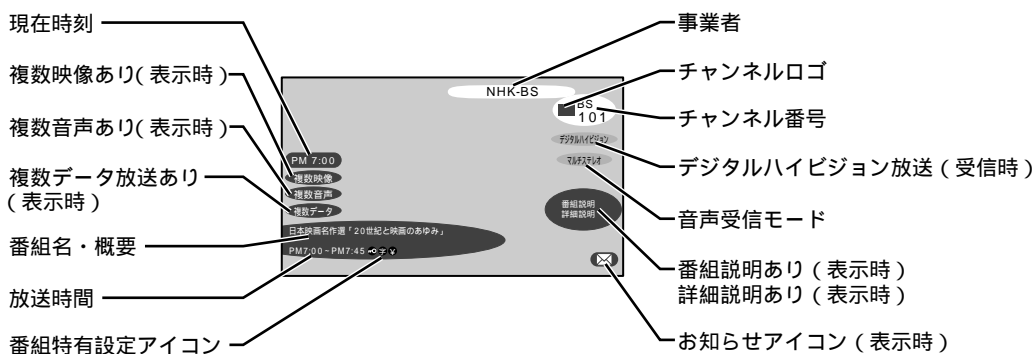
さらにジャンルを登録するときは、手順５～６を繰り返す

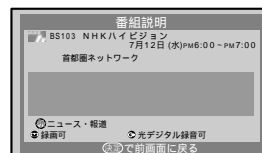
7 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

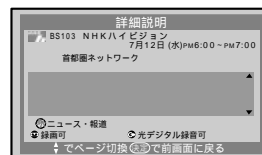
こんなことがしたいとき

番組についての情報を見る

●「表示」ボタンを押す

（青）（赤）（緑）（黄）

●下記のような現在の受信しているチャンネルや番組の情報が表示されます。表示は数秒後に消えます。

番組についての説明を見るには

●現在視聴中の番組についての説明を見ることができます。
・「●(赤)番組説明」の表示が出ている状態で、赤色ボタンを押す
　・番組説明データがない場合は、「番組説明がありません」が表示されます。
　・表示を消すには、決定ボタンを押してください。

番組についてのさらに詳しい説明を見るには

●「●(緑)詳細説明」が表示されている場合には、現在視聴中の番組についての詳細説明を見ることができます。
・「●(緑)詳細説明」の表示が出ている状態で、緑色ボタンを押す
　・番組情報は複数ページにわたる場合、カーソル ▲・▼ ボタンでページ切り換えできます。
　・表示を消すには、決定ボタンを押してください。

録画や録音が制限されている場合

●番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は番組情報や番組説明の画面に下記の表示が出ます。（録画や録音の制限は、放送局によって行われます。）
●番組情報の画面にはアイコンだけが表示されます。

画面に表示される内容		アナログ録画 （VHSやS-VHSなどでの録画）	デジタル録画 （i.LINK接続によるD-VHSでの録画など）
	「録画購入可」	録画購入によって録画できます。	録画購入によって録画できますが、デジタル録画できない番組もあります。
	「デジタル録画不可」	録画できます。	録画できません。
	「録画不可」	録画できません。	録画できません。
	「録画可」	録画できます。	録画できます。

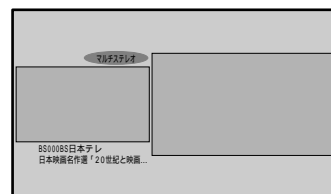
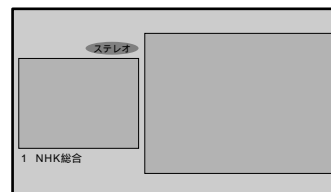
画面に表示される内容		光デジタル音声録音機器 （MPEG2-AACデコーダー、MD、DATなど）
	「光デジタル録音可」	録音できます。
	「光デジタル録音不可」	録音できません。
	「録画購入で光デジタル録音可」	録画購入によって録音できます。

● 視聴画面以外（番組表・ジャンル検索結果・予約一覧）で、表示ボタンを押すと番組説明が表示されます。
● 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンの詳細は、アイコン一覧（→139ページ）をご覧ください。
● i.LINKのデジタル信号によっては、番組の情報が表示される場合があります。
● 「 」や「 」が表示されているときには、i.LINK端子に信号が出力されない場合があります。

こんなことがしたいとき つづき

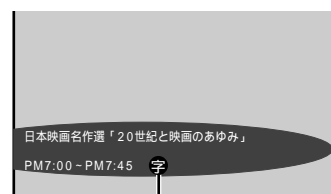
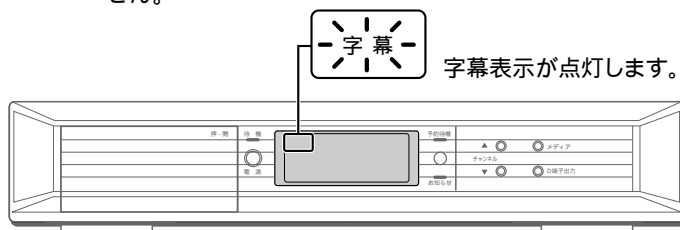
映像を一時静止する

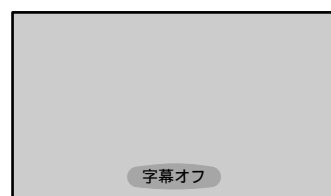
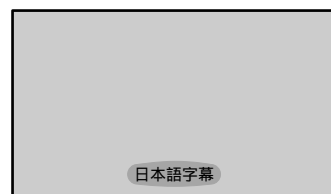
●「静止」ボタンを押す

- 通常画面と静止画面の2画面が出ます。
- もう一度押すと通常の1画面に戻ります。
- BSラジオ・独立データ放送受信時は静止画にできません。
- 番組連動データ放送受信時は静止画にできない場合があります。
- 静止中は字幕は表示されません。
- 録画予約、BS一発録画実行中は静止画にできません。

字幕を見る

● 字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。

はじめに

- 視聴中の番組に字幕がある場合は、本体表示窓部および画面にアイコンが表示されます。
これらの表示が点灯していない場合、字幕は表示されません。

●「字幕」ボタンを押す

- 字幕ボタンを押すごとに、放送されている字幕と「字幕オフ」が順番に切り換わります。
- 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。
- 字幕付きペイ・パー・ビュー番組は購入後に字幕表示ができます。

- 番組によっては最大2つの言語の字幕が送られます。
- 字幕ボタンは通常画面以外では動作しません。
- 字幕表示中にホームメニューやスクロールナビゲーターなどを表示したときは、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕表示します。
- 字幕が送られていない場合も、「字幕オン」と「字幕オフ」が切り換えられます。
「字幕オン」にしている場合に字幕のある番組を受信すると字幕が表示されます。

いろいろな放送サービスを楽しむ

BSデータ放送を楽しむ

BSデータ放送の種類

■番組連動データ放送

●テレビ番組やBSラジオ番組に関連したデータ放送
例　・野球放送中に他球場の速報を放送
　　・クイズ番組への参加
　　・ニュース番組での解説情報　など

■独立データ放送

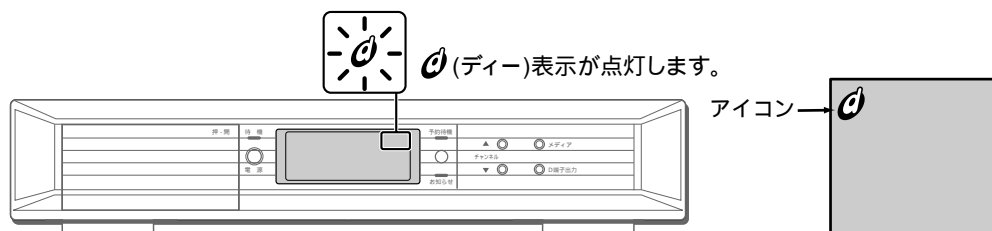
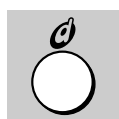
●テレビ番組とは無関係の独立したデータ放送
例　・ショッピング（オンライン通販）
　　・天気予報
　　・ニュース、株価情報　など

- 双方向のデータ放送を楽しむには、電話回線の接続と設定（→68、101ページ）が必要です。
- 録画予約、BS一発録画実行中は、BSデータ放送の操作はできません。
- 電話回線を使用しているときは、本体の表示窓に「回線使用中」表示が点灯します。
- 番組によっては電話回線の使用料がかかる場合とかからない場合があります。
- 静止画表示やホームメニュー、スクロールナビゲーターなどでは、BSデータ放送はお楽しみになれません。

番組連動データ放送を楽しむ

はじめに

本体表示窓にdが表示された場合は、下記の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。

●画面に「d（ディー）」アイコンが表示される場合もあります。
画面の表示は数秒後に消えます。表示ボタンを押すともう一度表示されます。

1　dが表示されているときに、dボタンを押す

●放送によっては、次のような場合があります。
・データ取得後自動的に連動データ放送が連動する場合
・データ取得後にd（ディー）ボタンを押すことにより起動する場合

2　画面に表示される操作指示に従って、操作をする

3　［BSデータ放送を終了するには］
終了ボタンを押す

- BSデータ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
- 画面に表示される操作指示で、「dボタン」ではなく、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合も、dボタンを押して操作してください。

いろいろな放送サービスを楽しむ つづき

BSデータ放送を楽しむ つづき

独立データ放送を楽しむ

1 **BS データ放送の番組を選ぶ**

●選局のしかたは「番組表で選ぶ」(→24ページ)や「チャンネルリストで選局する」(→30ページ)などをご覧ください。

2 **画面に表示される操作指示に従って、操作をする**

3 ［BSデータ放送を最初から受信しなおすには］
終了ボタンを押す

● BSデータ放送受信中は、リモコン、本体の一部のボタンが動作しない場合があります。

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ

●ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
つまり、見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

番組を見る

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

● 13ページの「BSデジタル放送をご覧いただくための準備」がすべて完了していることが必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するには…

● 次ページ「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」の操作で購入してください。

■番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

● 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。
（44ページで視聴したい信号を購入できます）

■ペイ・パー・ビューの番組の録画について

● ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の3通りのサービスがあります。
● 録画できるもの
● 録画できないもの
● 追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）
※ペイ・パー・ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

「録画購入」について
● 視聴購入の場合とは料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。
購入のしかたは、「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（→次ページ）をご覧ください。

■番組購入後の変更について

● 番組購入後の取り消しはできません。
● ただし録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。
（→55ページ）
予約を取り消したペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
● 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

■番組購入限度額を設定するには

● ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」（→99ページ）をご覧ください。

いろいろな放送サービスを楽しむ つづき

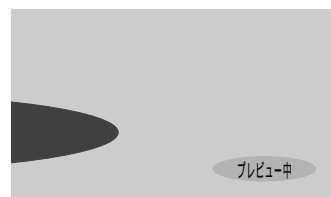
ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

ペイ･パー･ビュー番組を購入する

1 **ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ**

● 次のような画面が表示されます。

プレビュー中の場合

● 右の画面が表示されます。
● 購入する場合は､次ページの手順**2**に進んでください。（プレビューについては､下の｢お知らせ｣をご覧ください。）

番組が始まっている場合

● 右のメッセージが表示されます。
● 購入する場合は､次ページの手順**2**に進んでください。

ペイ・パー・ビュー番組が始まっています。
購入するには決定を押す

視聴制限が働いている場合

● 右のメッセージが表示されます。
● 番組を購入する場合は､下記の操作を行ってください。
①決定ボタンを押す
・暗証番号入力の画面になります。
②数字ボタンで暗証番号を入力する
・間違って入力した場合は､カーソル ◀ ボタンを押して1桁(けた)目から入力しなおしてください。
・次は､次ページの手順**2**の｢決定ボタンを押す｣のあとに進んでください。

暗証番号を入力してください。
■■■■
0～9で入力 ◄でやり直し 戻るで中止

・右のメッセージが表示されたとき
暗証番号の設定(→129ページ)や､視聴年齢制限の設定(→98ページ)が必要です。

メッセージが表示されて､番組購入ができない場合

● ｢次の場合には番組を購入できません｣(→次ページの｢お知らせ｣)をご覧ください。

■プレビューについて
● 番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
（プレビューが終わった後、チャンネルを変え、もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。）

■番組を購入できる時間について
● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間まで限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

2 決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

①決定ボタンを押す
- 暗証番号入力の画面になります。

②数字ボタンで暗証番号を入力する

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合

- 決定ボタンを押すと、右のメッセージが表示されます。
  ①番組を購入する場合は、カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
  - 購入しない場合は、「いいえ」を選んでください。

  ②決定ボタンを押す

3 下記の操作を行う

右の画面が表示されている場合

①カーソル ◀·▶ ボタンで「購入する」を選ぶ
- 購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
購入料金：￥500
購入しますか？
購入する　しない
◀▶で選び 決定 を押す

右の画面が表示されている場合

- この場合は、録画するためには視聴とは別の料金が必要です。
  ①カーソル ◀·▶ ボタンで、「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
  - 購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
視聴料金：￥500
録画料金：￥700
購入しますか？
視聴購入　録画購入　しない
◀▶で選び 決定 を押す

- デジタル録画できない番組の場合
  「録画購入」を選択後、下記条件のときは、右の画面が表示されデジタル録画できません。アナログ録画する場合は、カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選んでください。
  - i.LINK機器（D-VHSビデオ）が1台以上登録されていて、「録画購入」によってデジタル録画できない場合

4 決定ボタンを押す

- 「番組を購入しました」が表示されます。これで購入の操作は終了です。

お知らせ

■次の場合には番組を購入できません。（画面にメッセージが表示されます。）
- 契約していない番組の場合
- 番組を購入できる時間が終了している場合
- 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
  - ・電話回線の接続と設定を確認してください。（→68、101ページ）
  - ・「番組購入情報の送信」を行ってください。（→63ページ）

■番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。（→33ページ）

いろいろな放送サービスを楽しむ つづき

降雨対応放送について

●衛星を利用した放送では､雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり､放送が受信できなくなる場合があります。
その場合でも､BSデジタル放送では､降雨対応放送が行われているときには､下記の操作によって放送をご覧になることができます。

降雨対応放送に切り換えるには

はじめに **右のメッセージが表示された場合は、以下の操作により降雨対応放送に切り換えることができます**

電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。

1 クイックボタンを押す

●クイックメニューが表示されます。

2 カーソル ▲･▼ ボタンで「降雨対応放送切換」を選び、決定ボタンを押す

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 カーソル ▲･▼ ボタンで「降雨対応放送」を選ぶ

●選んだ状態に放送が切り換わります。
●通常の放送に戻すには｢通常の放送｣を選んでください。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

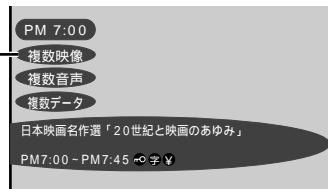
● クイックメニューに｢降雨対応放送切換｣が表示されているときには降雨対応放送に切り換えることができます。
● 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
● 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。

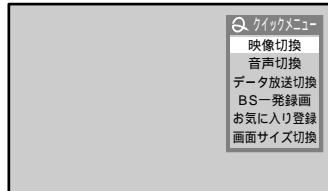
映像、音声、データを切り換えるとき

映像を切り換える

● BSデジタル放送の場合、1つの番組の中に複数の映像がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。

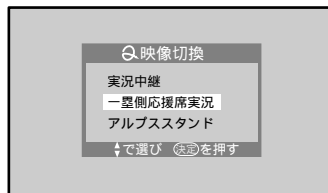
1 **複数の映像があることをアイコンで確認する**

● 複数の映像がある場合は、選局時や表示ボタンを押したときに、右図のようにアイコンが表示されます。

2 **クイックボタンを押し、カーソル ▲·▼ ボタンで「映像切換」を選んで、決定ボタンを押す**

● 映像切換の画面(次の手順の画面)になります。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

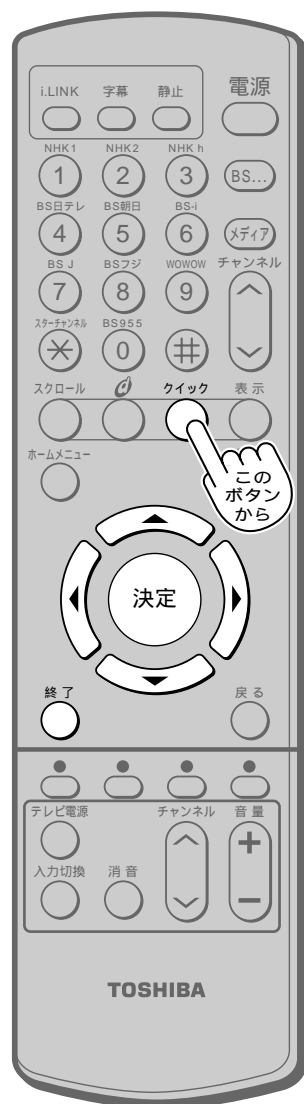
3 **カーソル ▲·▼ ボタンで映像を選ぶ**

が表示されている映像について

● ご覧になるためには追加料金が必要です。
●「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」(→44ページ)の操作を行ってください。

表示の上、下に ▲·▼ マークがある場合は、カーソル ▲·▼ ボタンで先に進めます。

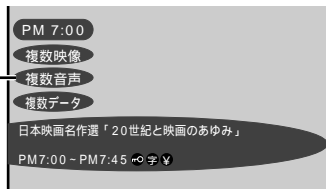
4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

● 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。
（これをマルチビューサービスと呼びます。）
● 選局等の操作を行うと、上記の操作で選んだ状態は取り消されます。
● 録画予約、BS一発録画実行中は、映像切換はできません。

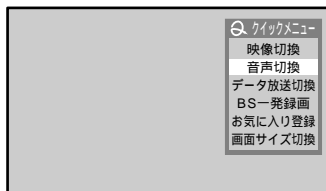
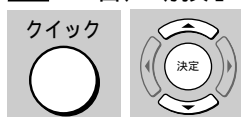
映像、音声、データを切り換えるとき つづき

音声を切り換える

- 1つの番組に複数の音声がある場合、お好みに応じて切り換えることができます。
- さらに、選んでいる音声が二重音声放送（BS主音声、BS副音声がある音声放送）の場合には、BS主音声、BS副音声の切り換えができます。

1 複数の音声があることをアイコンで確認する

- 複数の音声がある場合は、選局時や表示ボタンを押したときに、右図のようにアイコンが表示されます。
- 今選んでいる音声が二重音声放送の場合にもアイコンが表示されます。

アイコン

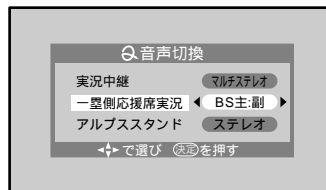
2 クイックボタンを押し、カーソル ▲・▼ ボタンで「音声切換」を選んで、決定ボタンを押す

- 音声切換の画面（次の手順の画面）になります。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 カーソル ▲・▼ ボタンで音声を選ぶ

が表示されている音声について

- お聞きになるためには追加料金が必要です。
- 「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」（→44ページ）の操作を行ってください。

音声切換
実況中継 マルチステレオ
一塁側応援席実況 BS主:副
アルプススタンド ステレオ
で選び 決定を押す

表示の上、下に ▲・▼ マークがある場合は、カーソル ▲・▼ ボタンで先に進めます。

4 [選んだ音声が二重音声の場合] カーソル ◀・▶ ボタンでBS主音声、BS副音声、BS主音声・BS副音声を切り換える

（例：BS主音声が日本語、BS副音声が英語の場合）

音声出力 →

BS主音声（左）	BS主音声（右）	→	BS副音声（左）	BS副音声（右）	→	BS主音声（左）	BS副音声（右）

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

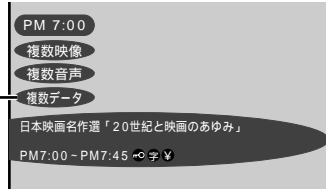
- 選局等の操作を行うと、手順**3**で選んだ状態は取り消されます。
- 手順**4**で選んだ二重音声については、最後に設定した状態が保たれます。
  従って、選局等の操作を行っても、自動的に最後に設定された状態になります。
- 録画予約、BS一発録画実行中は、音声切換できません。

データを切り換える

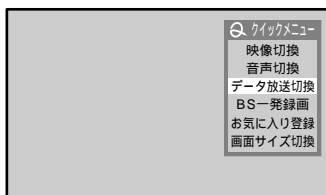
● BSデータ放送で複数のデータがある場合には、お好みに応じて切り換えることができます。

1 複数のデータがあることをアイコンで確認する

● BSデータ放送で、複数のデータがある場合には、選局時や表示ボタンを押したときに、右図のようにアイコンが表示されます。

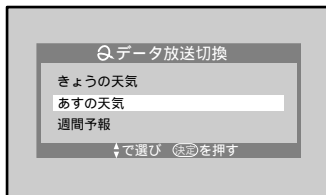
PM 7:00
複数映像
複数音声
複数データ
日本映画名作選「20世紀と映画のあゆみ」
PM7:00～PM7:45

アイコン

2 クイックボタンを押し、カーソル ▲･▼ ボタンで「データ放送切換」を選んで、決定ボタンを押す

● データ放送切換の画面(次の手順の画面)になります。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 カーソル ▲･▼ ボタンでデータを選んで、決定ボタンを押す

¥が表示されているデータについて

● 視聴するためには追加料金が必要です。
●「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」(→44ページ)の操作を行ってください。

表示の上、下に ▲･▼ マークがある場合は、カーソル ▲･▼ ボタンで先に進めます。

● 選局等の操作を行うと、手順**3**で選んだ状態は取り消されます。
● 録画予約、BS一発録画実行中は、データ放送切換はできません。

映像、音声、データを切り換えるとき つづき

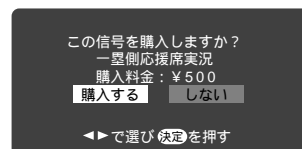
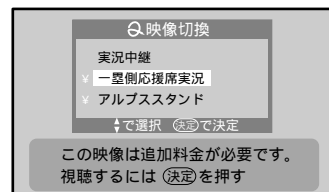
選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合

はじめに

41～43ページに従って、お好みの映像、音声、データ放送を選ぶ

●右の画面が表示されます。以下の操作を行ってください。

1 決定ボタンを押す

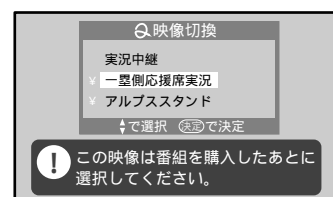
●右の画面になります。

2 カーソル ◄·► ボタンで、「購入する」または「しない」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

●選んだ信号が購入されます。
●購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
購入する場合は、暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押してください。
購入しない場合は、終了ボタンを押してください。

ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合

●右のメッセージが表示されます。以下のように、ペイ・パー・ビュー番組の購入を行ってから、ご希望の映像や音声を購入してください。

①終了ボタンを押す
・ 通常画面に戻ります。
②ペイ・パー・ビュー番組を購入する（→38ページ）
③「映像切換」（→41ページ）または「音声切換」（→42ページ）または「データ放送切換」（→43ページ）の操作をする

デジタルカメラの画像（スマートメディア™）を見る

スマートメディア™を使う

- デジタルカメラでスマートメディア™に記録した画像を再生して、テレビ画面で見ることができます。
- 本機で再生できるスマートメディア™と記録されているファイルの仕様については下記のとおりです。パソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした画像は再生できない場合があります。

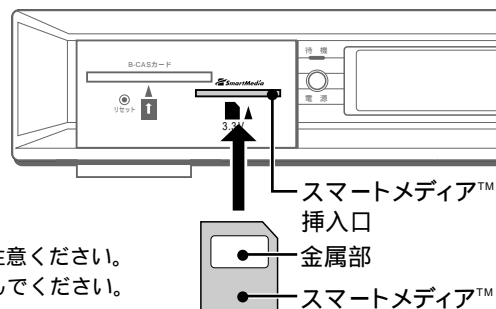
記録媒体	スマートメディア™（3.3V）2/4/8/16/32/64MB対応
圧縮方式	JPEG準拠
画像ファイルフォーマット	Exif ver2.1準拠
互換ルール	DCF ver1.0準拠

- デジタルカメラの取り扱いかたについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 スマートメディア™を差し込む

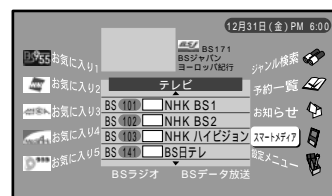
- スマートメディア™の取り扱いかたについては、スマートメディア™の取扱説明書をご覧ください。

お願い

- スマートメディア™を差し込むときの上下の向きにご注意ください。本体（とびら内）のマークに向きを合わせて差し込んでください。金属部（金色）は上向きになります。

2 ホームメニューボタンを押す

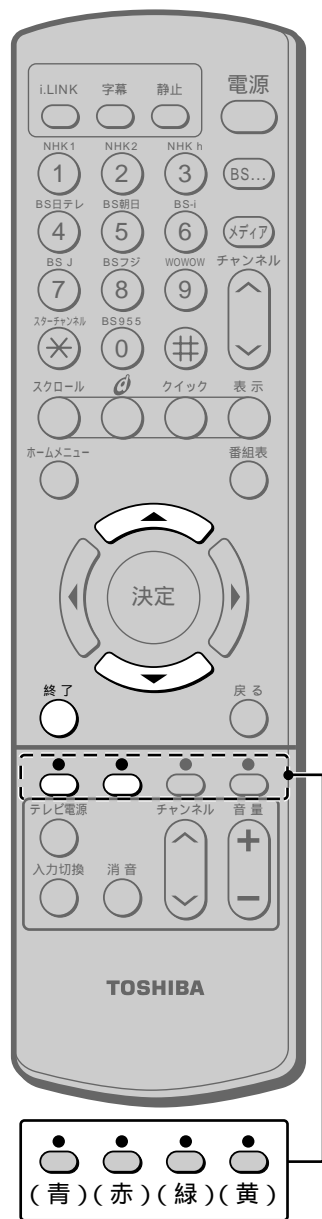
- ホームメニューが表示されます。

3 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、「スマートメディア」を選び、決定ボタンを押す

- 画像の一覧が表示されます。

[次のページにつづく]

- スマートメディア™（SmartMedia™）は（株）東芝の商標です。
- デジタルカメラ画像表示中は、BGM（背景音）が流れるように設定されています。BGMが出ないようにするには（→117ページ）をご覧ください。
- スマートメディア™ に記録されている容量によっては、記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

- スマートメディア™ の画像を見ているときは、スマートメディア™ を取り出さないでください。
- スマートメディア™ の画像を見ているときは、リセットボタンを押したり、電源コードを抜かないでください。
- スマートメディア™ の金属部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布でふいてください。
- 正しく画像が表示されないときは、スマートメディア™ の金属部（金色の部分）をきれいにして挿入してください。
- インデックスエリアには、スマートメディア™に付属のインデックスラベルをご使用ください。市販のラベルなどは貼らないでください。スマートメディア™の出し入れの際、故障の原因となります。

デジタルカメラの画像（スマートメディア™）を見る つづき

4 カーソル ▲・▼ ボタンで見たい画像を選ぶ

● 選んだ画像が右側に拡大して表示されます。

スライドショーモードで見るとき

● 現在選んでいる画像から自動的に順番に表示させて見ることができます。

●赤色ボタンを押す

・ スライドショーモードになります。

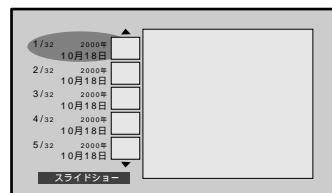
スライドショーを一時止めるには

●青色ボタンを押す

・ 再度青ボタンを押すと、スライドショーが再開されます。

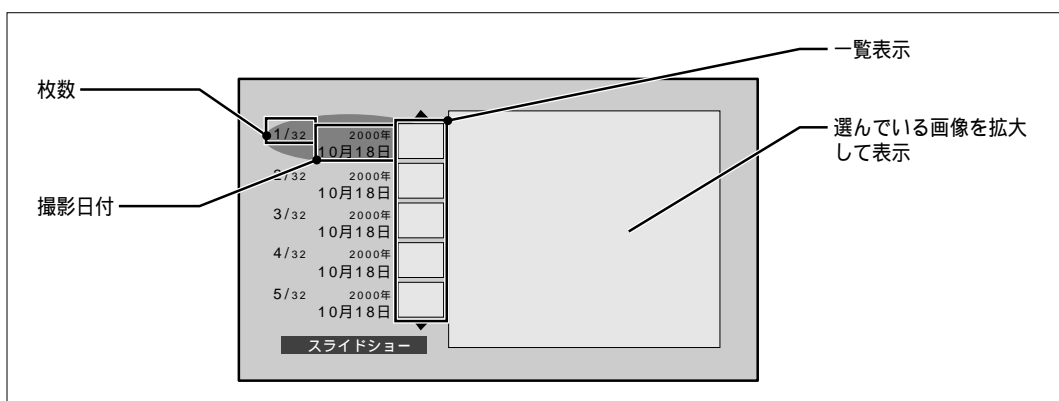
スライドショー表示を止めて、一覧表示に戻るには

●赤色ボタンを押す

・ または、戻るボタンを押します。

■スライドショー表示のとき

● カーソル ▲・▼ ボタンを押すと、画面の「枚数」表示が切り換わり、見たい画像を選ぶことができます。

● 表示ボタンを押すと、画像以外の表示を消すことができます。再び表示するにはもう一度表示ボタンを押します。

5 ［通常のテレビ画面に戻るには］終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。

「画像データがありません」

● 本機で再生できる画像データがありません。

「画像データを表示できません」

● データに欠落などがあるため、本機で再生することができません。

「スマートメディアのフォーマットが違うため画像データを表示できません」

● 本機で対応しているスマートメディア™ではありません。

「スマートメディアを正しく挿入してください」

● スマートメディア™が挿入されていないか、表裏が逆になっています。

■スマートメディア™の画像を表示中は、ビデオ用のS2映像出力端子または映像出力端子および音声出力端子からは信号が出力されません。

録画予約/視聴予約

● BSデジタル放送の場合、番組表の画面などで番組を指定することで、予約を行うことができます。ビデオを連動させて、録画予約を行うこともできます。詳しくは下記をご覧ください。
● 予約を行う際は、「予約についての注意事項」(→58ページ)もご覧ください。

録画予約/視聴予約について

■予約の種類

● 予約には、録画予約と視聴予約があります。
● 録画予約… 本機からビデオなどの録画機器をコントロールして、録画予約を行うときに使います。
● 視聴予約… 予約実行時に視聴だけをする場合に使います。

■予約できる番組数

● 視聴予約、録画予約合わせて最大16番組です。

■「録画予約」について

● 録画予約には2つの種類があります。

1 通常の場合(VHSやS-VHSなどのビデオにアナログ録画する場合)
・ 付属のビデオコントロールケーブルを使います。
・ 予約時間になるとビデオコントロールケーブルからビデオのリモコン信号を出してビデオをコントロールし、録画を行います。

2 i.LINK端子付きのD-VHSビデオにデジタル録画する場合
・ i.LINK端子からビデオをコントロールして録画を行います。

■「録画予約」をする前の準備

●「録画予約」を行うには、次の準備が必要です。

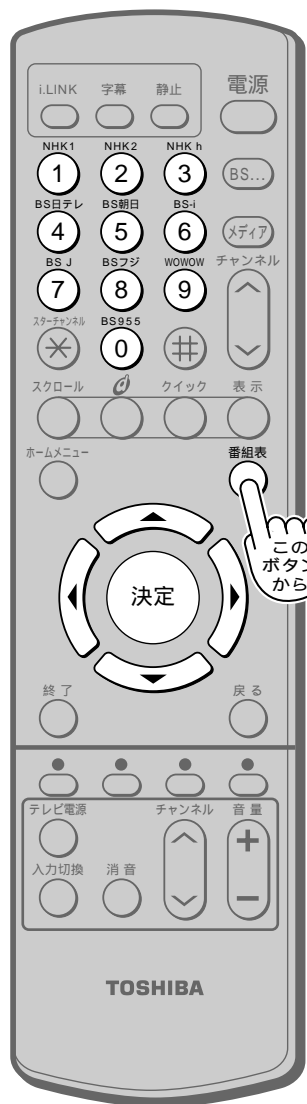
1 通常の場合(VHSやS-VHSなどのビデオにアナログ録画する場合)
①「各機器とのつなぎかた」(→70~73ページ)で、本機とビデオやテレビを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置(→82ページ)
③接続される録画機器の機種設定(→92ページ)

● 上記の準備をしていない場合は、本機で予約した後、ビデオなどの録画機器でも予約を行うことが必要です。
● S2映像出力端子(ビデオ用)および映像出力端子(ビデオ用)へは、通常、画面表示(番組名の表示やメニュー表示など)は出力されません。

2 i.LINK端子付きのD-VHSビデオにデジタル録画をする場合
①i.LINK端子を使って本機とビデオを接続する(→70、83ページ)
②「i.LINK設定」を行う(→94~96ページ)

● 「i.LINKについて」(→86、87ページ)もご覧ください。
● i.LINK端子へは通常、画面表示(番組表の表示やメニュー表示など)はされません。

● D-VHSビデオを使用する場合でも、VHSやS-VHS方式などのアナログ録画を行う場合は、上の「**1** 通常のビデオの場合」の準備を行ってください。

録画予約/視聴予約 つづき

録画予約/視聴予約のしかた

● 予約の概要や予約をする前の準備については、前ページをご覧ください。

通常の場合（VHSやS-VHSビデオで録画する場合）

● 下記の操作で予約を行ってください。
● D-VHSビデオをi.LINK接続、i.LINK登録している場合は、50ページで予約を行ってください。

1 番組表ボタンを押す

● 番組表が表示されます。

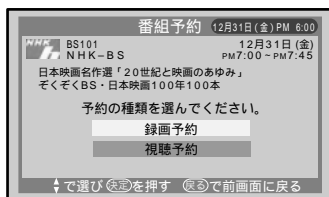
2 カーソル ▲・▼・◀・▶ で、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

● 今後放送される番組を選んでください。

■次のメッセージが表示された場合は、54ページをご覧ください。
●「すでに購入された番組と時間が重なっています」
●「予約数がいっぱいです」
●「他の予約と時間が重なっています」
●「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています」

■次のメッセージが表示された場合は、予約を行うことはできません。
●「このチャンネルは契約されていないため番組の予約はできません」
●「番組購入情報がいっぱいのため番組予約はできません」
・ 決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。
・「番組購入情報の送信」（→63ページ）を行ってください。

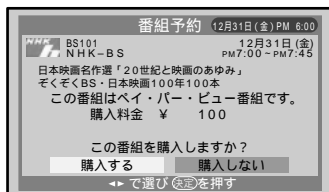
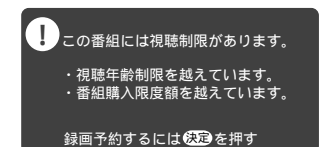
3 カーソル ▲・▼ ボタンで「視聴予約」、「録画予約」のどちらかを選び、決定ボタンを押す

● 番組によっては録画が制限されている場合があります。その場合は、「この番組は録画できません」などのメッセージでお知らせします。

「視聴予約」を選んだ場合

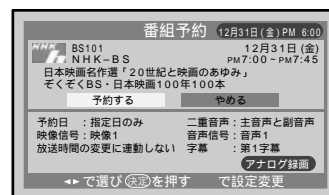
● これで予約設定完了です。

録画予約の場合で、次の画面が表示されたとき

● 番組に視聴制限がはたらいています。
①録画予約する場合は決定ボタンを押す
②数字ボタンで暗証番号を入力する
・ 間違って入力した場合は◀ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。

● 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
・ 録画する場合はカーソル ◀・▶ で「購入する」を選び、決定ボタンを押す。

● 独立データ放送は録画予約（アナログ録画予約）できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報は録画（アナログ録画）できません。
● ジャンル検索をした画面で番組を選んだ場合にも予約ができます。（→31ページ）

4 [「録画予約」を選んだ場合] 下記を行う

●右の画面になります。
・下記の操作で予約を行ってください。

①設定内容を画面で確認する

・設定内容は下記のとおりです。
設定内容を変更する場合は、53ページをご覧ください。

・チャンネル番号、サービス名、番組名、放送日時
・予約日(「指定日のみ」)「毎日」、「毎週」などの指定もできます。(→53ページ)
・映像信号
・音声信号
・二重音声の場合の音声
・放送時間の変更に連動する／連動しない
・字幕

②カーソル ◀·▶ ボタンで「予約する」を選んで、決定ボタンを押す

・これで予約設定完了です。
・次は手順③を行ってください。

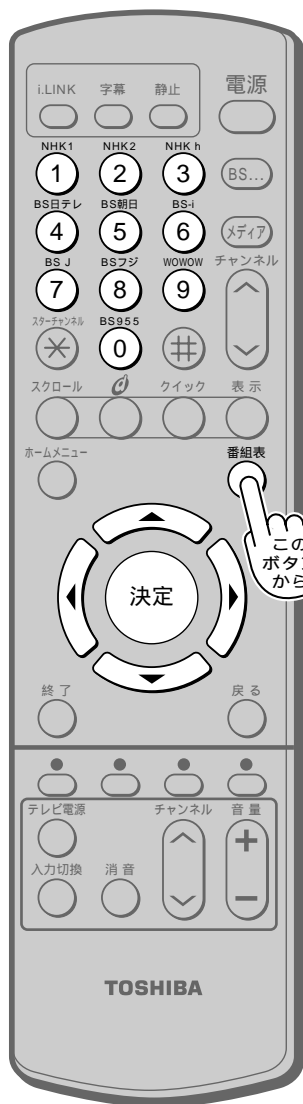
③下記の準備をし、決定ボタンを押す

ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する(→82ページ)
②録画機器の準備をする
・録画するビデオテープを録画機器に入れる
・録画機器の入力切換を行う(本機が接続されている入力に切り換える)
・録画機器の電源を切(待機)にする

ビデオコントロールケーブルを使わない場合

・録画機器で予約の設定をしてください。

録画予約/視聴予約 つづき

録画予約/視聴予約のしかた つづき

D-VHSビデオをi.LINK機器登録している場合

- 下記の操作で予約を行ってください。
- D-VHSビデオの取扱説明書をお読みください。

1 番組表ボタンを押す

- 番組表が表示されます。

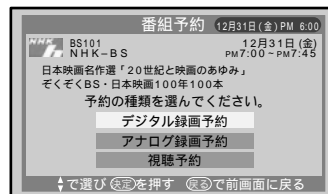
2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

- 今後放送される番組を選んでください。

■次のメッセージが表示された場合は、54ページをご覧ください。
- 「すでに購入された番組と時間が重なっています」
- 「予約数がいっぱいです」
- 「他の予約と時間が重なっています」
- 「ダウンロード予約と時間が重なっています」

■次のメッセージが表示された場合は、予約を行うことはできません。
- 「このチャンネルは契約されていないため、番組の予約はできません」
- 「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません」
  - ・決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。「番組購入情報の送信」(→63ページ)を行ってください。

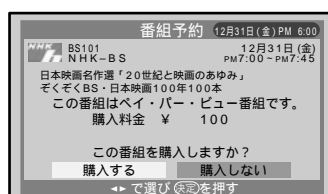
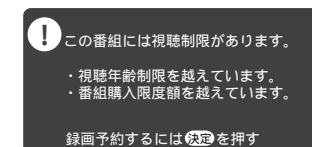
3 カーソル ▲・▼ ボタンで「視聴予約」、「デジタル録画予約」、「アナログ録画予約」のどれかを選んで決定ボタンを押す

- ＶＨＳやS-VHSなどのアナログ方式で録画する場合は「アナログ録画予約」を選びます。
- D-VHSビデオでデジタル録画する場合は「デジタル録画予約」を選びます。
- 視聴だけの場合は、「視聴予約」を選びます。
- 番組によっては録画が制限されている場合があります。その場合は、「この番組はアナログ録画予約(またはデジタル録画予約)できません」などのメッセージでお知らせします。

視聴予約を選んだ場合

- これで予約設定完了です。

アナログ録画予約の場合で、次の画面が表示されたとき

- 番組に視聴制限がはたらいています。
  ①録画予約する場合は決定ボタンを押す
  ②数字ボタンで暗証番号を入力する
  - ・間違って入力した場合は◀ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。

- 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
  - ・録画予約する場合はカーソル ◀・▶ で「購入する」を選び、決定ボタンを押す

- 独立データ放送はアナログ録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報はアナログ録画できません。
- ジャンル検索をした画面で番組を選んだ場合にも予約ができます。(→31ページ)

4 下記を行う

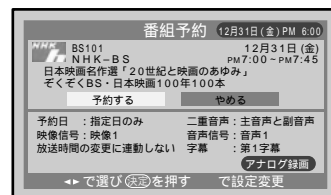
「アナログ録画予約」を選んだ場合

●右の画面になります。

・下記の操作で予約を行ってください。

①設定内容を画面で確認する

・設定内容は下記のとおりです。
設定内容を変更する場合は、53ページをご覧ください。

- ・チャンネル番号、サービス名、番組名、放送日時
- ・予約日（「指定日のみ」）
  「毎日」、「毎週」などの指定もできます。
  （→53ページ）
- ・映像信号
- ・音声信号
- ・二重音声の場合の音声
- ・放送時間の変更に連動する／連動しない
- ・字幕

②カーソル ◄·► ボタンで「予約する」を選んで、決定ボタンを押す

・これで予約設定完了です。

・次は手順③を行ってください。

③下記の準備をし、決定ボタンを押す

ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する。（→82ページ）

②録画機器の準備をする

- ・録画するビデオテープを録画機器に入れる
- ・録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）
- ・録画機器の電源を切（待機）にする

ビデオコントロールケーブルを使わない場合

・録画機器で予約の設定をしてください。

[次のページにつづく]

録画予約/視聴予約 つづき

録画予約/視聴予約のしかた つづき

D-VHSビデオをi.LINK機器登録している場合 つづき

「デジタル録画予約」を選んだ場合

次の画面が表示されたとき

- 録画で使用する録画機器が設定されていません。「録画用D-VHSビデオの設定」(→96ページ)を行ってください。

- 番組に視聴制限がはたらいています
  ①録画予約する場合は決定ボタンを押す
  ②数字ボタンで暗証番号を入力する
  ・間違って入力した場合は◀ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。

- 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
  ①録画予約する場合はカーソル◀·▶で「購入する」を選び、決定ボタンを押す
  ・録画するには画面に表示された料金がかかります。

- 設定されている録画機器では、デジタル録画予約することはできません。複数のD-VHSを登録している場合は、「録画用D-VHSの設定」(→96ページ)で他の録画機器に変更してください。

①設定内容を画面で確認する

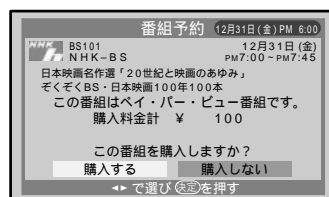
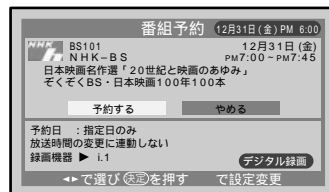
- 設定内容は下記のとおりです。
  ・チャンネル番号、サービス名、番組名、放送日時
  ・予約日(「指定日のみ」)
  「毎日」、「毎週」などの指定もできます。(→次ページ)
  ・放送時間の変更に連動する／連動しない
  ・録画機器

番組予約 12月31日(金) PM 6:00
BS101 12月31日(金)
NHK-BS PM7:00～PM7:45
日本映画名作選「20世紀と映画のあゆみ」
ぞくぞくBS・日本映画100年100本
予約する やめる
予約日 ：指定日のみ
放送時間の変更に連動しない
録画機器 ▶ i.1 ▲▲ ※※※ デジタル録画
◀▶で選び 決定を押す ●で設定変更

- 設定内容を変更する場合は、次ページをご覧ください。

②カーソル◀·▶ボタンで「予約する」を選んで、決定ボタンを押す

- これで予約設定完了です。
- 次は手順③を行ってください。

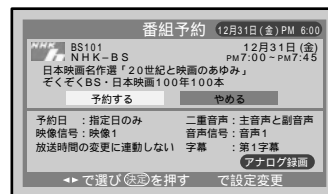
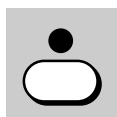
③録画するD-VHSテープをビデオに入れ、決定ボタンを押してください。

■「デジタル録画予約」を選んだ場合

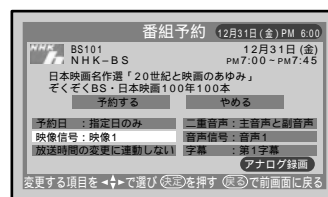
- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
- 番組によっては、録画できない場合があります。(その内容のメッセージが画面に表示されます。)
- BSデータ放送は、番組情報が送られない場合デジタル録画予約できない場合があります。

予約設定内容を変更する場合

● 48、50ページで予約設定された内容を変更する方法について説明します。

1 **設定内容を確認する画面が出ているときに、青ボタンを押す**

●設定内容を変更できるモードになります。

2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで変更する項目を選び、決定ボタンを押す**

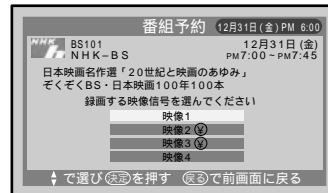
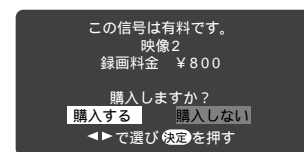
●各項目は下記のとおりです。
設定を変更できない場合は、「設定できません」が表示されます。
- 予約日
  「指定日のみ」「毎日」「毎週」「月〜金」「月〜土」のいずれかを指定できます。最初は「指定日のみ」に設定されています。
- 映像信号（デジタル録画予約以外で設定できます。）
- 音声信号（デジタル録画予約以外で設定できます。）
- 二重音声の場合の音声（デジタル録画予約以外で設定できます。）
- 放送時間の変更に連動する/連動しない
- 字幕（デジタル録画予約以外で設定できます。）

3 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、設定する内容を選び、決定ボタンを押す**

手順**2**で「映像信号」を選んだ場合の例です。

追加料金が必要な信号を選んだ場合

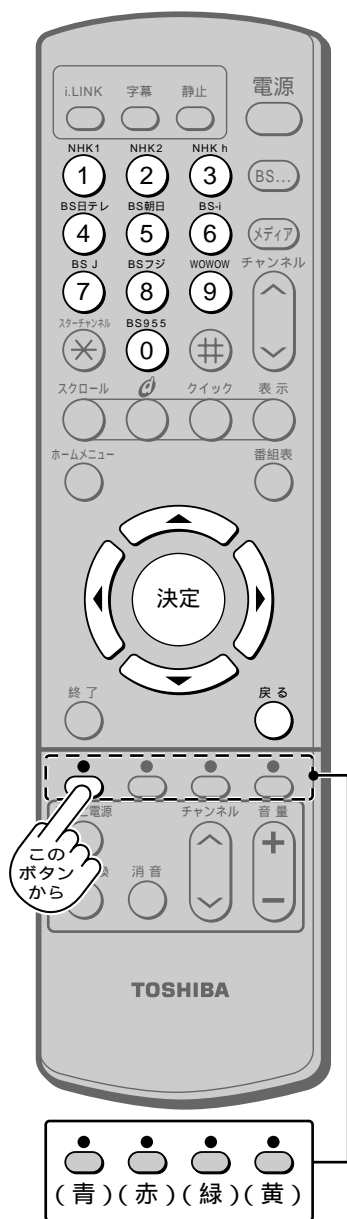
●右の画面になります。
- **カーソル ◀・▶ ボタンで「購入する」を選び、決定ボタンを押す**

- 追加料金が必要な信号を購入すると ¥ マークが消えます。同時に他の信号も購入された場合は、その信号の ¥ マークも消えます。

- 選択した信号が購入限度額を超えている場合は、右のメッセージが表示されます。この信号を予約するには、数字ボタンで暗証番号を入力してください。間違って入力した場合は◀ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。

「番組購入限度を超えています。予約するには暗証番号を入力してください。」

いくつもの項目を設定するときは、手順 2、3 を繰り返す

4 [設定を変更し終わった場合]
戻るボタンを押す

● 設定内容を確認する画面になります。

お知らせ

●「放送時間の変更に連動する」に設定した場合は、予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までのずれに対応します。選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は「放送時間の変更に連動する」の設定になります。
● 選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は、「指定日のみ」の設定になります。

録画予約/視聴予約 つづき

録画予約/視聴予約のしかた つづき

予約設定時に次のメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージ表示された場合に、予約を続けるための手順を説明します。

すでに購入した番組と放送時間が重なる場合

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②決定ボタンを押す

「すでに購入された番組と時間が重なっています
予約を続けますか？」

予約がいっぱいの場合（16番組まで予約できます）

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②決定ボタンを押す
● 画面は予約一覧になります。他の予約を取り消してください。
詳しくは次ページの手順**3**をご覧ください。

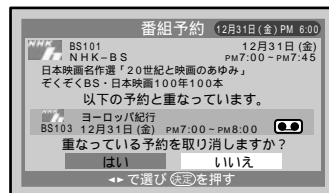
「予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？」

すでに予約した番組と放送時間が重なる場合

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②決定ボタンを押す
● 予約が重複している番組のリストが表示されます。
・ 予約が重複している番組が3つ以上ある場合は、カーソル ▲·▼ ボタンで番組のリストを切り換えて確認できます。

「他の予約と時間が重なっています。他の予約を
取り消しますか？」

重複している番組を取り消す場合

● カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
・ 重複している番組が全て取り消されます。

重複している番組を取り消さない場合

● カーソル ◀·▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

ダウンロード予約と時間が重なる場合

①カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選ぶ
● BSデジタルの予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②決定ボタンを押す
● ダウンロード予約については、136ページをご覧ください。

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。このダウンロード予約を取り消しますか？」

予約一覧と予約の取り消し

●予約した内容を確認したり、予約を取り消すことができます。

1 ホームメニューボタンを押す

●「ホームメニュー」が表示されます。

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

●予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。

番組についての説明を見たいとき

①カーソル ▲·▼ ボタンで説明を見たい予約を選ぶ
②表示ボタンを押す
●番組についての説明が表示されます。
③予約一覧画面に戻るには、決定ボタンを押す

3 ［予約の詳しい内容を見たいときや予約を取り消したいとき］カーソル ▲·▼ ボタンで予約番組を選び、決定ボタンを押す

●予約内容の画面になります。
●画面は予約の種類によって異なります。

予約を取り消すには

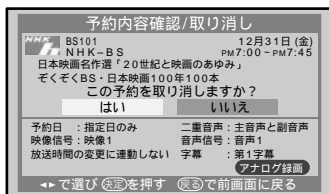
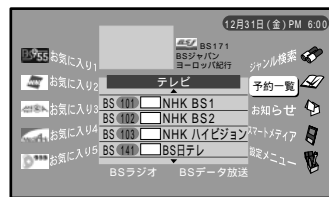
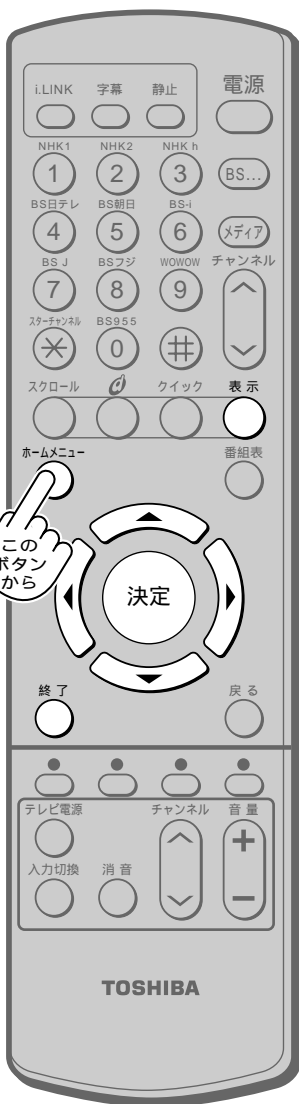
●**カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。

（アナログ録画予約の場合）

予約一覧の画面に戻るには

●**カーソル ◀·▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

番組についての説明を見たいとき

●**手順2と同じ操作を行う**

4 ［通常の画面に戻るには］終了ボタンを押す

●番組表やジャンル検索結果のリストですでに予約されている番組を選んだ場合も、上の手順**3**の画面になり、予約内容の確認や予約の取り消しを行うことができます。
●予約されている時間を過ぎると、予約が実行された場合もそうでない場合（時間変更などで予約が実行されなかったなどの場合）も予約一覧から削除されます。

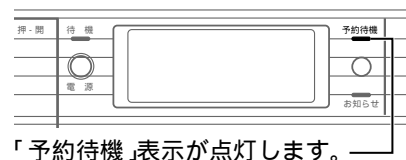
録画予約/視聴予約 つづき

予約の動作について

● 予約が実行されるときの動作について説明します。

予約設定後

● 予約した番組が始まるまでは、通常どおり利用できます。

[本体前面表示部]

「予約待機」表示が点灯します。

予約番組放送開始

● 予約番組の放送時間近くになると、メッセージを画面に表示してお知らせします。予約を中止する場合は、本体の電源ボタンを押してください。

● 予約番組の放送時間になると、自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。また、電源が「待機」の場合は自動的に「入」になります。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合

● 決定ボタンを押すと番組を購入するための画面になります。
カーソル ◀·▶ ボタンで「購入する」を選び、決定ボタンを押してください。

視聴制限がある番組を視聴予約している場合

●「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押した後、暗証番号を入力してください。

[本体前面表示部]

「予約待機」表示が消え「**oo 予約**」が点灯します。視聴予約の場合は「**oo 予約**」は点灯しません。
他にも予約がある場合は、「予約待機」は点灯したままです。

予約実行中

■視聴予約の場合

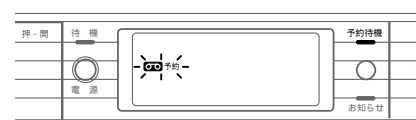
● 通常どおり操作できます。

■録画予約の場合

● 予約実行時に、操作ボタンを押した場合は次のようになります。

1 電源ボタンを押したとき
「BS番組を録画中です。もう一度本体電源ボタンを押すと録画を中止します。」のメッセージが表示されます。
メッセージが表示されている間に本体の電源ボタンを押すと、録画予約が解除されます。

2 電源以外のボタンを押したとき
「BS番組を録画中です。本体電源ボタンを押すと録画を中止します。」のメッセージが画面表示されます。
本体電源ボタンを押すと、上の「1」のメッセージが表示されますので、録画予約を解除する場合は、本体の電源ボタンを押してください。

[本体前面表示部]

「**oo 予約**」が点灯します。
視聴予約の場合は「**oo 予約**」は点灯しません。

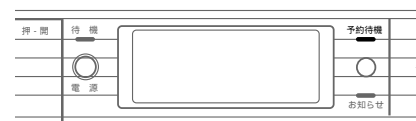
予約番組終了

● 予約を終了し、通常どおり使用できます。

● 電源は以下のように動作します。

・予約番組開始前に「待機」の場合は、予約番組終了後も「待機」になります。ただし、視聴予約の場合は「入」のままとなります。

・予約番組開始前に「入」の場合は、予約番組終了後も「入」になります。

[本体前面表示部]

「**oo 予約**」が消えます。
他にも予約がある場合は、「予約待機」は点灯したままです。

● 予約番組の優先順位や注意事項については、57、58ページをご覧ください。

予約番組の優先順位について

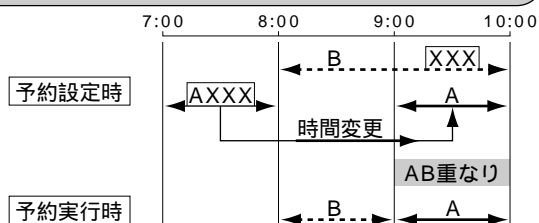
- 予約番組の放送時間が変更となって、他の予約番組と重なった場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。
  （予約時に「放送時間の変更に連動する」に設定することによって、ご希望の予約を優先して実行させることができます。）
- 次に例を用いて予約番組の優先順位について説明します。

←→ ：「放送時間の変更に連動する」に設定した予約番組
←---→ ：「放送時間の変更に連動しない」に設定した予約番組とします。

（下図の XXX 印は時間変更や予約実行時に取り消されることを示します。）

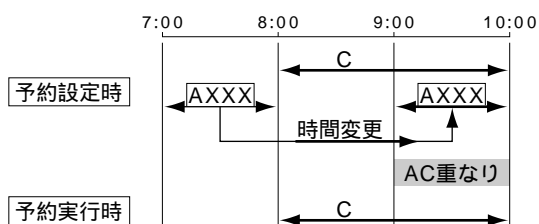
「放送時間の変更に連動する」に設定した予約番組と設定していない予約番組が重なった場合

- **「放送時間の変更に連動する」に設定した予約番組が優先されます。**

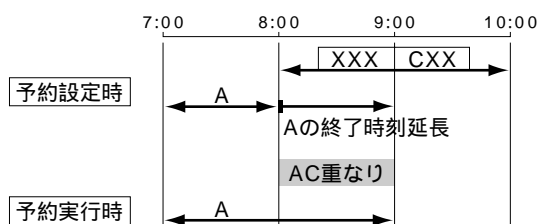
例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間の変更に連動する」に設定されているので優先されて予約が実行されます。
したがって、予約実行はB番組が8～9時、A番組が9～10時となります。

「放送時間の変更に連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

開始時刻が変更された場合

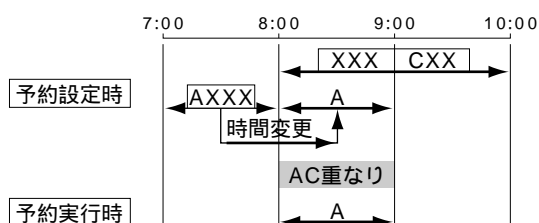
- **開始時刻の早い予約が優先されます。**

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先されて動作し、A番組の予約は取り消されます。

終了時刻が延長された場合

- **先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。**

例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先されて動作します。C番組の予約は取り消されます。

複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

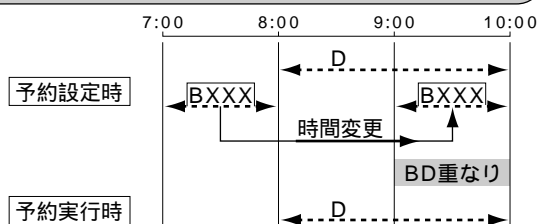
- **予約設定時の開始時刻が早い予約が優先されます。**

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は予約設定時の開始時刻が早いA番組が優先されて動作し、C番組の予約は取り消されます。

「放送時間の変更に連動しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

- **予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。**

例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではBとDの番組は「放送時間の変更に連動しない」に設定されているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されるます。
したがって、予約実行はD番組が8～10時となり、B番組の予約は取り消されます。

- 上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「お知らせ」で表示します。（「お知らせ」については→64ページ）

便利な機能を使う

録画予約/視聴予約 つづき

予約についての注意事項

●i.LINK端子を使って録画予約を行う場合は、「i.LINKについて」（→８６ページ）も必ずお読みください。

■予約設定について

●ペイ・パー・ビュー番組の予約設定について
・ 自動的に「放送時間の変更に連動する」に設定されます。
・ 予約日は、自動的に「指定日のみ」に設定されます。

●アナログ録画予約の設定では、映像信号、音声信号はそれぞれ1つずつ設定できます。

■視聴予約について

●ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約した場合は、予約実行時に番組購入操作が必要です。

■録画予約について

●ＢＳ一発録画実行中に、視聴予約の開始時刻になった場合は、視聴予約は取り消されます。

●停電が起きた場合（電源コードの抜き差しが行われた場合）
・ 上記の後、本機が電源「入」または「待機」の状態に復帰したときに、予約番組が終了していた場合、その予約が録画予約の場合でも、本機はビデオのコントロールを行いません。
（録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。）
これは、録画機器で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。
したがって、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますので、ご注意ください。

●録画予約実行時にテープが走行中の場合は録画できません。

●デジタル録画予約実行時にD-VHSビデオが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。

●録画予約の場合でテープのツメが折れている場合には録画できません。

●ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。

●ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。
視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

●「放送時間の変更に連動する」に設定した録画予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」とメッセージ表示される場合があります。

●ビデオコントロールケーブルを使って録画予約を行う場合のご注意
ビデオの入力切換を正しく設定し（本機のビデオ出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。

●「放送時間の変更に連動する」に設定した場合、リレーサービス（番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス）には自動に対応します。

●録画予約実行中はi.LINK端子からの信号は視聴できません。

●予約番組を「放送時間の変更に連動する」の設定しても、追従できる時間は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。
また、「放送時間の変更に連動する」に設定した場合でも、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できない場合があります。

■有料放送を予約実行するには、契約されているB-CASカードが正しく挿入されていることが必要です。

■前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、次の予約の最初の部分が数秒欠けます。

■予約実行前に、本機の電源が「待機」だった場合

●予約が開始されると、自動的に電源が「入」になります。

●予約終了後は「待機」になります。

■予約実行前に、本機の電源が「入」だった場合

●予約終了後も電源は「入」のままです。

■天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できない場合は、「お知らせ」でご通知します。（「お知らせ」については64ページ）

■i.LINKで他機器を制御しているときに予約が開始時刻になった場合はi.LINKの制御を中止して予約を実行します。ただし、外部からi.LINK制御を受けているときは、予約は取消されます。

■万一、本機の故障、不具合により正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容補償についてはご容赦ください。

ＢＳ一発録画

● 今ご覧になっている番組をビデオに簡単操作で録画させることができます。番組が終了すると録画も自動的に終了します。
詳しくは下記をご覧ください。

ＢＳ一発録画について

●録画予約と同様に次の2つの種類があります。

通常の場合（VHSやS-VHS方式などのビデオにアナログ録画する場合）

●付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールし、録画を行います。
●録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①「各機器とのつなぎかた」（→70～73ページ）で、本機とビデオやテレビを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→82ページ）
③接続される録画機器の機種設定（→92ページ）

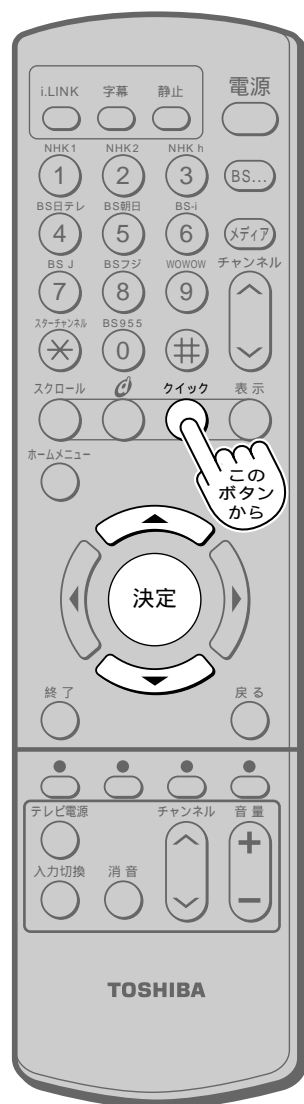
● Ｓ2映像出力端子（ビデオ用）および映像出力端子（ビデオ用）へは通常、画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）は出力されません。

i.LINK端子付きのD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●i.LINK端子からビデオをコントロールしてデジタル録画を行います。
●録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①i.LINK端子を使ってテレビとビデオと接続する（→70、83ページ）
②「i.LINK設定」を行う（→94～96ページ）

● 「i.LINKについて」（→86、87ページ）もご覧ください。
● i.LINK端子へは通常、画面表示（番組表の表示やメニュー表示など）はされません。

● D-VHSビデオを使用して、VHSやS-VHS方式でアナログ録画を行う場合は、上の「通常の場合」の準備を行ってください。
また、「i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた（→83ページ）で接続を行ってください。

BS一発録画 つづき

BS一発録画のしかた

● BS一発録画をする前の準備については、前ページをご覧ください。

通常の場合（VHSやS-VHSビデオで録画する場合）

● D-VHSビデオをi.LINK接続、i.LINK登録している場合は、次ページで操作をしてください。

はじめに

●ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する **（→ 82 ページ）**

1 BS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

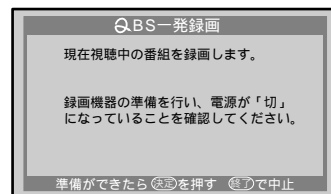
● クイックメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「BS一発録画」を選び、決定ボタンを押す

● 録画できない番組のときは、クイックメニューに「BS一発録画」は表示されません。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 ビデオで下記の準備を行う

①録画機器の外部入力を切り換える
②録画用のビデオテープ入れる
③録画機器の電源を切（待機）にする

4 決定ボタンを押す

● 録画が始まります。
● **録画機器によっては、録画が開始されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。**
● 番組終了時刻になると録画は自動的に終了し、録画機器の電源は「切」または待機状態になります。

録画機器の機種設定で「該当なし」に設定した場合

● 録画機器で録画を開始してから決定ボタンを押してください。

● 独立データ放送は録画（アナログ録画）できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報は録画（アナログ録画）できません。

D-VHSビデオをi.LINK機器登録している場合

● 下記の操作で予約を行ってください。
● i.LINKについては、86、87ページおよび94〜96ページをご覧ください。

1 BS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

クイック

● クイックメニューが表示されます。

2 カーソル ▲·▼ ボタンで「BS一発録画」を選び、決定ボタンを押す

● 録画できない番組のときは、クイックメニューに「BS一発録画」は表示されません。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

3 カーソル ▲·▼ ボタンで「デジタル録画」または「アナログ録画」を選び、決定ボタンを押す

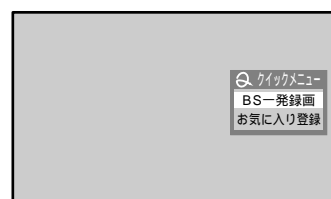
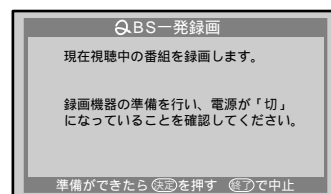
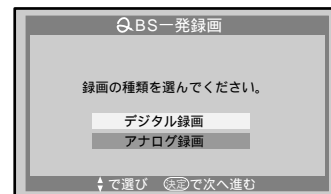
● VHSやS-VHSなどのアナログ方式で録画する場合は「アナログ録画」を選びます。
● D-VHSでデジタル録画する場合は「デジタル録画」を選びます。
● デジタル録画ができない場合は、「この番組はデジタル録画できません」が表示されます。

BS一発録画
録画の種類を選んでください。
デジタル録画
アナログ録画
で選び 決定で次へ進む

4 下記を行う

「アナログ録画」を選んだ場合

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する
②ビデオで下記の準備を行う
1.録画機器の外部入力を切り換える
2.録画用のビデオテープを入れる
3.録画機器の電源を切(待機)にする
③決定ボタンを押す
● 録画が始まります。
● 番組終了時刻になると録画も自動的に終了します。録画機器の電源は「切」または待機状態になります。
● 録画機器機種設定で「該当なし」に設定した場合は録画機器で録画を開始してから決定ボタンを押してください。

BS一発録画
現在視聴中の番組を録画します。
録画機器の準備を行い、電源が「切」になっていることを確認してください。
準備ができたら 決定 を押す 終了 で中止

[次のページにつづく]

● 独立データ放送はアナログ録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られる文字などの情報は録画アナログ録画できません。

ＢＳ一発録画 つづき

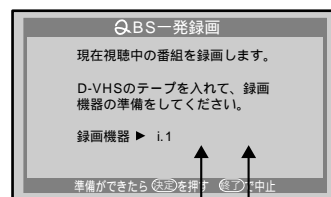
ＢＳ一発録画のしかた つづき

D-VHSビデオをi.LINK機器登録している場合 つづき

「デジタル録画」を選んだ場合

①画面表示を確認し、D-VHS録画用のテープをビデオに入れる

右のメッセージが表示された場合

- 録画に使用する録画機器が設定されていません。「録画用D-ＶＨＳの設定」（→９６ページ）を行ってください。

「録画で使用するD-ＶＨＳが設定されていません。」

- 設定されている録画機器では、デジタル録画予約することはできません。複数のD-ＶＨＳを登録している場合は、「録画用D-ＶＨＳの設定」（→９６ページ）で他の録画機器に変更してください。

「録画できるデータ記録速度を超えているため、デジタル録画できません。」

②決定ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 番組終了時刻になると録画は自動的に終了し、録画機器の電源は「切」または待機状態になります。

ＢＳ一発録画を中止したい場合

1 本体の電源ボタンを押す

- 「ＢＳ番組を録画中です。もう一度本体電源ボタンを押すと録画を中止します。」が表示されます。

2 上記のメッセージが表示されている間に本体の電源ボタンを押す

- ＢＳ一発録画が解除されます。

ＢＳ一発録画を行っている際の注意事項

- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 番組によってはデジタル録画できない場合があります。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してからＢＳ一発録画の操作を行ってください。（購入しないとＢＳ一発録画はできません）また、番組によっては録画制限のため録画できない場合がありますので表示ボタンであらかじめ番組情報をご確認ください。
- 停電が起きた場合（電源コードの抜き差しが行われた場合）は、ＢＳ一発録画を中止します。
このとき本機は録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。
したがって、その場合、録画が録画状態のままとなることがありますのでご注意ください。
- ＢＳ一発録画実行中に録画予約（アナログ録画予約/デジタル録画予約）の開始時刻になると、ＢＳ一発録画は解除されます。
- 万一、本機の故障、不具合により正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容補償についてはご容赦ください。

番組購入情報の送信

- 通常、番組購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
- 何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、下記の操作で、送信を行ってください。

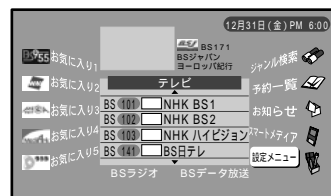
はじめに

- **番組購入情報が送信されていない場合は、「本機に関するお知らせ」（→次ページ）でお知らせします。**
- **B-CASカードを挿入し、電話回線が正しく接続されていることを確認した後、下記の操作で送信してください。**

1 ホームメニューボタンを押す

- ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「番組購入情報の送信」を選んで、決定ボタンを押す

- 下記のメッセージに応じて決定ボタンを押してください。
- 送信が終了して、決定ボタンを押すと設定メニュー画面に戻ります。

初期画面

ペイ・パー・ビュー番組の購入情報をカスタマーセンターに送信します。電話回線の接続を確認して次へ進んでください。

決定で次へ進む

センター接続中

センターに送信中

送信完了

ペイ・パー・ビュー番組の購入情報をカスタマーセンターに送信しました。

決定で送信完了

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示された場合

- 現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。

- 電話回線の接続（→68ページ）および電話回線の設定（→101ページ）を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。

- センターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度「番組購入情報の送信」を行ってください。

- 電話回線の設定については101〜110ページをご覧ください。

「放送局からのお知らせ」や「本機に関するお知らせ」を見るには

「放送局からのお知らせ」や「本機に関するお知らせ」を見るには

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」の2つの種類があります。

はじめに

未読の「お知らせ」があるとき

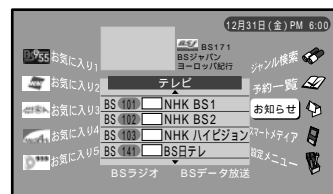
● 本体前面の「お知らせ」表示が点灯します。
● 選局したときや、表示ボタンを押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。

1 ホームメニューボタンを押す

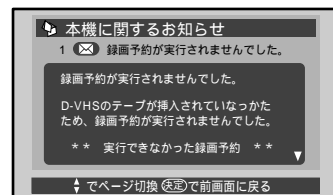
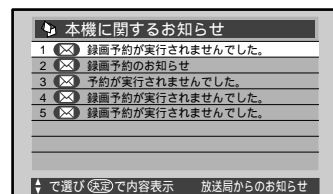
ホームメニュー

● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

●「放送局からのお知らせ」または、「本機に関するお知らせ」のどちらかがリストで表示されます。
未読の「お知らせ」が最初に表示されます。

「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」を切り換えるには

● **青ボタンを押す**
・ 押すごとに交互に切り換わります。

3 カーソル ▲・▼ ボタンで、読みたい「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

4 [他の「お知らせ」を見るには] 決定ボタンを押す

●「お知らせ」リストに戻ります。

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

終 了

● 「放送局からのお知らせ」は10個、「本機に関するお知らせ」は20個まで記憶されます。
それ以上たまると、古いものから削除されます。お知らせが1つも無い場合は手順**2**で決定ボタンを押したときに「お知らせはありません」が表示されます。

B-CASカード番号表示

● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

1 ホームメニューボタンを押す

● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「その他」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「B-CAS カード番号表示」を選んで、決定ボタンを押す

● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

クイックメニューを使う

● クイックメニューボタンを押すと、その時に使う便利な機能がメニューとして表示され、それらの機能を使うことができます。
● クイックメニューは、本機の状態によって表示される項目がかわります。

基本操作

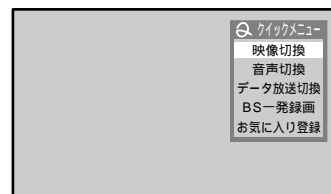
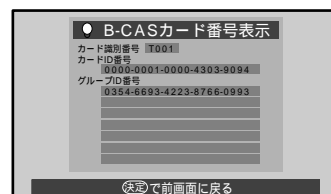
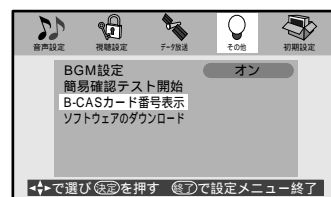
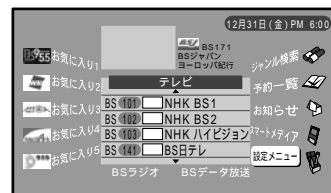
1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

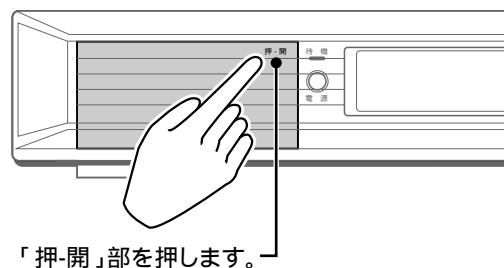
2 カーソル ▲・▼ ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す

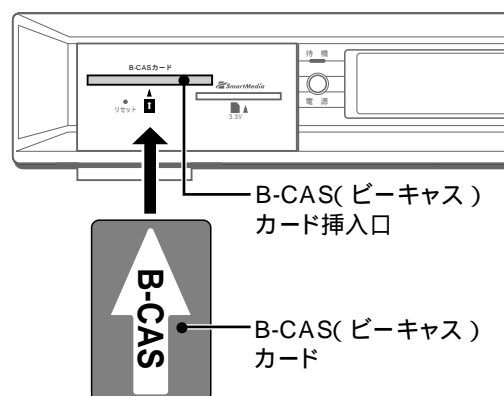
※クイックメニュー画面は状態によって表示される項目が異なります。

3 選んだ項目に従い、操作する

●詳しくは各項目に該当するページをご覧ください。

B-CASカード(ビーキャスカード)の装着のしかた

● 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、有料放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
常に本体に装着しておいてください。
● 付属の B-CAS（ビーキャス）カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に付属の加入申込書に必ず貼ってください。
● 付属の「B-CAS カード（ビーキャスカード）について」（→ 11 ページ）も必ずご覧ください。

1 本体前面のカバーを開ける

2 B-CAS（ビーキャス）カードをカード差し込み口に入れる

● カードの向き(端子面が下向き)を間違えないように注意してください。
● カードは奥まで差し込んでください。

3 カバーを閉める

● 取り出しかたは上記手順**2**でB-CAS（ビーキャス）カードをそのまま抜いてください。

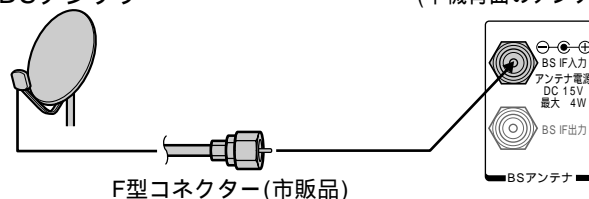
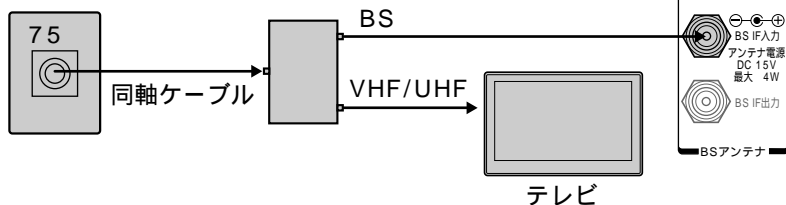
アンテナ線の接続

BSアンテナ線のつなぎかた

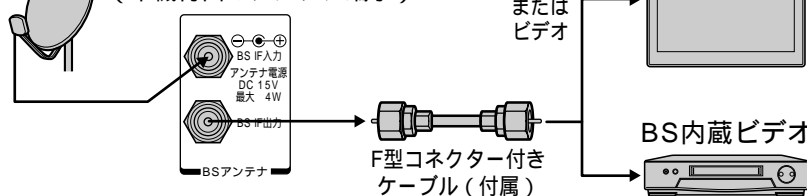
● アンテナをつないだ後に「BSアンテナレベル」の調整が必要です。(→119ページ)
● 本機とBSアンテナの接続には、BS/CSデジタル対応のケーブル(4C-FB相当)をご使用ください。
● BSアンテナの取扱説明書もご覧ください。

■ BS アンテナをつなぐとき

BS アンテナ入力端子(BS-IF)

● BSアンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、BSアンテナへ+15Vの電源を供給するはたらきをしています。心線とアース線がショートしないようにしてください。ショートした場合は画面に「BSアンテナ線がショートしています。アンテナとの接続をご確認ください。」が表示されます。その場合は一度電源を切り、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてください。

■マンションなどの共聴システムのとき(VHF/UHF/BS 混合のとき)

● 共聴システムをご利用の場合、通常BS受信アンテナには、あらかじめ電源が供給されていますので、本機から供給する必要がありません。その場合は「BSアンテナ電源供給の設定」で「供給しない」にしてください。設定方法は118ページをご覧ください。

■ BS アンテナ 1 台で、本機の BS IF 出力端子を利用して他の BS 機器をつなぐ場合

● 本機の「BSアンテナ電源供給の設定」が「供給する」に設定されている場合で右の図のような接続の場合は、本機のBS-IF出力端子に接続されたBS機器のBSアンテナ電源の設定を電源が供給されるように設定してください。本機は他のBS機器からのBSアンテナ電源電圧を検出していますので、本機の電源が待機でも、他のBS機器の電源を入れると、本機よりBSアンテナに電源が供給されます。他のBS機器のアンテナ電源設定は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
● 本機のBS-IF出力端子にはCSデジタル放送受信用の機器は接続できません。

■ BS アンテナ電源について

● BSアンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をBSアンテナ電源といいます。
● お買い上げ時は「供給する」に設定されています。
● 共聴システムなどで、すでに別の機器からアンテナ電源が供給されている場合は、供給する必要はありません。
したがって「BSアンテナ電源供給の設定」は「供給しない」に設定してください。設定の確認と変更は118ページを参照ください。
● 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常BSアンテナ電源は供給されませんが契約情報の更新やダウンロード実行などの際には自動的にBSアンテナ電源が供給されます。

■従来の BS アンテナについて

● 従来のBSアンテナのほとんどは使用できます。ただし、従来のBSアンテナはBSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がなくBSデジタル電波を受信した場合、安定した受信ができない場合があります。
この場合はBSデジタル用のアンテナに交換してください。

電話回線の接続

● 下記によって、電話回線の状態を確認してから、電話回線の接続を行ってください。

電話回線状態の確認

通常の電話回線か？
ISDN回線（デジタル回線）か？

通常の電話回線

ISDN回線

通常時、外線に切り換えるために、
0〜9、＊、＃以外のボタンを押すか？

0〜9、＊、＃以外
のボタンを押す

④

0〜9、＊、＃を押す

103ページの操作で、
外線発信番号の設定を行う

先へ

ボタンを押さない

ターミナルアダプターを使用しているか？

はい

いいえ

⑦

⑥

電話機が2台以上あるか？

1台

2台以上

コードレスフォンか？

はい

いいえ

電話機の主装置、ターミナルボックス、
またはドアフォンアダプターは、
壁に埋め込まれているか？

はい

電話機間で、内線通話が可能か？

はい

いいえ

③

いいえ

モジュラーコンセントか？

はい

いいえ

①

3ピン差し込みコンセントか？

はい

いいえ

⑤

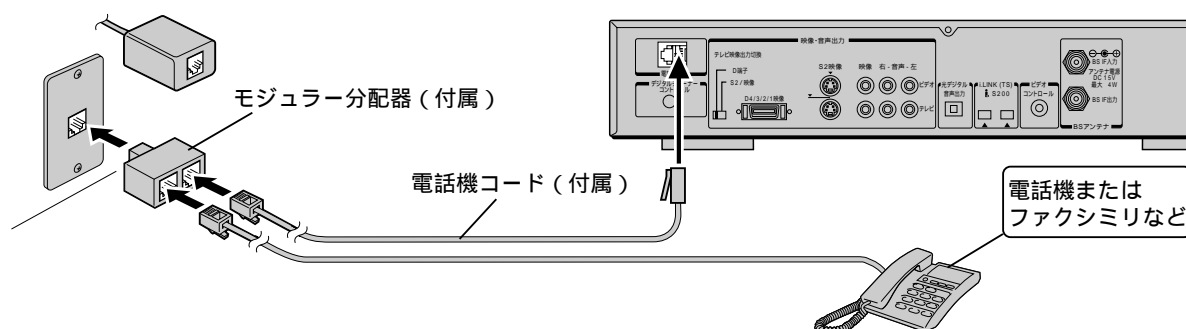
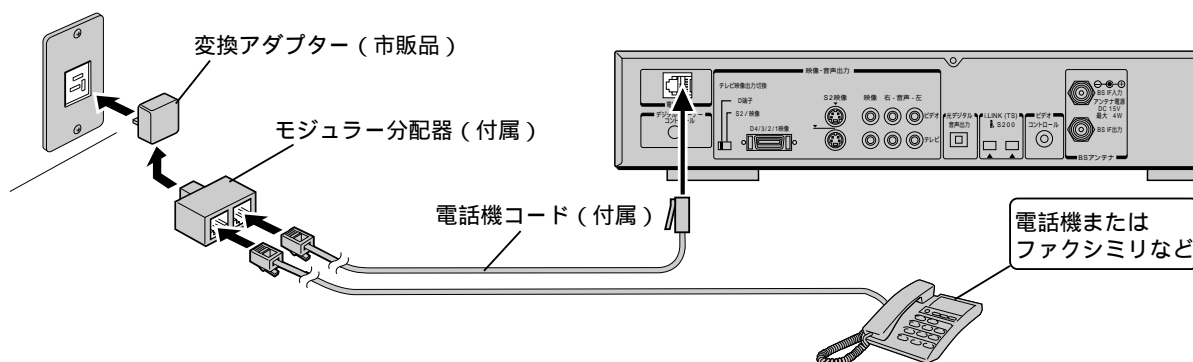
②

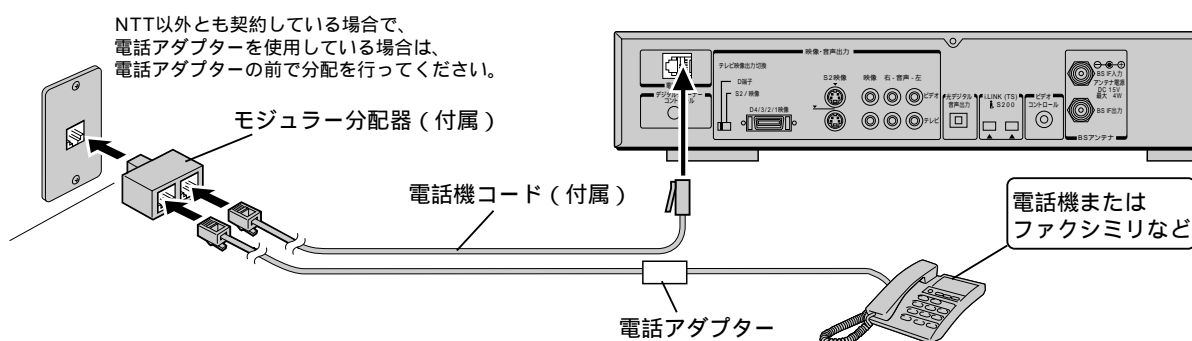
①付属品だけで接続可能です。
（次ページ「モジュラーコンセントの場合」参照。）
②専門業者による工事が必要です。
③専門業者による工事が必要です。
④構内交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、
交換機を通さない電話回線につないでください。
⑤市販の変換アダプターを用いて接続してください。
（次ページ「3ピン差し込みコンセントの場合」参照。）
⑥ターミナルアダプタ（市販品）を使用し、本機をターミナル
アダプタに直接接続してください。
⑦本機をターミナルアダプタに直接接続してください。

● ②または③の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番に工事のお問い合わせをしてください。
電話工事は、資格が必要で有料となります。無資格の方は工事できません。

● 本機を電話回線に接続されるとき、ご使用に際しては、NTTへの届けが必要です。
届け出は、局番なしの116番へ電話し、電話回線の端末接続を変更したことと商品名や認証番号などをお話しください。

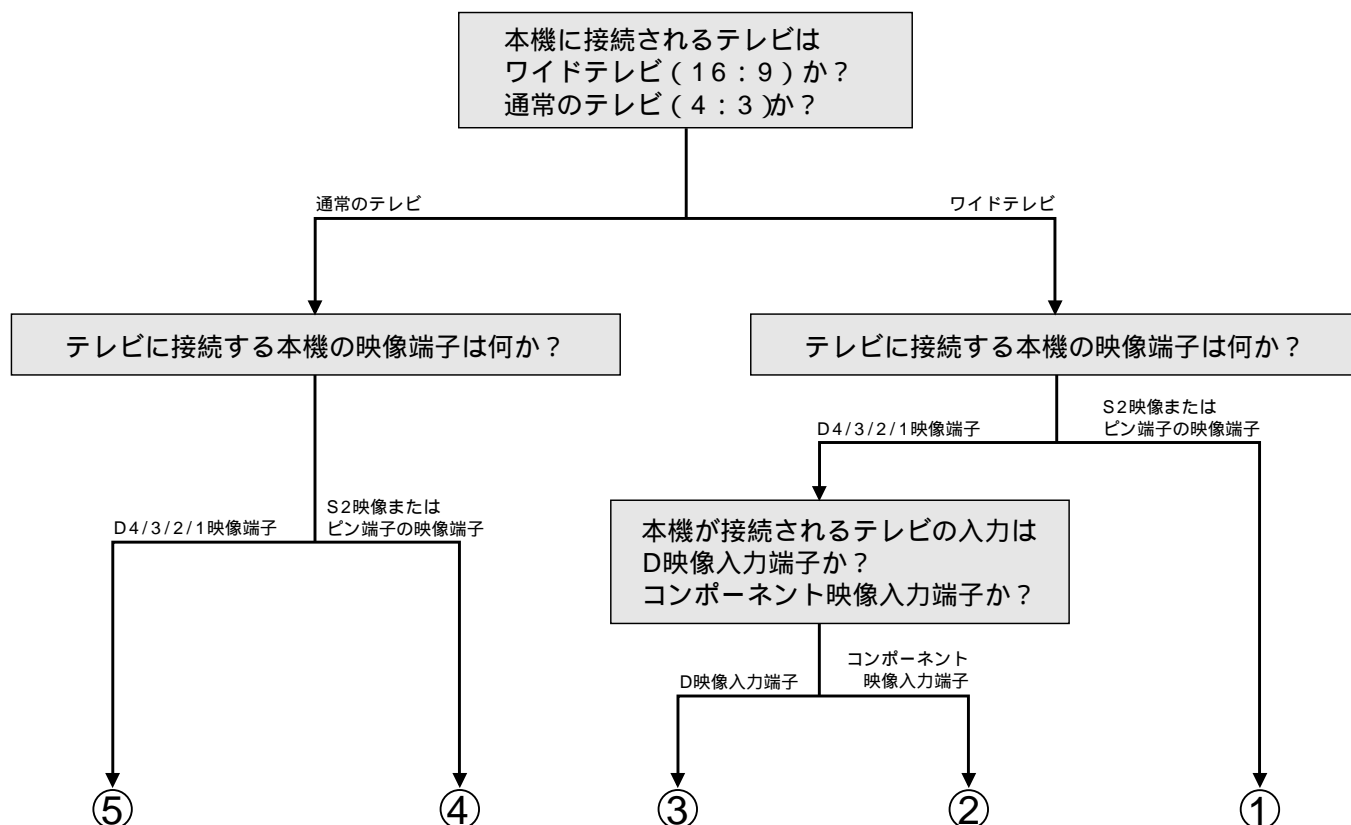
電話回線とのつなぎかた

モジュラーコンセントの場合

3ピン差し込みコンセントの場合

電話アダプターを使用している場合

お知らせ

- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには利用できません。
- 構内交換機（PBX）には使用できないものがあります。
- 付属の電話機コード（10m）が短い場合は、市販の電話機コードをお求めください。
- 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につなぎます。
- ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- キャッチホン契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。
- 電話機やファクシミリを使用中のときは、本機での通信はできません。
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。
  このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

各機器とのつなぎかた

テレビとの接続の確認

- 接続するテレビの映像入力端子の種類およびテレビの種類（ワイドテレビ[16：9]/通常のテレビ[4：3]）によって、接続のしかたや本機の設定方法が異なります。
- 接続のしかたや本機の設定が正しくないとテレビに映像が表示されない場合がありますので、ご使用のテレビに合わせた接続方法および設定方法を以下に従って確認してください。

■①の場合
- 次ページの接続を行います。
- 「テレビのS映像入力端子またはピン端子の映像入力端子に接続する場合」（→74ページ）の設定を行います。
- 「接続テレビ設定1」（→90ページ）で「ワイドテレビ」に設定します。

■②の場合
- 73ページの接続を行います。
- 「テレビのコンポーネント映像入力端子に接続する場合」（→75ページ）の設定を行います。
- 「接続テレビ設定2」（→91ページ）で「ワイドテレビ」を選び、D端子の出力モードを「固定」に設定します。

■③の場合
- 72ページの接続を行います。
- 「テレビのD映像入力端子に接続する場合」（→74ページ）の設定を行います。
- 「接続テレビ設定2」（→91ページ）で「ワイドテレビ」を選び、D端子の出力モードを「自動」に設定します。

■④の場合
- 次ページの接続を行います。
- 「テレビのS映像入力端子またはピン端子の映像入力端子に接続する場合」（→74ページ）の設定を行います。
- 「接続テレビ設定1」（→90ページ）で「通常のテレビ」に設定します。
  16：9のワイド映像に対応している通常のテレビ[4：3]の場合、「接続テレビ設定1」（→90ページ）でテレビの映像入力端子を「S1映像端子」に設定するとワイド映像受信時に、より高画質な映像で楽しめます。

■⑤の場合
- 72ページの接続を行います。
- 「テレビのD映像入力端子に接続する場合」（→74ページ）の設定を行います。
- 「接続テレビ設定2」（→91ページ）で「通常のテレビ」を選び、D端子の出力モードを「自動」に設定します。

S映像または映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた

(ビデオ)

どちらかを接続してください。

接続 ②

S（またはS1、S2）映像入力へ　映像入力へ　音声入力へ

音声出力へ　映像出力へ　S（またはS1、S2）映像出力へ

信号

どちらかを接続してください。

(BSアンテナ)

(背面)

音声入力へ　映像入力へ　S（またはS1、S2）映像入力へ

壁の電源コンセントへ
(→19ページ)

S2/映像側へ

このスイッチを必ず「S2/映像」に設定してください。「D端子」に設定されていると映像が出力されません。

どちらかを接続してください。

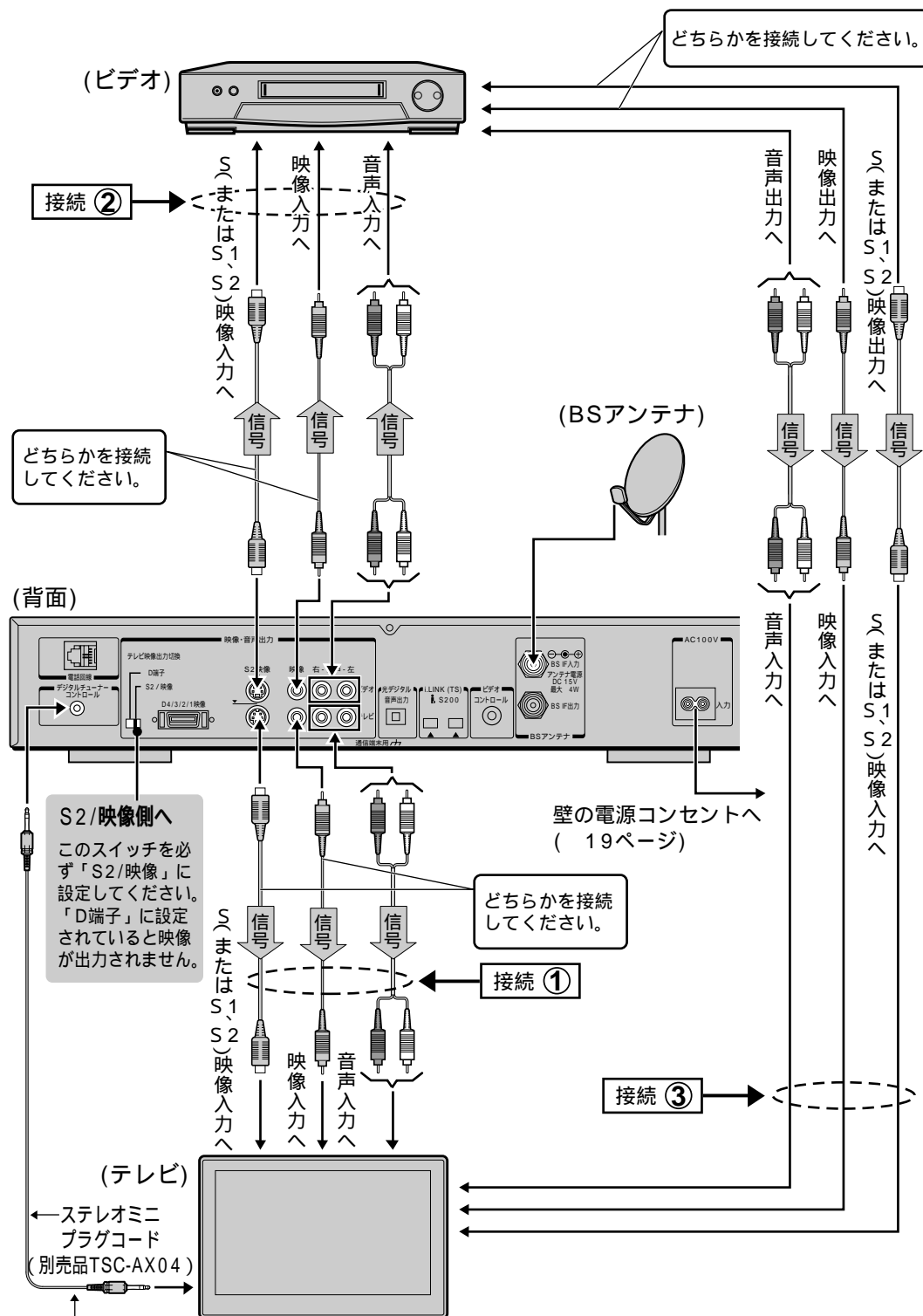
接続 ①

S（またはS1、S2）映像入力へ　映像入力へ　音声入力へ

接続 ③

(テレビ)

←ステレオミニプラグコード
(別売品TSC-AX04)

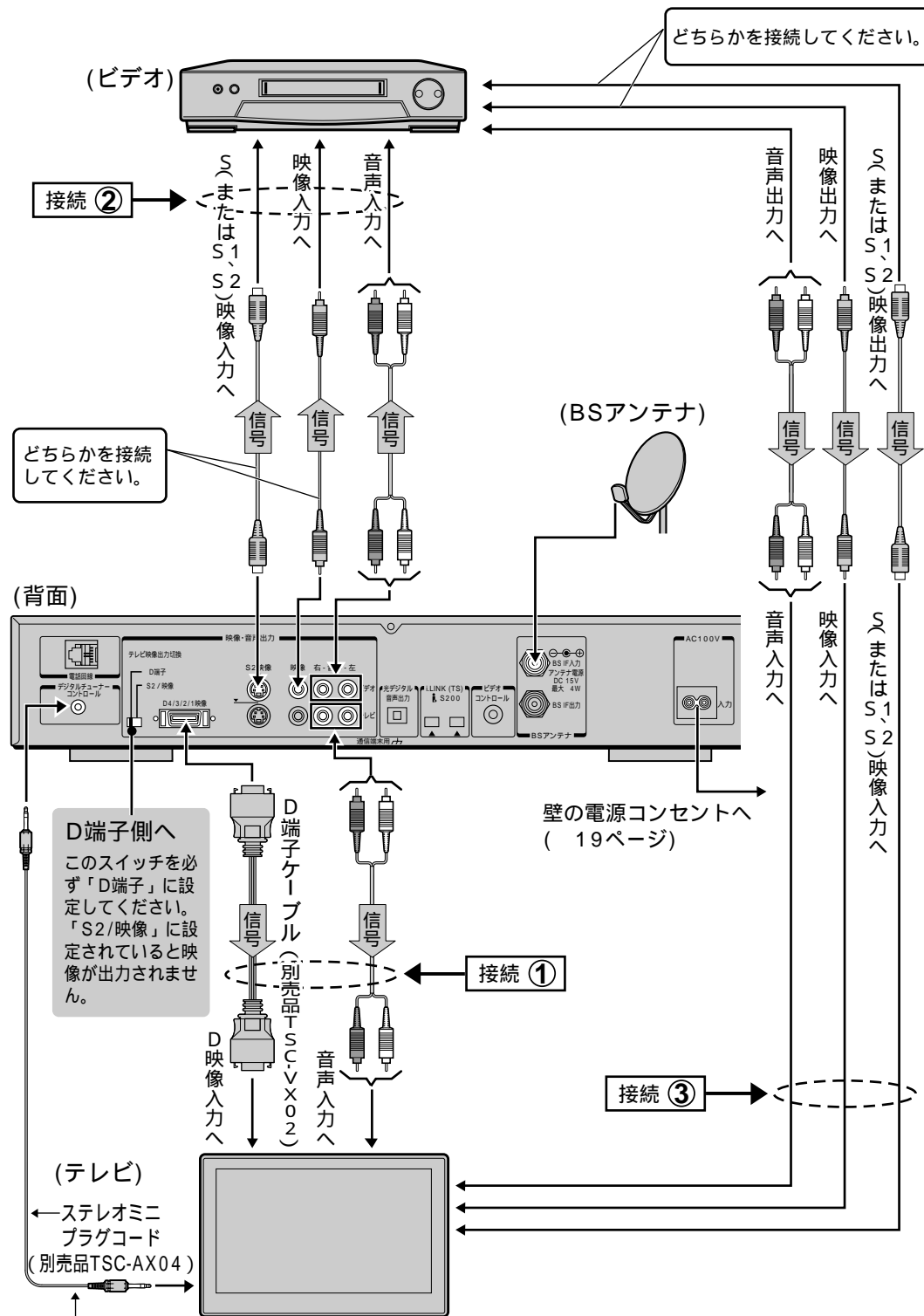
- ＢＳデジタル放送の高画質な映像を楽しむには、Ｓ（またはS1、S2）映像入力端子への接続をおすすめします。テレビのＳ１またはＳ２映像入力端子に接続した場合、映像の横縦比が16：9の番組を受信するとテレビの画面サイズがフルモードになります。ただし、「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定1）」（→90ページ）の設定が必要です。
- ＢＳデジタル放送を録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ用のＳ２映像出力端子または映像出力端子に接続した場合には、通常、画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）はされません。
  録画予約の設定で字幕を録画するように設定した場合は字幕の表示がされます。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

●当社のテレビ（36ZP50、32ZP50、28ZP50、36ZX720、32ZX720）のIT/デジタルチューナーコントロール端子に接続することによって、テレビのリモコンで本機を操作することができます。
テレビ側の詳しい接続および操作方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

各機器とのつなぎかた つづき

D映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた

●当社のテレビ(36ZP50、32ZP50、28ZP50、36ZX720、32ZX720)のIT/デジタルチューナーコントロール端子に接続することによって、テレビのリモコンで本機を操作することができます。
テレビ側の詳しい接続および操作方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ＢＳデジタル放送の高画質な映像を楽しむには、Ｄ（D4/3/2/1）映像出力端子をご利用ください。テレビにＤ（Ｄ1〜Ｄ4）映像入力端子がある場合はこの端子への接続をおすすめします。Ｄ端子で接続される場合は、「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定2）」（→91ページ）の設定が必要です。
- ＢＳデジタル放送を録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ用のＳ２映像出力端子または映像出力端子に接続した場合には、通常、画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）はされません。
  録画予約の設定で字幕を録画するように設定した場合は字幕の表示がされます。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右上図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

コンポーネント映像入力端子付きのテレビやビデオとのつなぎかた

(ビデオ)

どちらかを接続してください。

接続 ②

S（またはS1、S2）映像入力へ

映像入力へ

音声入力へ

信号

どちらかを接続してください。

音声出力へ

映像出力へ

S（またはS1、S2）映像出力へ

(BSアンテナ)

(背面)

音声入力へ

映像入力へ

S（またはS1、S2）映像入力へ

D端子側へ

このスイッチを必ず「D端子」に設定してください。「S2/映像」に設定されていると映像が出力されません。

コンポーネント映像変換用D端子ケーブル（別売品TSC-VX01）

壁の電源コンセントへ
(→19ページ)

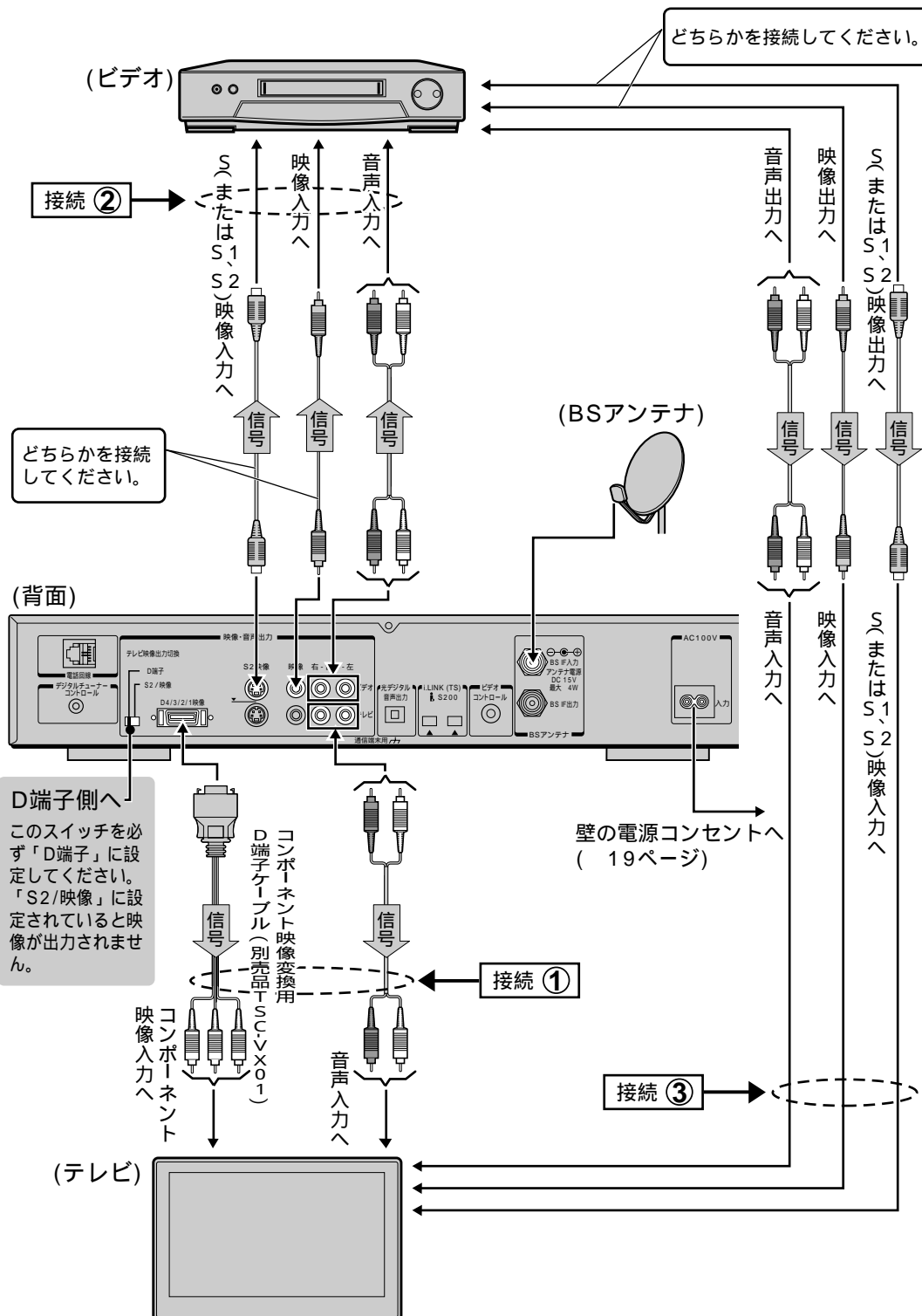
接続 ①

接続 ③

コンポーネント映像入力へ

音声入力へ

(テレビ)

- ＢＳデジタル放送の高画質な映像を楽しむには、Ｄ（Ｄ4/3/2/1）映像出力端子をご利用ください。テレビにＤ映像入力端子がなくコンポーネント映像入力端子がある場合はこの端子への接続をおすすめします。
- テレビのコンポーネント映像入力端子に接続される場合は、「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定2）」（→91ページ）の設定が必要です。
- ＢＳデジタル放送を録画するときは、ビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ用のＳ２映像出力端子または映像出力端子に接続した場合には、通常、画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）はされません。
  録画予約の設定で字幕を録画するように設定した場合は字幕の表示がされます。
- 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右上図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

テレビへの映像出力端子の設定方法

● 本機はBSデジタル放送のすべての映像信号に対応しており、ハイビジョンテレビやデジタルハイビジョン対応テレビに接続し、高画質な映像を楽しむことができます。
また、BSデジタル放送の映像信号を変換することによって、従来のテレビと接続して楽しむこともできます。

・ 本機にはテレビ接続用として、① D（D4/3/2/1）映像出力端子と② S2映像およびピン端子の映像出力端子がありますが、本体背面部のテレビ映像出力切換スイッチの設定によって、どちらか一方にしか信号が出力されませんので、接続するテレビに合わせ以下の設定を行ってください。
・ 接続する際は、各機器とのつなぎかた（→ 70 ～ 73 ページ）もご覧ください。
・ 接続するテレビの取扱説明書もご覧ください。

テレビのS映像入力端子またはピン端子の映像入力端子に接続する場合

1 **本体背面部のテレビ映像出力切換スイッチを「S2/映像」にする**

● S2およびピン端子の映像端子から信号が出力されます。
● お買い上げ時は「S2/映像」に設定されています。

2 **「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定 1）」（→ 90 ページ）で設定を行う**

● この設定における映像出力は「本機の映像信号出力について」（→76～79ページ）をご覧ください。

【本体背面部】

テレビ映像出力切換
D端子
S2／映像
D4/3/2/1映像

「S2／映像」側にします。

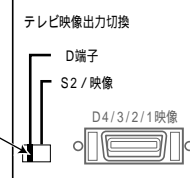
テレビのD映像入力端子（D1～D4）に接続する場合

●本機はD4からD1映像入力端子をもつテレビとの接続に対応しています。

1 **本体背面部のテレビ映像出力切換スイッチを「D端子」にする**

● D（D4/3/2/1）映像端子から信号が出力されます。
● お買い上げ時は「S2/映像」に設定されています。

【本体背面部】

テレビ映像出力切換
D端子
S2／映像
D4/3/2/1映像

「D端子」側にします。

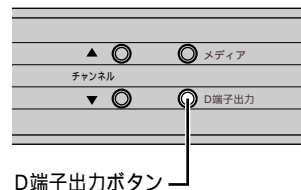
2 **本体前面部の D 端子出力ボタンを押す**

●接続するテレビのD映像入力端子の種類に合わせ設定してください。

例）D3映像入力端子をもっているテレビに接続する場合
D端子出力ボタンを押して、本体表示窓にD3の表示を点灯させます。
D端子出力ボタンを押すたびに表示窓の表示が下のように切り換わります。

D1→ D2→D3→D4
↑（D4からD1に戻る）

【本体前面部】

D端子出力ボタン

【本体表示窓】

3 **「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定 2）」（→ 91 ページ）で設定を行う**

● 接続されるテレビの種類（通常のテレビ[4:3]かワイドテレビ[16:9]）とD（D4/3/2/1）映像出力端子のモードを設定します。
● この時、91ページの手順**3**でD（D4/3/2/1）映像出力端子モードを「自動」に設定しておくと、接続されているテレビに合わせ受信した映像信号に応じた映像が出力されます。
この設定における映像出力は「本機の映像信号出力について」（→76～79ページ）をご覧ください。

テレビのコンポーネント映像入力端子に接続する場合

1 本体背面部のテレビ映像出力切換スイッチを「D端子」にする

● D（D4/3/2/1）映像端子から信号が出力されます。
● お買い上げ時は「S2/映像」に設定されています。

【本体背面部】

「D端子」側にします。

2 本体前面部の D 端子出力ボタンを押す

D端子出力

● 接続するテレビのコンポーネント映像入力端子の種類に合わせ以下に設定してください。

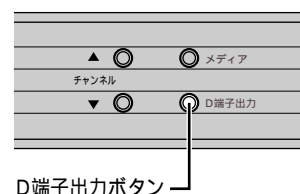
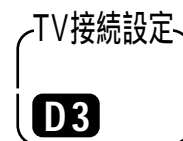
・テレビのコンポーネント映像入力端子がY、P_B、P_R、またはY、P_B/C_B、P_R/C_Rの場合、D端子出力ボタンを押して、本体表示窓にD3の表示を点灯させます。

・テレビのコンポーネント映像入力端子がY、C_B、C_Rの場合、D端子出力ボタンを押して、本体表示窓にD1の表示を点灯させます。

D端子出力ボタンを押すたびに表示窓の表示が下のように切り換わります。

D1→ D2→D3→D4
（D4からD1に戻る）

【本体前面部】

D端子出力ボタン

【本体表示窓】
（D3を選択した場合）

【本体表示窓】
（D1を選択した場合）

3 「接続されるテレビの設定（接続テレビ設定 2）」（→ 91 ページ）で設定を行う

● 接続されるテレビの種類（通常のテレビ[4:3]かワイドテレビ[16:9]）とD（D4/3/2/1）映像出力端子のモードを設定します。
● この時、91ページの手順**3**でD（D4/3/2/1）映像出力端子の出力モードを「固定」に設定してください。
この設定における映像出力は「本機の映像信号出力について」（→76〜79ページ）をご覧ください。

テレビへの映像出力端子の設定方法 つづき

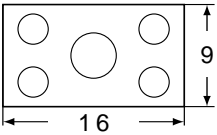
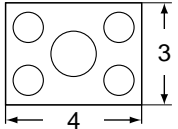
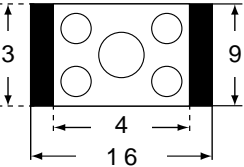
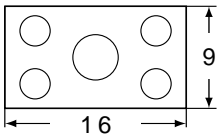
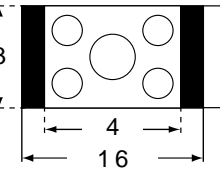
本機の映像信号出力について

- BSデジタル放送の映像信号には、10ページの[テレビ放送の特長]のように4種類の放送フォーマットが予定されています。
  また、映像信号のほかにデジタルハイビジョンの高画質放送と標準の画質の放送を識別するための信号や、映像の横縦比率をテレビで忠実に再現するための識別信号が送られています。
  本機は、これらの識別信号を検出して、接続されるテレビに応じた映像信号を出力します。
  ただし、「接続されるテレビの設定」(→90、91ページ)によって動作が異なります。

■画質について

- 画質については、本機の設定およびテレビとの接続方法によって以下の表のようになります。

テレビへの映像接続端子	D映像出力端子の設定		映像出力端子より出力される信号
	出力の種類	出力モード	
D4/3/2/1映像出力端子	D1	自動	受信されたすべての映像信号を525i(480i)の信号として出力します。
		固定	
	D2	自動	525i(480i)、525p(480p)の映像信号を忠実に出力します。 750p(720p)、1125i(1080i)の映像信号は525p(480p)信号として出力します。
		固定	受信されたすべての映像信号を525p(480p)の信号として出力します。
	D3	自動	525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)の映像信号を忠実に出力します。 750p(720p)の映像信号は1125i(1080i)信号として出力します。
		固定	受信されたすべての映像信号を1125i(1080i)の信号として出力します。
	D4	自動	受信されたすべての映像信号を忠実に出力します。
		固定	750p(720p)の映像信号を除き、その他の映像信号を1125i(1080i)の信号として出力します。 750p(720p)の映像信号は、そのまま750p(720p)として忠実に出力されます。
S2映像/ピン端子の映像端子	—		受信されたすべての映像信号を525i(480i)の信号として出力します。

- 接続するテレビのD映像入力端子の種類と本機の設定が異なっていると、映像が映らない場合や、高画質で楽しむことができない場合があります。
- 通常のテレビ（4：3）にD4/3/2/1映像出力端子を接続した場合に映像の横縦比が4：3の信号を受信した場合は、上の表の「D映像出力端子の設定」に関係なく525i(480i)の信号が出力されます。
- 録画予約機能によってビデオ用映像出力端子から字幕付きで番組をビデオに録画している場合は、D4/3/2/1映像出力端子からの映像信号は上の表の「D映像出力端子の設定」に関係なく525i(480i)の信号が出力されます。この時73ページの接続でテレビのコンポーネント映像入力端子のY、P_B、P_R端子につないでいる場合は、字幕つき番組をテレビでご覧になることができません。（Y、P_B、P_R端子が525i(480i)信号に対応していないためです。）
  その場合は73ページの接続の「接続②」「接続③」でご覧ください。
- 上の表の（　）内の数字は有効走査線数で数えたときの別称です。またｉはインタレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略です。
- 選局時、1125i(1080i)、750p(720p)の放送フォーマットの番組を受信した場合は、画面に「デジタルハイビジョン」が表示されます。（→33ページ）また、本体の表示窓部に「DIGITAL Hi-Vision」表示が点灯します。（→20ページ）

■映像の横縦比について

- 本機の「接続されるテレビの設定」（90、91ページ）と放送局から送られてくる映像の横縦比率によって、各映像出力端子の信号は以下の表のようになります。

本機の「接続されるテレビの設定」がワイドテレビ（16：9）の場合

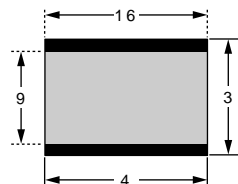
受信された映像信号		D端子 （テレビ用）	S2またはピン端子の映像端子 （テレビ用/ビデオ用）
通常の信号の場合	映像の横縦比が 16：9の場合	コンポーネント映像信号と画面の横縦比が16：9の識別信号が出力されます。 ワイドテレビの場合、通常、テレビが自動的にフルモードになります。 テレビがフルモードに切り換わらない場合は、テレビ側でフルモードに切り換えてください。	S1映像信号が出力されます。 ワイドテレビのS1映像やS2映像の入力端子に接続している場合は、テレビが自動的にフルモードになります。 ピン端子の映像入力端子等に接続している場合で、テレビがフルモードに切り換わらない場合は、テレビ側でフルモードに切り換えてください。
	映像の横縦比が 4：3の場合	**出力モードが「自動」の場合** コンポーネント映像信号と画面の横縦比が4：3の識別信号が出力されます。 ワイドテレビで見た場合、映像が横長になる場合があります。＊1 **出力モードが「固定」の場合** コンポーネント映像信号と画面の横縦比が16：9の識別信号が出力されます。 ワイドテレビで見た場合、4：3の横縦比になるように画面の左右に黒帯が付いたノーマルモードと4：3の映像を、ワイド映像で楽しめるフルモードが選択出来ます。＊2、＊3 詳しくは「画面サイズを切り換える」（→80ページ）をご覧ください。 フルモードにした場合は、映像が横長になります。	4：3の映像のまま出力されますので、ワイドテレビで見た場合、映像が横長になる場合があります。＊1 ビデオ用の出力端子には、D端子の出力モードが「固定」の場合における本機の画面サイズ切換の設定にかかわらず、受信された映像信号と同じ横縦比の信号が出力されます。＊4
特殊な信号の場合	映像の横縦比が 16：9で、実際の映像部分が4：3の場合 （画面の左右に黒帯が付けられて送られてくる映像）	コンポーネント映像信号と画面の横縦比が16：9の識別信号が出力されます。 ワイドテレビで見た場合、4：3の横縦比になるように画面の左右に黒帯が付いた映像（受信された映像信号のままの映像）になります。	ワイドテレビで見た場合、4：3の横縦比になるように画面の左右に黒帯が付いた映像（受信された映像信号のままの映像）になります。 ワイドテレビのS1映像やS2映像の入力端子に接続している場合は、テレビが自動的にフルモードになります。 ピン端子の映像入力端子等に接続している場合で、テレビがフルモードに切り換わらない場合は、テレビ側でフルモードに切り換えてください。

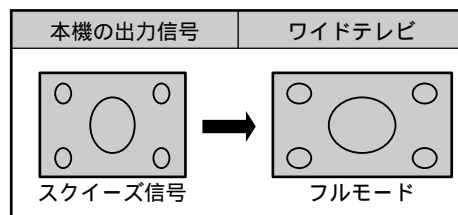
テレビへの映像出力端子の設定方法 つづき

本機の「接続されるテレビの設定」が「通常のテレビ（4：3）」の場合

受信された映像信号		D端子 （テレビ用）	S2またはピン端子の映像端子 （テレビ用/ビデオ用）
通常の信号の場合	映像の横縦比が 16：9の場合 （9 / 16）	**設定が「D1」の場合** コンポーネント映像信号と画面の横縦比がレターボックス信号の識別信号が出力されます。 通常のテレビではレターボックス信号が表示されます。＊5、＊6 **設定が「D2～D4」の場合** コンポーネント映像信号と画面の横縦比が16：9の識別信号が出力されます。 16：9の映像に対応している通常のテレビ（4：3）では、通常は自動的に16：9モードとなり高画質な映像を楽しむことができます。 テレビが自動的に16：9モードに切り換わらない場合は、テレビ側で画面サイズを切り換えてください。	**テレビの入力端子設定がS映像またはピン端子の映像端子の場合** S2映像信号が出力されます。 通常のテレビではレターボックス信号が表示されます。＊6 **テレビの入力端子設定がS1映像端子の場合** S1映像信号が出力されます。 16：9の映像に対応している通常のテレビ（4：3）では、通常は自動的に16：9モードとなり高画質な映像を楽しむことができます。テレビが16：9モードに切り換わらない場合は、テレビ側で画面サイズを切り換えてください。 ＊7
	映像の横縦比が 4：3の場合 （3 / 4）	コンポーネント映像信号と画面の横縦比が4：3の識別信号が出力されます。 テレビには受信した映像信号と同じ映像が写ります。	4：3の映像のまま出力されます。 テレビには受信した映像信号と同じ映像が写ります。
特殊な信号の場合	映像の横縦比が 16：9で、実際の映像部分が4：3の場合 （画面の左右に黒帯が付けられて送られてくる映像） （3 / 9 / 4 / 16）	コンポーネント映像信号の画面の横縦比が4：3の識別信号が出力されます。 実際の映像部分の信号（画面の左右の黒帯を除いた4：3の部分）が出力されます。	実際の映像部分の信号（画面の左右の黒帯を除いた4：3の部分）が出力されます。

レターボックス信号とは

●画面の横縦比が4:3の信号において、実際の映像部分が16:9の横縦比になるように画面の上下に黒帯を付加したワイド映像の信号です。

S1 映像信号とは

●映像信号を輝度信号(Y信号)と色信号(C信号)に分離した信号で、16:9のワイド映像を4:3に圧縮した信号(スクイーズ信号)の場合、ワイド映像を自動判別するための識別信号が付加された信号です。
ワイドテレビでは、この識別信号によって自動的に画面をフルモードに切り換えます。

S2 映像信号とは

●S1映像信号の機能に加え、レターボックス信号を自動判別するための識別信号が付加された信号です。

コンポーネント映像信号とは

●色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離した信号で、輝度信号(Y)と青色信号(P_B またはC_B)、赤色信号(P_RまたはC_R)に分けられた信号で、輝度信号と色信号が混合されている通常の映像信号に比べ、よりあざやかに映像を表示することができます。
D端子の場合は、コンポーネント映像信号に加え、画面の横縦比を自動判別するための識別信号と走査線数を自動判別するための識別信号が付加されています。

＊1 放送されている映像と同じ4:3の横縦比でご覧になるにはテレビの設定でノーマルに切り換えてください。テレビの操作はご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。

＊2 D端子が「D1」に設定されている場合は、出力モードが「固定」に設定されていても、出力モードが「自動」の場合と同じ動作になります。

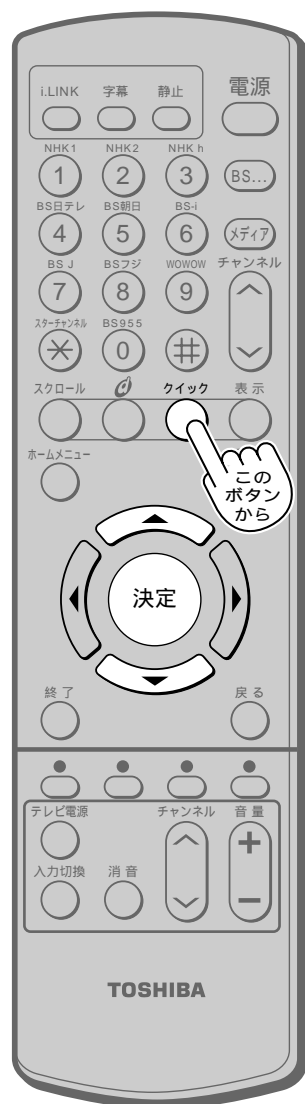
＊3 本機で画面サイズを切り換えた場合は、チャンネル番号などの文字や字幕が横長になる場合があります。

＊4 録画予約機能によってビデオ用映像出力端子から字幕付きで番組をビデオに録画している場合は、テレビで視聴している映像の横縦比と同じ信号が出力されます。したがって、本機の画面サイズ切換の設定によっては、ビデオに録画されている映像が横長になったり、映像の左右に黒帯が付いた映像となる場合があります。画面サイズ切換については、80ページをご覧ください。

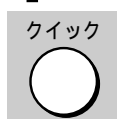
＊5 D1入力端子がある通常のテレビ(4:3)で、16:9の映像に対応しているテレビと本機をD端子ケーブルで接続する場合は、接続されるテレビの設定(→91ページ)で「ワイドテレビ(16:9)」に設定してください。「通常のテレビ(4:3)」に設定されると、テレビが16:9モードのときに映像が縦方向に縮む場合があります。

＊6 チャンネル番号などの文字や字幕を表示した場合は縦方向に縮んだ表示になります。

＊7 16:9の映像に対応している通常のテレビ(4:3)のS1映像の入力端子に接続している場合は、テレビが自動的に16:9モードになります。ただし、「接続テレビ設定1」(→90ページ)の手順**4**で、接続されるテレビのS映像入力端子の種類が「S1映像端子」に設定されていることが必要です。また、この設定になっている場合で、ピン端子の映像入力端子等に接続している場合で、テレビが16:9モードに切り換わらない場合は、テレビ側で16:9モードに切り換えてください。テレビの操作はご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビへの映像出力端子の設定方法 つづき

画面サイズを切り換える

- ワイドテレビで視聴されている場合で、「接続テレビ設定2」(→91ページ)によって、D端子の出力モードが「固定」に設定されている場合(D1の場合を除く)に、映像の横縦比が4:3の信号を受信したときは画面サイズを切り換えてワイド画面で楽しむことができます。
- 本機の設定が上記以外の場合や、受信した信号の映像の横縦比が4:3の信号以外では、本機で画面サイズを切り換えることはできません。
  詳しくは「映像の横縦比率について」(→77〜79ページ)をご覧ください。

1 クイックボタンを押す

- クイックメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「画面サイズ切換」を選び、決定ボタンを押す

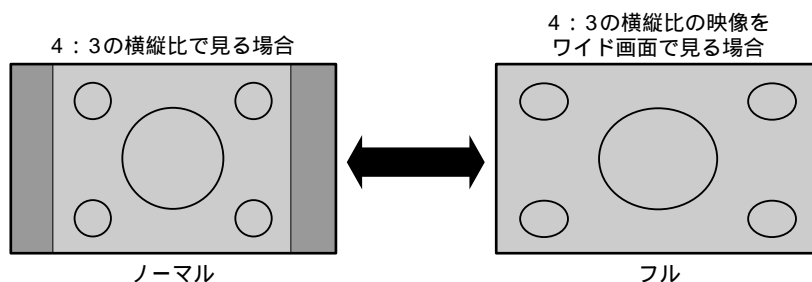
- 画面サイズメニューが表示されます。
- 画面サイズが切り換えられない場合は、クイックメニューに「画面サイズ切換」は表示されません。

※クイックメニューは状態によって表示される項目が異なります。

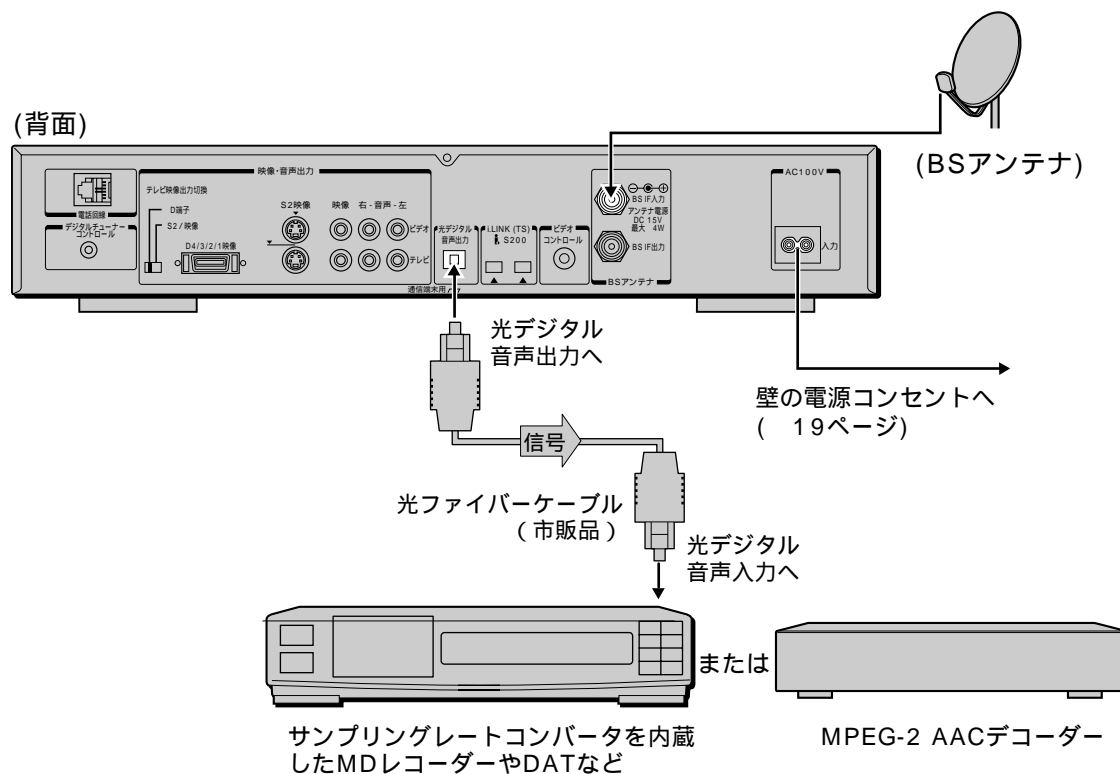
3 カーソル ▲・▼ ボタンでご希望の画面サイズモードを選ぶ

- フルかノーマルを選びます。

■画面サイズモードについて

- フル　　:通常(4:3)のテレビ番組をワイド画面で楽しむモードです。
- ノーマル :通常(4:3)のテレビと同じ画面サイズで楽しむモードです。

- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等において画面の大きさを変えるなどの特殊機能（送られてくる映像の縦横比を変えるなど）を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがあります。
- 画面サイズによっては、チャンネル番号などの文字や字幕が横長になる場合があります。

MDレコーダーやAACデコーダーなどとのつなぎかた

● 本機は、光デジタル音声出力端子を搭載しています。
DAT や MD レコーダーの光デジタル音声入力端子と接続することによって、高品位な録音ができます。
また、MPEG-2 AAC デコーダー内蔵の AV アンプなどと接続することによって、迫力ある音声で楽しむこともできます。

MPEG-2 AACデコーダー以外のデジタル機器(MDデコーダーやDAT)につなぐ場合

● この場合は、本機の「光デジタル音声出力の設定」を「リニアPCM」に設定します。設定方法は116ページをご覧ください。
● MDレコーダーやDATなどのデジタル機器の詳しい接続、取り扱いは各取扱説明書をご覧ください。

MPEG-2 AACデコーダーにつなぐ場合

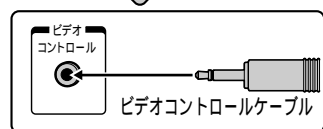
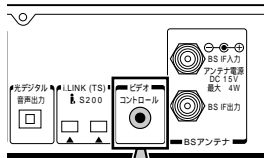
● BSデジタル放送やi.LINK接続機器からのMPEG-2 AAC方式の信号をMPEG-2 AACデコーダー(市販品)で楽しむことができます。
● この場合は、本機の「光デジタル音声出力の設定」を「MPEG-2 AAC」に設定します。設定方法は116ページをご覧ください。
●「光デジタル音声出力の設定」を「MPEG-2 AAC」に設定した場合でも、BSデジタル放送またはi.LINK端子からの音声信号が「MPEG-2 AAC」でない場合は「リニアPCM」で出力されます。
● MPEG-2 AACデコーダーの詳しい接続、取り扱いはMPEG-2 AACデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

● 本機の「光デジタル音声出力」端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。そのままプラグを差し込んでください。

● 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、放送局から送られてくる音声のサンプリング周波数と同じで、48kHzまたは32kHzとなっています。
これらのサンプリング周波数に対応していない機器と接続する場合は、市販のサンプリングレートコンバータが必要となります。
● サンプリングレートコンバータを内蔵していないMDレコーダーの場合には、市販のサンプリングレートコンバータが必要となります。

付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた

- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオをコントロールし録画予約やBS一発録画をすることができます。
- ビデオコントロールケーブルを使用するには、接続されるビデオの設定をすることが必要です。(→92ページ)
- ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。下部の「お知らせ」をご覧ください。

(背面)

付属のビデオコントロールケーブルをつなぐ

1 本機の「ビデオコントロールケーブル」端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ

2 ビデオコントロールケーブルの取付け位置を決める

- テレビ台やラックなどに収納したビデオのリモコン受光部の近くで、発光部が取り付けられそうな場所を選びます。
  ガラス扉の開閉でビデオコントロールケーブル本体やコードがぶつからないようにしてください。
- 「録画機器の機種設定」(→92、93ページ)の操作の手順**5**で、ビデオの電源が「入」⇔「切」(待機)となる場所を選んでください。ビデオの電源が「入」⇔「切(待機)」と動作しない場合はビデオコントロールケーブルを使用しての録画はできません。

3 固定する(固定する場所の例)

①この保護テープをはがす

②ビデオコントロールケーブルに接着面を強く押し付け貼り付ける

③この保護テープをはがす

④ビデオにビデオコントロールケーブルを貼り付ける

- ビデオコントロールケーブルが固定できる範囲内で、なるべく前に出してください。
  約20ミリ以上、前に出してください。

上図のように、ビデオコントロールケーブルのコードを途中で固定したい場合

- 付属の両面テープ(小さいほう)と、ご自宅にあるセロハンテープなどのテープを使います。
- ケーブルがピンと張らずに、多少たるんだ状態となる場所を選んでください。
  ①両面テープの片側の保護テープをはがし、その場所に貼り付ける
  ②両面テープのもう一方の保護テープをはがし、コードを貼り付ける
  ・コードを仮固定します。
  ③セロハンテープなどを、両面テープとコードの上から貼り、しっかりと押さえる

お願い

- ビデオコントロールケーブルと、ビデオのリモコン受光部との距離が50cm以内を目安に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部をよく確かめ、ビデオコントロールケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部については、ご使用のビデオの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 機種によっては録画ができないビデオがあります。
  次の①および②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画をすることはできません。
  ① 93ページの手順**5**の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない。
  ② 93ページの手順**8**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない。

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた

● i.LINK 接続することで、さらに便利な使いかたができます。

i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた

● 下図のようにD-VHSビデオとi.LINK接続することで、次の機能を使うことができます。
①テレビ画面にD-VHSビデオの操作パネルを表示させて、操作をする（→85ページ）
②BSデジタル放送を録画予約（デジタル録画）する（→47ページ）
③今見ているBSデジタル放送を簡単操作でデジタル録画する（「BS一発録画」→59ページ）

● i.LINK接続コードは、「S200」または「S400」のものをご使用ください。
● i.LINK接続を使用する場合は、接続後はじめに「i.LINK設定」（→94ページ）を行ってください。

● BSデジタル放送をD-VHSビデオにアナログ録画するときは、D-VHSビデオの入力切換スイッチを外部入力の状態にします。詳しくはD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
● ビデオ用のS2映像出力端子または映像出力端子に接続した場合には、通常、画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）はされません。
予約の設定で字幕を録画するように設定した場合は字幕の表示がされます。
● 番組によっては録画が禁止されている場合があります。この場合は、右図の「接続 ①」でご覧ください。「接続 ②、③」でご覧になると、ビデオによっては映像が乱れる場合があります。

(D-VHSビデオ)

どちらかを接続してください。

S（またはS1、S2）映像入力へ　映像入力へ　音声入力へ　i.LINK端子へ

接続 ②

音声出力へ　映像出力へ　S（またはS1、S2）映像出力へ

i.LINK接続ケーブル（市販品）

(BSアンテナ)

信号

どちらかを接続してください。

(背面)

音声入力へ　映像入力へ　S（またはS1、S2）映像入力へ

壁の電源コンセントへ（→19ページ）

テレビへの接続に合わせ必ず以下のように設定してください。
● S映像または映像入力端子の場合
「S2/映像」に設定する
● D映像またはコンポーネント映像入力端子の場合
「D端子」に設定する

どれか1つを接続してください。

接続 ①

D映像入力端子またはコンポーネント映像入力端子へ
（別売品TSC-VX02またはTSC-VX01）

S（またはS1、S2）映像入力へ　映像入力へ　音声入力へ

接続 ③

Y映像入力へ
PR/CR映像入力へ
PB/CB映像入力へ

(テレビ)

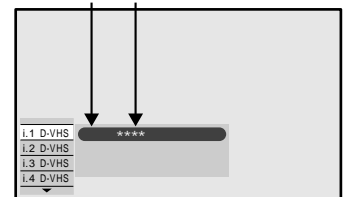
i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する

基本の操作

● 以下の操作をする前に、あらかじめ「i.LINK設定」（→94ページ）を行ってください。
● D-VHSビデオやi.LINK端子のあるテレビの操作については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

1 i.LINK ボタンを押す

● i.LINKモードになります。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで操作したい機器を選ぶ

● カーソル ◀ ボタンでカーソル位置を左端にした後、カーソル ▲・▼ ボタンで機器を選んでください。
ブロードキャスト入力を見る場合は、「ブロードキャスト」を選んでください。
（ブロードキャストについては、125ページをご覧ください。）

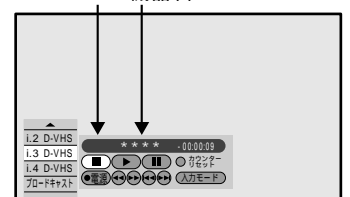
● i.LINK接続・登録されている機器が1台の場合で、ブロードキャスト入力がオフに設定されている場合は機器の選択は必要ありません。手順**3**に進んでください。

3 カーソル ▶ ボタンでカーソルを操作ボタン部分に移動した後、カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで、操作するボタン表示を選び、決定ボタンを押す

● 操作パネル表示は、操作する機器によって異なります。

■D-VHSビデオの場合………次ページへ
■i.LINK端子のあるテレビの場合………86ページへ

操作パネル表示を一時的に消したいとき

① i.LINKボタンを押す
・操作パネル表示が消えます。
②もう一度、表示させるには、i.LINKボタンを押す

4 ［i.LINKでの操作を終了するには］
終了ボタンを押す

● 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作をすることはできません。
本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
● この機能で操作できる機器は、「i.LINK機器登録」（→94ページ）を行った機器だけです。
● i.LINKの操作中に、i.LINK接続を変えると画面が途切れる場合があります。
その際「選択された機器にi.LINK接続されません。」が表示された場合は、下記を行ってください。
① 決定ボタンを押して、メッセージを消す
② 終了ボタンを押す
③ i.LINK接続の状態を確認したあと、もう一度i.LINKボタンを押す
● i.LINK機器が登録されていない場合で、ブロードキャスト入力が「オフ」にされている場合は、i.LINKモードに切り換えられません。
● ブロードキャスト入力について
・機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機ではご覧になれない場合があります。

■ D-VHS ビデオの場合

（操作パネル表示例）

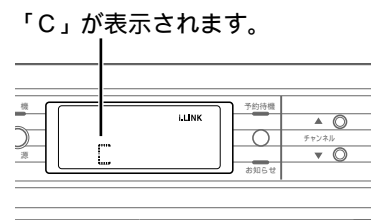
（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止/解除
⏮	前に戻って、頭出し再生
⏭	1つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り
◀◀	巻戻し
カウンターリセット	カウンター表示をリセット

- 操作パネルを使って録画の操作をすることはできません。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 録画が制限されていてこれ以上録画できない信号がi.LINK端子に入力されたとき
  ・本体の「表示窓」に右のように「C」が表示されます。
  ・その場合、D（D4/3/2/1）映像出力端子には「テレビへの映像出力端子の設定方法」（→74、75ページ）の設定状態にかかわらず、525i（480i）信号で出力されます。

「C」が表示されます。

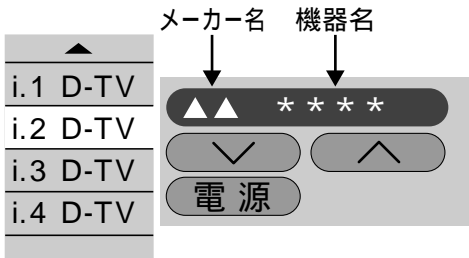
本体の前面部

- 上記の場合で、テレビのコンポーネント映像入力端子のY、PB、PR端子に本機をつないでいる場合は、テレビで映像を見ることができません。
  これはY、PB、PR端子が525i（480i）信号に対応されていないためであり、本機の故障ではありません。

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

基本の操作 つづき

■ i.LINK 端子のあるテレビの場合

（操作パネル表示例）

（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
∧	上方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。
∨	下方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。

- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKについて

i.LINKとは

- i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェースです。 i.LINKケーブル１本で接続することができます。

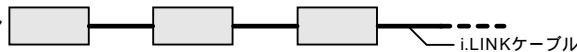
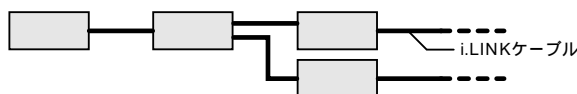
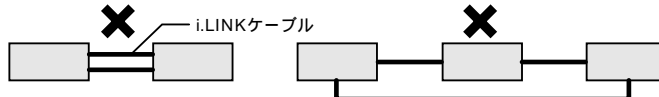
■本機が接続できるi.LINK 機器について

- 下記の製品については、電源　入／切（待機）、再生、停止、早送り、巻戻しなどが本機からi.LINKでコントロールできることが確認されています。

製　品	メーカー	型　名
D-VHSビデオ	シャープ	VC-DS1
〃	ソニー	SLD-DC1
〃	日本ビクター	HM-DR1/HM-DR10000

- 上記以外で、i.LINK制御できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。
  また、上記リストの製品でも、本機から正しく制御できなくなる場合があります。
- 上記リストの製品はHSモード対応ではないため、BSデジタルハイビジョン放送は、番組によってはデジタル録画できません。
- DV機器はフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。

■ i.LINK 接続のしかた

- i.LINK接続では、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつないだ機器も操作やデータのやりとりができます。そのため、機器をつなぐ順番を考慮する必要はありません。
  ただし、接続する機器の仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。
- i.LINK機器は、右図のようにi.LINKケーブルを使用してデイジーチェーン（数珠つなぎ）でつなぎます。
- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合は、右図のように分岐してつなぐこともできます。
- 右図のようなループ（輪）状にはつながないでください。

■接続できる機器の数について

- 他の機器を16台までデイジーチェーンでつなげます。分岐して接続した場合は、最大62台まで他の機器を接続できます。

■ i.LINK 機器登録について

- 本機に他のi.LINK機器をつないで使うためには、「i.LINK接続した機器の登録」(→94ページ)を行うことが必要です。

■接続についてのご注意

- 接続の際は、4ピン、「S200」または「S400」のタイプのi.LINK専用ケーブル（市販品）をご使用ください。
- 一部の機器では、電源を切られているとデータを中継しない場合があります。
- i.LINK機器にはその機器が対応している最大データ転送速度が、i.LNK端子の周辺に記載されています。
  データ転送速度には、S100(100Mbps)、S200(200Mbps)、S400(400Mbps)の3種類が定められています。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

■ i.LINK 機能をご使用の際のご注意

- i.LINK機能をご使用中は、使用していない他のiLINK機器についてもi.LINK機器のケーブルの抜き差しや、新しいi.LINK機器の追加、電源の入／切は行わないでください。

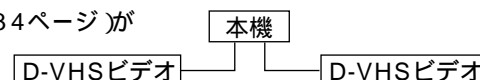
■ D-VHS 方式で録画する際のご注意

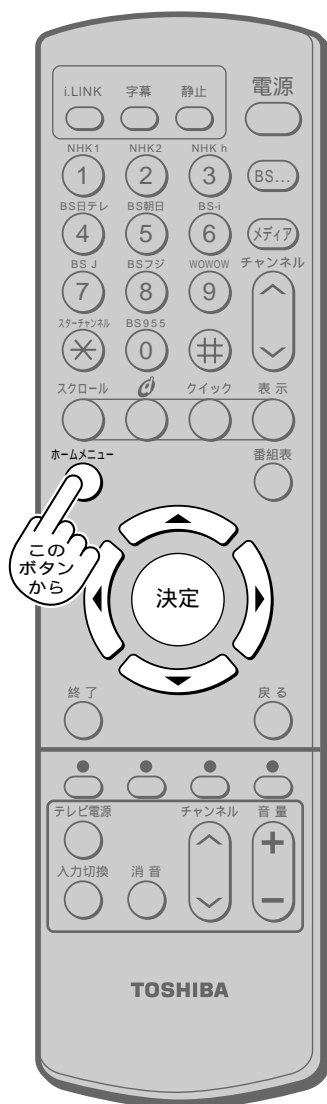
- D-VHS用のビデオテープをご使用ください。

■他機から本機を i.LINK 制御する際のご注意

- 「外部機器からの制御」(→125ページ)を「モード2」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。ただし、その場合は、本機の電源を「入」にしてから、制御してください。
  本機の電源が「待機」のときは、他機から制御することはできません。

■ D-VHS ビデオでダビングする際のご注意

- 下図のように本機の2つのi.LINK端子を使って、2台のD-VHSビデオを接続し、ダビングを行う場合は、本機の電源を「入」にした状態で行ってください。
  電源が「待機」の状態でダビングを行うと、ダウンロード(→134ページ)が実行された場合、ダビングは中止されます。

- i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995及びその拡張仕様を示す呼称です。
  このIEEE 1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
  i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

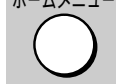
はじめての設定をする

はじめての設定

●「はじめての設定」では、最初に必要な設定をまとめて行います。

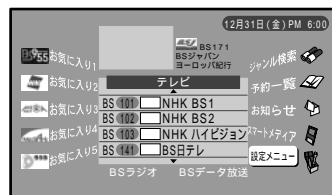
はじめての設定を行う

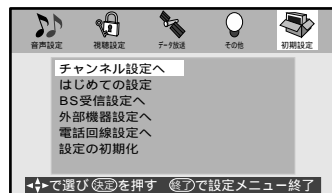
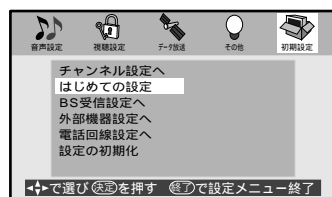
はじめに

テレビに接続する映像出力端子の設定が終わっていることを確認する
（設定がまちがっていると、映像やホームメニュー等が表示されません。）
● S2映像またはピン端子の映像出力端子で接続する場合
71ページの接続と74ページの設定がされていることを確認してください。
● D4/3/2/1映像出力端子で接続する場合
接続するテレビの入力端子に合わせて72、または73ページの接続と74、または75ページの設定がされていることを確認してください。

1 ホームメニューボタンを押す

●「ホームメニュー」が表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

●「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ

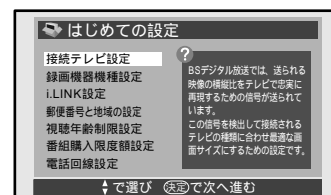
●「初期設定」画面になります。

4 カーソル ▲・▼ ボタンで「はじめての設定」を選び、決定ボタンを押す

5 下記の各項目の設定を行う

● 設定する項目は下表のとおりです。記載されているページを参照して設定してください。
● 各項目の設定が終わると右の画面に戻ります。

はじめての設定

接続テレビ設定
録画機器機種設定
i.LINK設定
郵便番号と地域の設定
視聴年齢制限設定
番組購入限度額設定
電話回線設定

BSデジタル放送では、送られる映像の横縦比をテレビで忠実に再現するための信号が送られています。
この信号を検出して接続されるテレビの種類に合わせ最適な画面サイズにするための設定です。

で選び 決定で次へ進む

設定項目	内　容	ページ
接続テレビ設定	接続されるテレビがワイドテレビ（画面の横縦比が16：9）か通常のテレビ（画面の横縦比が4：3）かを設定します。	90
録画機器機種設定	付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールするための設定です。	92
i.LINK設定	D-VHSビデオなどをi.LINK端子を使ってつなぐ場合の設定です。	94
郵便番号と地域の設定	お住まいの地域に適した番組を視聴するための設定です。	97
視聴年齢制限設定	成人向けの番組などの視聴を制限する設定です。	98
番組購入限度額設定	ペイ・パー・ビュー番組の購入限度額を設定します。	99
電話回線設定	電話回線を利用するための設定です。	101

6 設定が終ったら終了ボタンを押す

● 通常画面に戻ります。

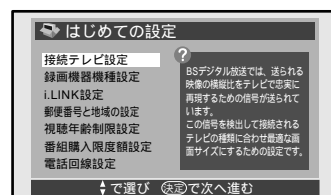
はじめての設定をする つづき

接続されるテレビの設定

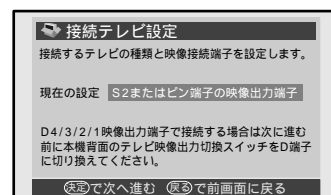
- 接続されるテレビが通常のテレビ(画面の横縦比が4:3)か、ワイドテレビ(画面の横縦の比が16:9)かを設定します。出荷時はワイドテレビに設定されています。
また、D(D4/3/2/1)映像出力端子でテレビと接続する場合の出力モードも設定します。
- BSデジタル放送では、放送される映像の横縦の比の信号をテレビで忠実に再現するための信号が送られており、この信号を検出して最適な画面サイズにするための設定です。
- 本設定を行う前に、「テレビへの映像出力端子の設定方法」(→74、75ページ)によって、テレビとの接続に合わせ正しく設定してください。

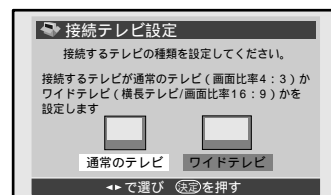
はじめに

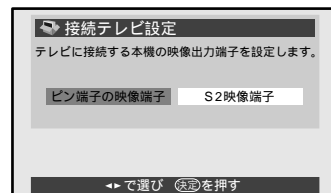
1.「はじめての設定」画面になっていることを確認する
- 「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**〜**4**の操作を行ってください。

2. カーソル ▲·▼ ボタンで「接続テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す

接続テレビ設定1(S2映像またはピン端子の映像出力端子で接続されている場合)

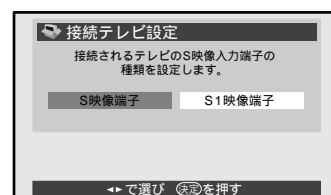
1 画面の内容を確認した後、決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すと、手順**2**の画面になります。
- テレビとの接続をD(D4/3/2/1)映像端子に変更する場合、画面の指示に従って設定を変更し、D映像ケーブルで接続してください。(→72、73ページ)
設定を変更する場合は、テレビへの映像出力端子の設定方法(→74、75ページ)もご覧ください。

2 カーソル ◀·▶ ボタンで「ワイドテレビ」または「通常のテレビ」を選び、決定ボタンを押す

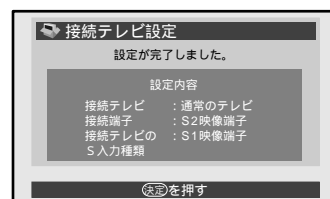
- 「ワイドテレビ」を選んだ場合は、手順**5**へ進んでください。
- 「通常のテレビ」を選んだ場合は、手順**3**の画面になります。

3 カーソル ◀·▶ ボタンで「ピン端子の映像端子」または「S2映像端子」を選び、決定ボタンを押す

- 「ピン端子の映像出力端子」を選んだ場合は、手順**5**へ進んでください。
- 「S2映像端子」を選んだ場合は、手順**4**の画面になります。

4 カーソル ◀·▶ ボタンで「S映像端子」または「S1映像端子」を選び、決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すと、手順**5**の画面になります。

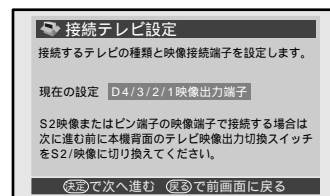
- ビデオ用映像出力端子もここでの設定に応じて信号が出力されます。詳しくは、76〜79ページをご覧ください。
- 手順**2**で「ワイドテレビ」に設定した場合でも、ワイドテレビがS1、S2映像入力でない場合や、ピン端子の映像入力端子と接続した場合、映像の横縦比が16:9の番組を受信すると映像が縦長になります。
その場合はワイドテレビをフルモードに設定してください。

5 設定内容を確認する

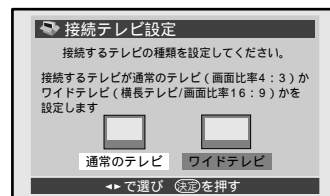
- 決定ボタンを押すと､｢はじめての設定｣画面に戻ります。
- 右の画面は設定内容によって表示される内容が異なります。

6

[他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

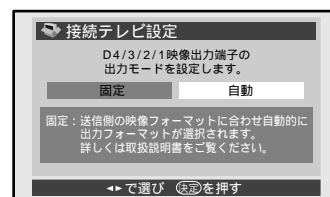
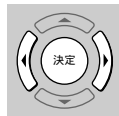
接続テレビ設定2（D（D4/3/2/1）映像出力端子で接続されている場合）

1 画面の内容を確認した後、決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すと､手順**2**の画面になります。
- テレビとの接続をS2映像またはピン端子の映像端子に変更する場合､画面の指示に従って設定を変更し､S映像用コードまたは映像用コードで接続してください。（→71ページ）
  設定を変更する場合は､テレビへの映像出力端子の設定方法（→74､75ページ）もご覧ください。

2 カーソル ◀·▶ ボタンで「ワイドテレビ」または「通常のテレビ」を選び、決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すと､手順**3**の画面になります。

3 カーソル ◀·▶ ボタンで「固定」または「自動」を選び、決定ボタンを押す

接続テレビ設定
D4/3/2/1映像出力端子の
出力モードを設定します。
固定　自動
固定：送信側の映像フォーマットに合わせ自動的に
出力フォーマットが選択されます。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。
◂▸で選び 決定を押す

- 決定ボタンを押すと､項目**4**の画面になります。

固定を選んだ場合

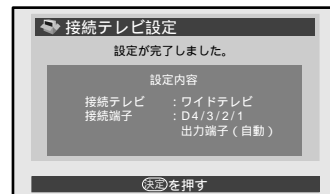
・放送される映像信号の種類に関係なく､固定の映像信号が出力されます。
　テレビのコンポーネント映像入力端子と接続する場合は､この設定にしてください。

自動を選んだ場合

・放送される映像信号の種類に応じて､映像信号が出力されます。
　テレビのD（D4/3/2/1）端子映像入力端子と接続する場合は､この設定にしてください。

4 設定内容を確認する

- 決定ボタンを押すと､｢はじめての設定｣画面に戻ります。
- 右の画面は設定内容によって表示される内容が異なります。

5

[他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- ビデオ用映像出力端子もここでの設定に応じて信号が出力されます。詳しくは､76～79ページをご覧ください。

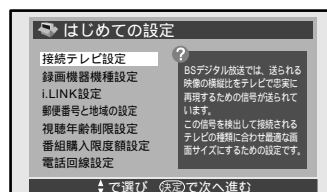
はじめての設定をする つづき

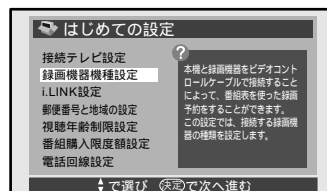
録画機器の機種設定

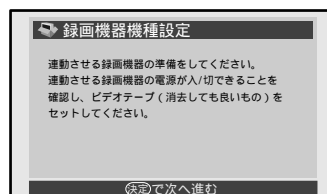
● 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、録画機器への録画予約、BS一発録画を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。

はじめに　**付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する（→82ページ）**

1　「はじめての設定」画面になっていることを確認する

●「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**〜**4**の操作を行ってください。

2　カーソル ▲・▼ ボタンで「録画機器機種設定」を選び、決定ボタンを押す

●「録画機器機種設定」画面が表示されます。

3　画面の説明にしたがって、連動させる録画機器の準備をする

①録画機器の電源が、録画機器のリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②ビデオテープ(消去して良いもの)を録画機器に入れる
③以上が終ったら、決定ボタンを押す

4　カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで接続する録画機器のメーカーを選び、決定ボタンを押す

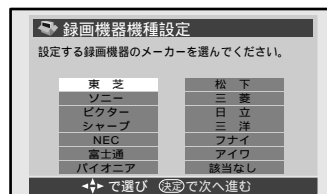
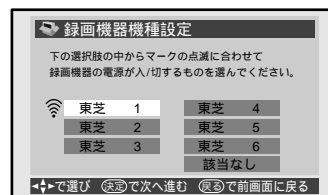
該当するメーカーがない場合

● この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約やBS一発録画をすることはできません。
●「該当なし」を選んで決定ボタンを押すと右のメッセージ画面になります。
●「該当なし」を選んだ場合は、録画予約およびBS一発録画で録画機器を連動することができません。録画予約、BS一発録画のときは、録画機器側で録画の設定を行ってください。
● 決定ボタンで「はじめの設定」メニューに戻ります。

5 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンでリモコンの信号形式を選ぶ

- 画面のマークの点滅「 」に合わせて数秒の間隔で録画機器の電源が入⇔切(待機)となる信号形式を選びます。
- **選んだ信号形式によっては電源入から切(待機)までしばらく時間がかかる場合があります。**

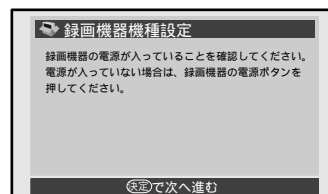
録画機器の電源が入⇔切(待機)となるものがない場合

- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、BS一発録画をすることはできません。録画予約、BS一発録画のときは、録画機器側で録画の設定を行ってください。
- 「該当なし」を選んで決定ボタンを押すと右のメッセージ画面になります。
- 決定ボタンで「はじめての設定」メニューに戻ります。

録画機器の連動動作はできません。
録画予約の際には、録画機器で直接予約設定をしてください。

決定で設定完了

6 決定ボタンを押す

7 録画機器の電源が「入」であること確認してから、決定ボタンを押す

- 録画機器の電源が切(待機)のときには、録画機器の電源ボタンを押して電源を入れてから、決定ボタンを押してください。

8 録画機器が数秒の間隔で録画⇔停止を繰り返しているか確認し、下記の操作を行う

- **選んだ信号形式によっては録画⇔停止でしばらく時間がかかる場合があります。**

録画機器が録画⇔停止を繰り返している場合

- **カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - 「録画機器の設定が完了しました。」のメッセージが表示されます。その後、はじめての設定画面に戻ります。手順**9**に進んでください。

録画機器が録画⇔停止を繰り返していない場合

- 現在選んでいる信号形式では、録画機器の録画や停止を行うことができません。下記の操作により、別の信号形式を選んでください。
  - **カーソル ◀・▶ ボタンで「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
    - 手順**5**の画面に戻ります。
      別の信号形式を選んで、手順**5**以降の操作をもう一度行ってください。
    - どの信号形式でも、録画機器が録画⇔停止を繰り返さない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約やBS一発録画をすることはできません。終了ボタンを押して、設定を中止してください。

9

[他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 次の①および②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントローラを使って録画できません。
  ①右記の手順**5**の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない
  ②右記の手順**8**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない
- ビデオによっては「ビデオ1」「ビデオ2」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べるものがあります。お使いのビデオ付属の取扱説明書でご確認ください。それらの数字(「ビデオ１」など)と手順**5**の画面の数字（東芝1、東芝2など）とは関連ありません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、前にビデオの機種を設定していた場合も、その設定内容は削除されます。

はじめての設定をする つづき

i.LINK設定

- i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、下記の設定を行ってください。
- 下記以外のi.LINKに関する設定については、125ページ「その他i.LINKの設定」をご覧ください。
  (「その他のi.LINK設定」については、お買い上げ時に基本的な状態に設定されています。)

i.LINK接続した機器の登録

- i.LINK機能を使用するには、i.LINK接続した機器を本機に登録しておくことが必要です。
- 最大15台までの機器が登録できます。
- 本機にi.LINK登録できるのはD-VHSビデオ、デジタルテレビなどです。
  上記以外の機器はi.LINK接続をしたり機器登録できない場合があります。
- 登録した内容を変更、削除する場合は、126ページをご覧ください。

はじめに **登録したい機器を i.LINK 接続する（→ 83 ページ）**

1 「はじめての設定」画面になっていることを確認する

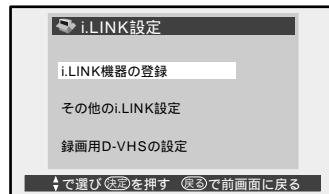
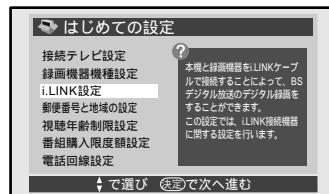
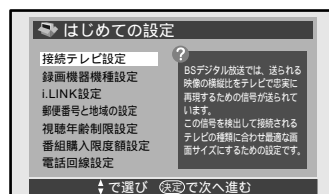
- 「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**～**4**の操作を行ってください。

はじめての設定
接続テレビ設定
録画機器機種設定
i.LINK設定
郵便番号と地域の設定
視聴年齢制限設定
番組購入限度額設定
電話回線設定
BSデジタル放送では、送られる映像の横縦比をテレビで忠実に再現するための信号が送られています。この信号を検出して接続されるテレビの種類に合わせ最適な画面サイズにするための設定です。
で選び 決定で次へ進む

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「i.LINK設定」を選び、決定ボタンを押す

はじめての設定
接続テレビ設定
録画機器機種設定
i.LINK設定
郵便番号と地域の設定
視聴年齢制限設定
番組購入限度額設定
電話回線設定
本機と録画機器をi.LINKケーブルで接続することによって、BSデジタル放送のデジタル録画をすることができます。この設定では、i.LINK接続機器に関する設定を行います。
で選び 決定で次へ進む

3 カーソル ▲・▼ ボタンで「i.LINK機器の登録」を選び、決定ボタンを押す

- i.LINK接続されている機器を自動検出し、テレビ画面に表示します。

右の画面が表示された場合

- **i.LINK番号と機器の組み合わせかたがこのままで良い場合は、「このまま登録する」を選んで、決定ボタンを押す**
  - ・設定が終了し、「はじめての設定」画面に戻ります。手順**7**に進んでください。
- **i.LINK番号と機器の組み合わせかたを変えたい場合は、「変更する」を選んで決定ボタンを押す**
  - ・手順**4**に進んでください。

- 通常は「このまま登録する」を選んでください。

右の画面が表示された場合

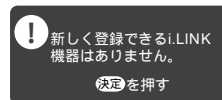
- i.LINK番号と機器との組み合わせを指定します。手順**4**に進んでください。

i.LINK機器の登録

接続されている機器	登録された機器
01 D-VHS ▲▲ ＊＊＊i.1	i.1
02 D-VHS ▲▲ ＊＊＊	i.2
	i.3
	i.4
	i.5

左の画面で新しく登録するi.LINK機器を選んでください。
▲▼で選び 決定を押す 設定を完了したら 戻るを押す

右の画面が表示された場合

- 新たに登録できる機器がありません。決定ボタンを押して終了してください。
- 登録を変更する場合は「i.LINK機器の削除」(→126 ページ)で削除してからもう一度登録を行ってください。

4 カーソル ▲・▼ ボタンで設定したい機器を選び、決定ボタンを押す

- 右の画面の左側は本機に接続されている機器で右側は本機に登録されている機器です。
- すでに登録されている機器は登録することはできません。
- 登録を変更する場合は「i.LINK機器の削除」(→126 ページ)で削除してからもう一度登録を行ってください。

5 カーソル ▲・▼ ボタンで登録場所を選び、決定ボタンを押す

- すでに登録されている場所を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。
  そのまま登録を行う場合は、「はい」を選んで決定ボタンを押してください。

右のメッセージが表示された場合

- i.LINK動作中のため、登録できません。
- 決定ボタンを押してください。

「この機器は現在動作中のため、登録を変更できません。」

続けて登録を行う場合は、手順 4、5 を繰り返す

6 すべての設定が終わったら、戻るボタンを押す

- 「i.LINK設定」画面に戻ります。
- 「はじめての設定」画面に戻るには、もう一度戻るボタンを押します。

7

[他の項目を設定するには]

設定する項目を選んで、決定ボタンを押す

[通常画面に戻るには]

終了ボタンを押す

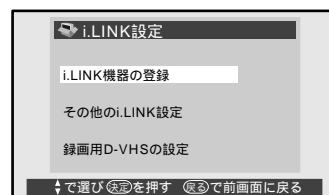
はじめての設定をする つづき

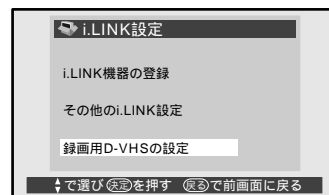
i.LINK設定 つづき

録画用D-VHSビデオの設定

デジタル録画予約やBS一発録画をする場合に使用するD-VHSビデオの設定を行います。

- デジタルで録画予約やBS一発録画をする場合は、この設定が必要です。
  お買い上げ時には設定されていませんので、必ず設定を行ってください。

1 **94ページの手順1、2を行い、「i.LINK設定」画面にする**

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「録画用 D-VHS の設定」を選び、決定ボタンを押す**

- i.LINK登録されている機器のリストが表示されます。

3 **カーソル ▲·▼ ボタンでデジタル録画に使用するD-VHS ビデオを選び、決定ボタンを押す**

- 設定できるのは1台だけです。
  他のD-VHSビデオがすでに登録されていた場合は取り消され、新たに選んだ機器が登録されます。
- D-VHSビデオ以外の機器はこの設定はできません。
- 接続されていない機器はこの設定はできません。

設定されたD-VHSビデオには「録」が表示されます。

4 **戻るボタンを押す**

- 「i.LINK設定」画面に戻ります。

5 **もう一度戻るボタンを押す**

- 「はじめての設定」画面に戻ります。

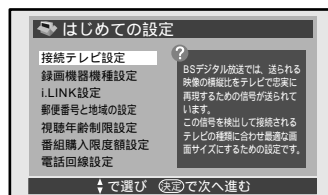
6 [他の項目を設定するには]
「はじめての設定」画面で項目を選んで、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

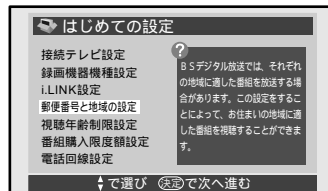
郵便番号と地域の設定

● お住まいの地域に応じたBSデータ放送（天気予報・選挙速報）や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。

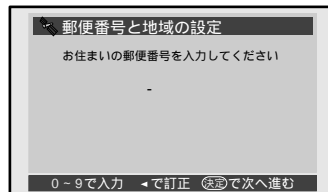
居住地域設定、郵便番号設定

1 **「はじめての設定」画面になっていることを確認する**

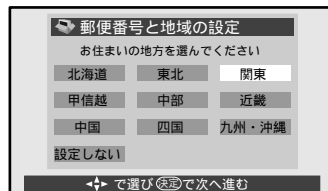
●「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**〜**4**の操作を行う

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで「郵便番号と地域の設定」を選び、決定ボタンを押す**

●「郵便番号入力」画面が表示されます。

3 **数字(0〜9)ボタンであなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す**

● 入力を間違えた場合は、カーソル ◀ ボタンでカーソルを戻してからもう一度入力してください。

●「地方選択」画面が表示されます。

4 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで該当する地方を選択し決定ボタンを押す**

●「地域選択」画面にすすみます。

●「設定しない」を選んだ場合、手順**2**の画面に戻ります。

5 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで該当する地域を選択し決定ボタンを押す**

● 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。。

● 南西諸島鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

6 ［他の項目を設定するには］

設定する項目を選んで、決定を押す

［通常画面に戻るには］

終了ボタンを押す

設定のしかた

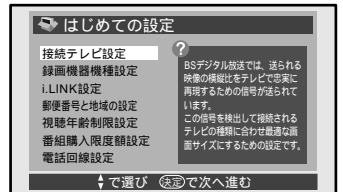
はじめての設定をする つづき

視聴年齢制限の設定

- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。（年齢の設定値は、4歳～20歳です。）
- お買い上げ時設定はされていません。この状態では視聴年齢制限付き番組は視聴できません。
- 視聴年齢制限機能を使わないときは、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。
  例えば本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  視聴年齢が18歳以下の番組 ……………… そのまま視聴できます。
  視聴年齢が18歳を超えた番組 …………… 視聴するには暗証番号が必要となります。

視聴年齢制限の設定

1 **「はじめての設定」画面になっていることを確認する**

- 「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**～**4**の操作を行います。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 暗証番号をすで設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順**3**に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

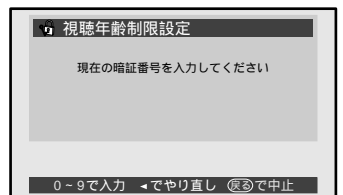
- 暗証番号の設定画面になります。下記の操作で暗証番号を設定してください。設定が終ったら手順**4**に進みます。

①数字ボタンで設定したい暗証番号を入力する
- ・数字ボタン（0～9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
- ・間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。

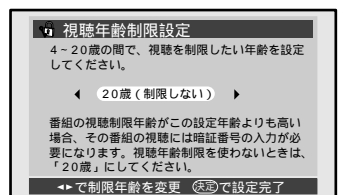
②確認のため数字ボタンでもう一度暗証番号を入力する

3 **数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する**

- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順**4**の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

視聴年齢制限設定
現在の暗証番号を入力してください
0～9で入力 ◀でやり直し 戻るで中止

4 **カーソル ◀·▶ ボタンで視聴できる年齢を設定し、決定ボタンを押す**

- 視聴できる年齢は、4歳から20歳（制限しない）までの間で設定できます。
- 決定ボタンを押すと設定が終了し、「はじめての設定」画面に戻ります。

視聴年齢制限設定
4～20歳の間で、視聴を制限したい年齢を設定してください。
◀ 20歳（制限しない） ▶
番組の視聴制限年齢がこの設定年齢よりも高い場合、その番組の視聴には暗証番号の入力が必要になります。視聴年齢制限を使わないときは、「20歳」にしてください。
◀▶で制限年齢を変更 決定で設定完了

5 [他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定を押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

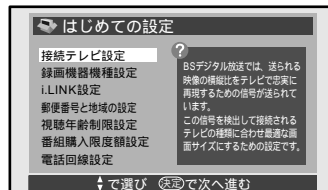
■暗証番号について
- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、回線発信禁止設定で使用する暗証番号は同じものです。

■視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき
- 130ページをご覧ください。

番組購入限度額の設定

- ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要となります。
- 金額に関係なくすべてのペイ・パー・ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。
- お買い上げ時は、「制限しない」に設定されています。

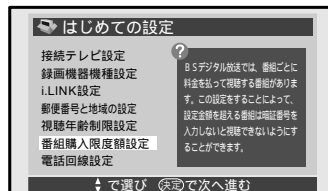
1 「はじめての設定」画面になっていることを確認する

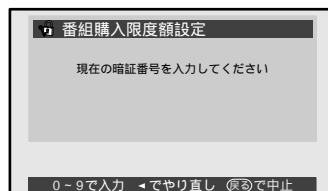
- 「はじめての設定」画面になっていない場合は８８ページの手順**1**～**4**の操作を行います。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「番組購入限度額設定」を選び、決定ボタンを押す

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順**3**に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

- 暗証番号の設定画面になります。下記の操作で暗証番号を設定してください。設定が終ったら手順**4**に進みます。

①数字ボタンで設定したい暗証番号を入力する
・数字ボタン（0～9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
・間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
②確認のため数字ボタンでもう一度暗証番号を入力する

3 数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する

- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順**4**の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

4 カーソル ▲・▼ ボタンで制限モードを選ぶ

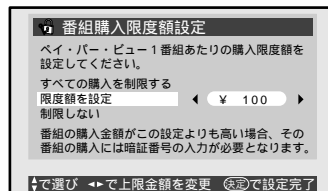
- すべての購入を制限する　：　すべてのペイ・パー・ビュー番組について購入するためには暗証番号の入力が必要となります。設定後手順**6**に進みます。
- 制限しない　：　上記の制限をしません。設定後手順**6**に進みます。
- 限度額を設定　：　限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要となります。手順**5**に進みます。

お願い

- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

お知らせ

■暗証番号について

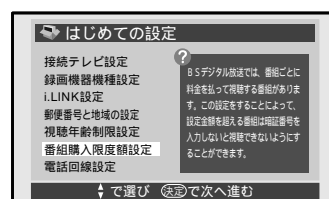
- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、回線発信禁止設定で使用する暗証番号は同じものです。
- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
- 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

はじめての設定をする つづき

番組購入限度額の設定 つづき

5 [「限度額を設定」を選んだ場合には]
カーソル ◀·▶ ボタンで限度額を選ぶ

● 金額は
　100円 ～ 1,000円の範囲で100円単位
　1,000円 ～ 3,000円の範囲で500円単位
　3,000円 ～ 10,000円の範囲で1,000円単位
　で設定できます。
● 設定後手順**6**に進みます。

6 **決定ボタンを押す**

●「はじめての設定」画面に戻ります。

7 [他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定を押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

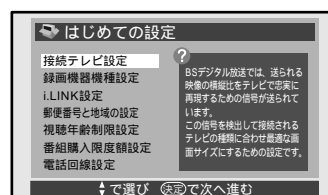
電話回線の設定

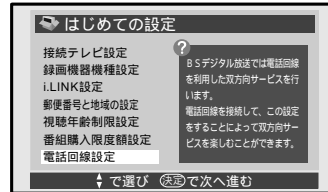
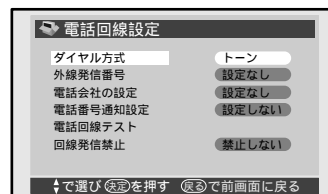
- BSデジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを楽しむには、電話回線の設定(ダイヤル方式/外線発信番号/電話会社の設定/電話番号通知設定/電話回線テスト/回線発信禁止設定)が必要です。
- **外線発信が必要な場合には「ダイヤル方式の設定」を行う前に「外線発信番号の設定」(→103ページ)を行ってください。**

ダイヤル方式の設定

- お買い上げ時は、「トーン」に設定されています。

1 「はじめての設定」画面になっていることを確認する

- 「はじめての設定」画面になっていない場合は88ページの手順**1**〜**4**の操作を行ってください。

2 カーソル ▲·▼ ボタンで「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「電話回線設定」画面になります。

3 カーソル ▲·▼ ボタンで「ダイヤル方式」を選び、決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

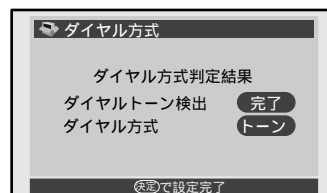
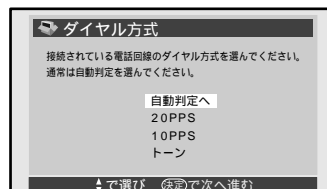
はじめての設定をする つづき

電話回線の設定 つづき

ダイヤル方式の設定 つづき

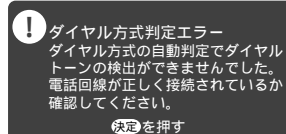
4 **カーソル ▲・▼ ボタンで設定するダイヤル方式を選び、決定をボタンを押す**

- 通常は「自動判定へ」を選びます。

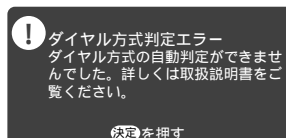
・最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式の自動判定」が行われます。
・自動判定が終了すると判定結果が表示されるので決定ボタンを押して「電話回線設定」画面に戻ります。次は手順**5**に進みます。

「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

右のメッセージの場合

・電話回線の接続確認(→68、69ページ)をしてからもう一度行ってください。

!ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動判定でダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話回線が正しく接続されているか確認してください。
決定を押す

右のメッセージの場合

・電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。決定ボタンを押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式(20PPS、10PPS、トーン)を選んで決定ボタンを押し、手順**5**に進みます。
・ダイヤル方式がご不明の場合は、ご契約のNTT窓口にお問い合わせください。

!ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動判定ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
決定を押す

自動判定が終了しない場合

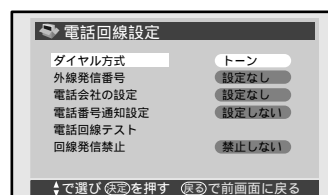
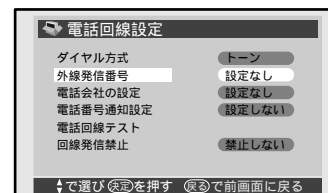
- 3分以上たっても終了しない場合は、戻るボタンを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。(→68、69ページ)

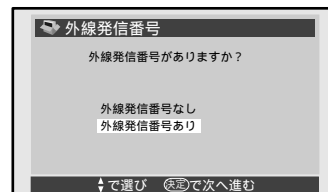
5 [他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

外線発信番号の設定

- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信を出した後、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。
- お買い上げ時は、「外線発信番号なし」に設定されています。
- 外線発信が必要な場合は、下記の操作で設定してください。
- 設定が不要な場合は他の設定へお進みください。

1 「電話回線設定」画面になっていることを確認する

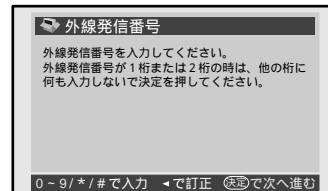
- 「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行ってください。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで、「外線発信番号」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソル ▲・▼ ボタンで、「外線発信番号あり」を選び、決定ボタンを押す

- 「外線発信番号」設定画面になります。

4 外線発信番号を設定し、決定ボタンを押す

- 0～9、#、✻のボタンを押すことで設定します。（左詰めで入力してください）
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンで前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- １桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。

※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。

- 決定ボタンを押すと設定され、手順**5**に進みます。

外線発信番号
外線発信番号を入力してください。
外線発信番号が1桁または2桁の時は、他の桁に何も入力しないで決定を押してください。
0～9/＊/#で入力　◀で訂正　決定で次へ進む

[次のページにつづく]

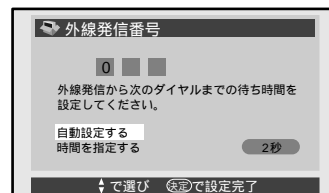
はじめての設定をする つづき

電話回線の設定 つづき

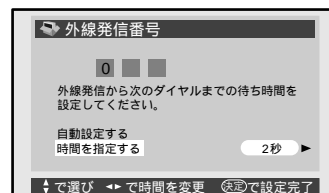
外線発信番号の設定 つづき

5 外線発信後の待ち時間を設定する

- 通常は下記の操作で､｢自動設定する｣にしてください。
  ①カーソル ▲·▼ ボタンで｢自動設定する｣を選ぶ
  ②決定ボタンを押す
  ・ 電話回線設定画面に戻ります。
  ・ 手順**6**に進んでください。

外線発信番号
0
外線発信から次のダイヤルまでの待ち時間を設定してください。
自動設定する
時間を指定する 2秒
▲▼で選び 決定で設定完了

｢自動設定する｣の状態で､108ページの｢電話回線テスト｣が失敗となる場合

- 下記の操作で､時間を設定してください。
  ①カーソル ▲·▼ ボタンで｢時間を指定する｣を選ぶ
  ②カーソル ◀·▶ ボタンで時間を設定し､決定ボタンを押す
  ・ 設定範囲は2秒～9秒(秒単位)です。
  ・ 電話回線設定画面に戻ります。
  ・ 手順**6**に進んでください。

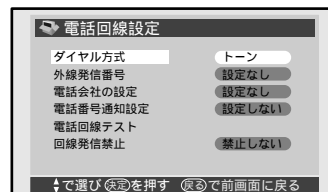
外線発信番号
0
外線発信から次のダイヤルまでの待ち時間を設定してください。
自動設定する
時間を指定する 2秒 ▶
▲▼で選び ◀▶で時間を変更 決定で設定完了

6 [他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

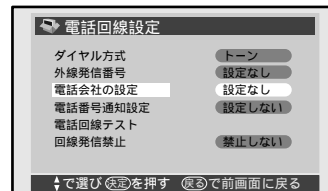
- 手順**5**で「時間を指定する」に設定した場合、ダイヤルトーン検出を行いません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。
  この場合、108ページの「電話回線テスト」では電話回線の接続と設定の確認はできません。
  「センターと接続できることを確認する場合」（→109ページ）で確認を行ってください。

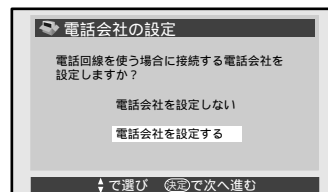
電話会社の設定

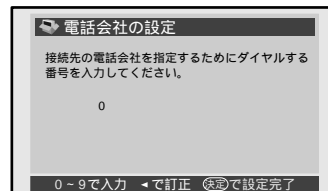
- NTT以外に契約されている電話会社を選んで設定できます。
- お買い上げ時は「電話会社を設定しない」に設定されています。
- 電話会社の設定は、BSデータ放送の一部では適用されない場合があります。
- 設定が不要な場合は他の設定へお進みください。

1 「電話回線設定」画面になっていることを確認する

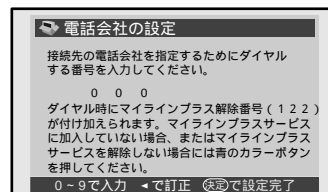
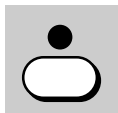
- 「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行う。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで、「電話会社の設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「電話会社の設定」確認画面になります。

3 カーソル ▲・▼ ボタンで、「電話会社を設定する」を選び、決定ボタンを押す

- 「電話会社番号入力」画面になります。

4 電話会社番号を入力し、決定ボタンを押す

- 電話会社番号を数字ボタン（0～9）を押して左詰めで入力します。（最大8桁まで設定できます）
- 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンで前の桁に戻り、設定をやり直してください。

マイラインプラスに加入している場合

- **「青」ボタンを押す**
  - ・発信時にマイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（122）が自動的に付け加えられます。青ボタンを押すごとに付け加える状態と付け加えない状態が交互に切り換わります。

5

［他の項目を設定するには］
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
［はじめての設定で他の項目を選ぶには］
戻るボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- マイラインプラス（優先接続サービス）に加入していない場合は、手順**4**の電話会社番号入力のときに青ボタンで解除番号（122）を付け加えないように設定してください。

設定のしかた

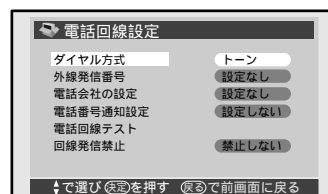
はじめての設定をする つづき

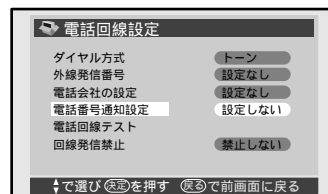
電話回線の設定 つづき

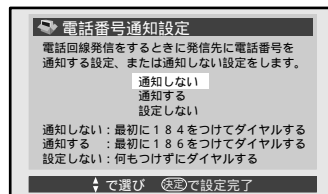
電話番号通知設定

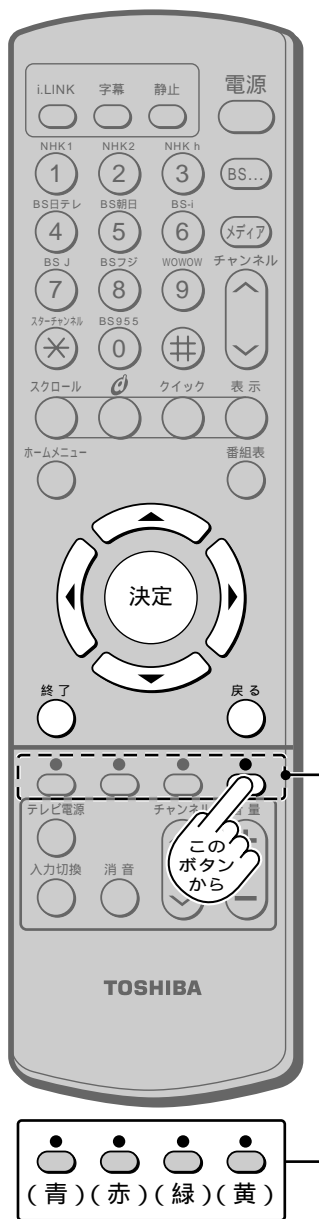
- 本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者（センター）に通知するかどうかを設定します。
- お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。
- 設定が不要な場合は他の設定へお進みください。

1 **「電話回線設定」画面になっていることを確認する**

- 「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行ってください。

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで、「電話番号通知設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 「電話番号通知設定」確認画面になります。

3 **カーソル ▲・▼ ボタンで、お好みの設定を選び、決定ボタンを押す**

- 選択項目は以下のとおりです。
  - 通知しない ：最初に「184」をつけてダイヤルする
  - 通知する ：最初に「186」をつけてダイヤルする
  - 設定しない ：何もつけずにダイヤルする
- 「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

4 [他の項目を設定するには]
設定する項目を選んで、決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 「電話会社の設定」で001（KDD）を設定している 場合は、手順**3**の設定を「設定しない」にしてください。「通知する」あるいは「通知しない」を選択すると通信できなくなります。

ダイヤル待ち時間の設定を行う場合

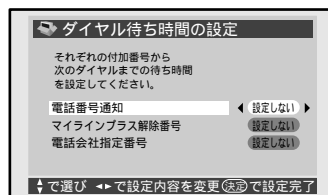
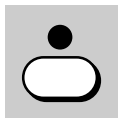
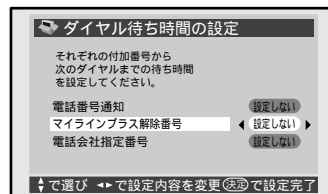
(青)(赤)(緑)(黄)

- 本機で電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)、電話番号通知番号(184/186)のうしろにダイヤル待ち時間(ダイヤルポーズ)が必要な場合に下記の設定を行ってください。
- お買い上げ時のダイヤル待ち時間の設定は「設定しない」です。

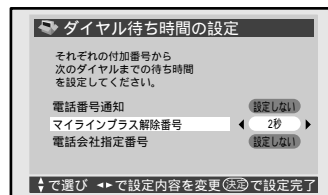
1 「電話回線設定」になっていることを確認する

- 「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行ってください。

2 黄色ボタンを押す

- ダイヤル待ち時間設定画面になります。

3 カーソル ▲・▼ ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

4 カーソル ◀・▶ ボタンを押して、ダイヤルポーズ時間を設定する

- 設定範囲は2秒～9秒、「設定しない」です。

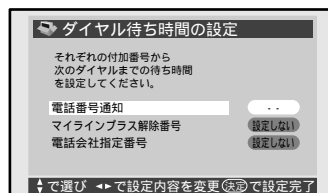
ダイヤル待ち時間の設定
それぞれの付加番号から
次のダイヤルまでの待ち時間
を設定してください。
電話番号通知 設定しない
マイラインプラス解除番号 2秒
電話会社指定番号 設定しない
で選び で設定内容を変更 決定 で設定完了

他の項目も設定するときは手順3、4を繰り返す

5 決定ボタンを押す

- 設定されて、「電話回線設定」に戻ります。

6

[他の項目を設定するには]
項目を選んで決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■**以下の場合ダイヤルポーズは設定できません。表示は「−−」になります。**
- 電話会社の設定(→105ページ)で「電話会社を設定しない」に設定した場合
- マイラインプラス(優先接続サービス)解除番号を付加しないように設定(→105ページ)した場合
- 電話番号通知設定(→106ページ)で「設定しない」に設定した場合

はじめての設定をする つづき

電話回線の設定 つづき

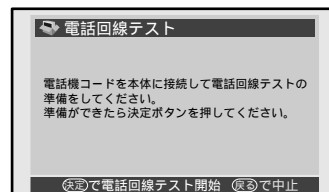
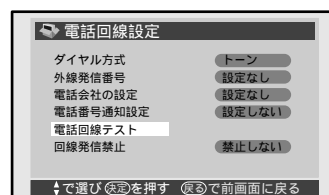
電話回線テスト

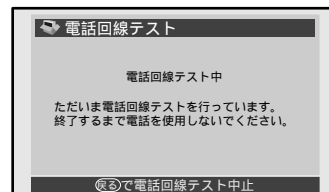
● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。

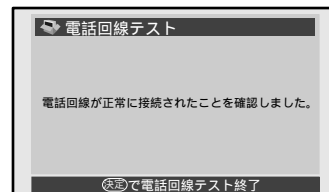
1 **「電話回線設定」画面になっていることを確認する**

●「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行ってください。

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで、「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す**

● 電話機コードが本体に接続されているか確認してください。

3 **電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す**

●「電話回線テスト」が開始されます。(「電話回線テスト中」のメッセージが表示されます。)
● 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 **電話回線テストが終了したら、決定ボタンを押す**

● テスト結果については、下記のお知らせをご覧ください。
● 決定ボタンを押すと、電話回線設定に戻ります。

5 [他の項目を設定するには]
項目を選んで決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

電話回線テストの結果

■正しい場合
●「電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」が表示されます。

■「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているか確認してください。」のメッセージが表示された場合
●「電話回線の接続」(→68、69ページ) および「電話回線の設定」(→101～107ページ) を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。

■「ダイヤルトーンは検出ができましたが、ダイヤル方式の判定ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」のメッセージが表示された場合
次の場合があります。
● ダイヤル方式の設定が間違っている
決定ボタンを押した後「ダイヤル方式の設定」(→101ページ)で、正しく設定してください。
● ターミナルアダプターを使用している
ISDN回線を使用し、ターミナルアダプターを使用している場合は、ダイヤル方式の確認はできません。
決定ボタンを押して終了してください。(ダイヤル方式は、ターミナルアダプターの取扱説明書で確認してください。)

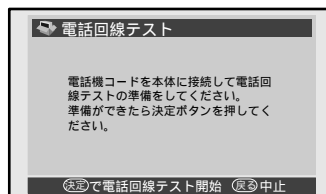
■電話回線テストが終了しない場合
● 3分以上経っても終了しない場合は、戻るボタンを押して電話回線テストの動作を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認ください。

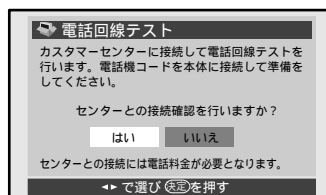
■センターと接続できることを確認する場合

- センターとは2000年12月より接続ができる予定です。
- **このセンター接続テストは電話料金がかかります。**

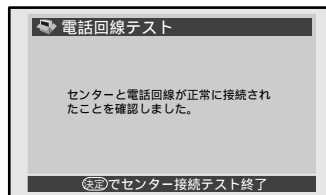
1 **前ページの手順２「電話回線テスト」の画面になっていることを確認する**

- 「電話回線テスト」画面になっていなければ前ページの手順**1**、**2**の操作を行ってください。

電話回線テスト
電話機コードを本体に接続して電話回線テストの準備をしてください。
準備ができたら決定ボタンを押してください。
決定で電話回線テスト開始　戻る中止

2 **青色ボタンを押す**

- センター接続初期画面になります。

3 **カーソル ◄·► ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

- センター接続テストが開始されます。
- センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 **センター接続テストが終了したら、決定ボタンを押す**

- テスト結果については、下記のお知らせをご覧ください。
- 決定ボタンを押すと、電話回線設定に戻ります。

電話回線テスト
センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。
決定でセンター接続テスト終了

5 [他の項目を設定するには]
項目を選んで決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

設定のしかた

センター接続テストの結果

■正しい場合
- 「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」が表示されます。

■「センターと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」が表示された場合
- 電話回線テスト（→108ページ）で、電話回線が正しく接続されているか確認してください。

■「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません しばらくしてからやり直してください。」が表示された場合
- 回線が混んでいる等の理由により通信できません。しばらくしてからやり直してください。

■「センターと通信できません。（タイトル）回線発信禁止に設定されています。」が表示された場合
- 回線発信禁止の設定(→110ページ)で「禁止しない」に設定してください。

■「ただいまセンターとは通信できません。しばらくしてからやり直してください。」が表示された場合
- しばらくしてからやり直してください。

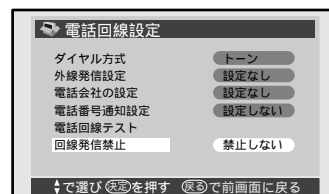
はじめての設定をする つづき

電話回線の設定 つづき

回線発信禁止の設定

- 本機ではお子様などのいたずら防止のために、電話の発信を禁止させる設定ができます。
- 「禁止する」に設定したときは本機からの電話通信は行えませんので、BSデータ放送の双方向サービスなど電話回線を使用するサービスはお楽しみいただけません。
- 電話回線テストのセンター接続テスト（→109ページ）を行う場合は、回線発信禁止設定を「禁止しない」に設定してください。
- お買い上げ時は「禁止しない」に設定されています。
- 設定には暗証番号の入力が必要です。

1 **「電話回線設定」画面になっていることを確認する**

- 「電話回線設定」画面になっていない場合は101ページの手順**1**、**2**の操作を行う

2 **カーソル ▲・▼ ボタンで、「回線発信禁止」を選び、決定ボタンを押す**

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号入力画面になります。手順**3**に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

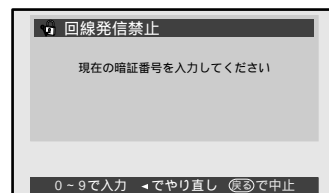
- 暗証番号設定の画面になります。下記の操作で暗証番号を設定してください。
  設定が終ったら下の手順**4**に進みます。

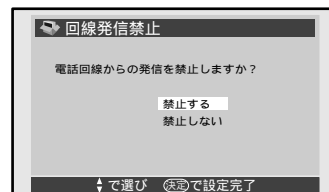
①数字ボタンで設定したい暗証番号を入力する
- ・数字ボタン（0～9）で登録する暗証番号（4桁の数字）を順に入力します。
- ・間違って入力した場合はカーソル ◀ ボタンを押して、1桁目からもう一度入力してください。

②確認のため数字ボタンでもう一度暗証番号を入力する

3 **数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する**

- 入力の途中で間違えた場合は、カーソル ◀ ボタンを押して1桁目からもう一度入力してください。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

回線発信禁止
現在の暗証番号を入力してください
0～9で入力 ◀でやり直し 戻るで中止

4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「禁止しない」あるいは「禁止する」を選び、決定ボタンを押す**

- 「電話回線設定」画面に戻ります。

5 [他の項目を設定するには]
項目を選んで決定ボタンを押す
[はじめての設定で他の項目を選ぶには]
戻るボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 暗証番号は忘れないようにご注意ください。

お知らせ

- 回線発信禁止に設定されていても、システム上必要な場合は、自動的に発信が行われます。

■暗証番号について

- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、回線発信禁止設定で使用する暗証番号は同じものです。

簡易確認テスト

● BS 受信テスト・B-CAS カードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

1 ホームメニューボタンを押す

● ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲▼◀▶ ボタンを押して「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

●「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソル ◀▶ ボタンを押して「その他」を選ぶ

●「その他」の設定画面になります。

4 カーソル ▲▼ ボタンを押して「簡易確認テスト開始」を選び、決定を押す

● 簡易確認テストが開始されます。

● テストは以下の順に行われます。中断するには「戻る」ボタンを押します。

■ BS 受信テスト

● BSデジタル放送が受信できることをテストします。

正しい場合

●「BSデジタル放送を受信しています」が表示されます。

「BSデジタル放送を受信していません」が表示された場合

●「BS受信設定」(→118ページ)を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。

■ B-CAS カードテスト

● 本機で使えるカードかどうかテストします。

正しい場合

●「正常に動作しています」が表示されます。

「このB-CASカードはご使用になれません」が表示された場合

● B-CASカードを確かめてください。

● カスタマーセンターにお問い合わせください。

「B-CASカードを正しく挿入してください」が表示された場合

● B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」が表示された場合

● B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

B-CASカードが故障しています

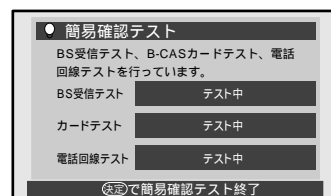
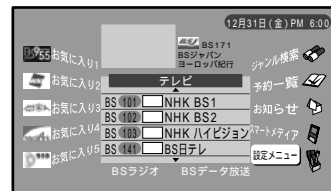
● B-CASカードを交換してください。

● カスタマーセンターにお問い合わせください。

■電話回線テスト

● 電話回線が正しくつながることをテストします。
テスト結果については左の「お知らせ」をご覧ください。

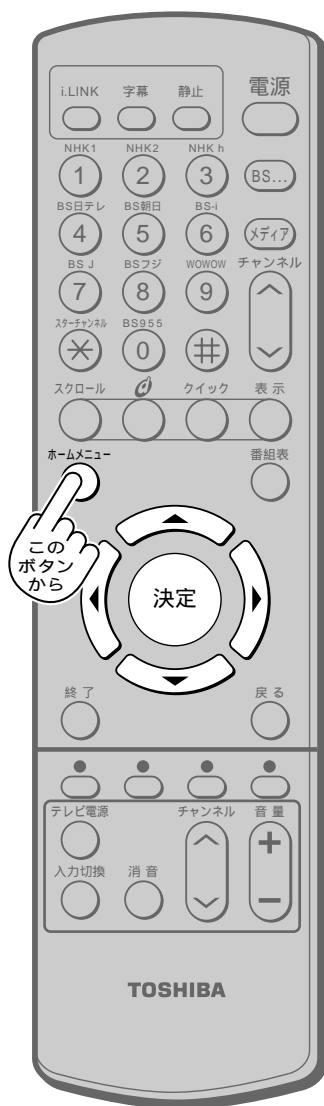
5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お知らせ

電話回線テストの結果

● **「電話回線の接続を確認しました。」が表示された場合**
・正しく接続されています。

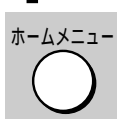
● **「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」が表示された場合**
・電話回線の接続（→68、69ページ）および電話回線設定（→101〜110ページ）を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。

● **「ダイヤル方式の判定ができませんでした。」が表示された場合**
・ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプタを使用していることが考えられます。詳しくは101、108ページをご覧ください。

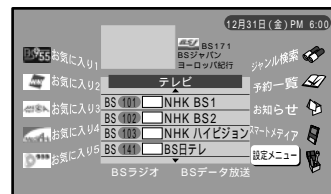
初期設定を個別に行うとき

チャンネル設定

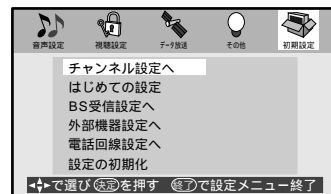
チャンネル設定

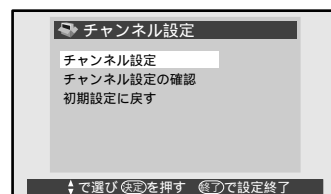
● リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタン(0〜9、✳、♯)ボタンで、お好みのチャンネルが選局できるように設定することができます。
● お買い上げ時は、114ページのチャンネルが各ボタンに設定されています。

1 **ホームメニューボタンを押す**

● ホームメニューが表示されます。

2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

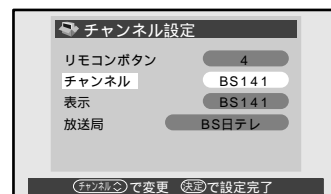
●「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀·▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで「チャンネル設定へ」を選んで決定ボタンを押す**

●「チャンネル設定」画面になります。

4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

● チャンネル設定一覧の画面が表示されます。

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで設定するリモコンのボタンを選び、決定を押す**

6 チャンネル ︿・﹀ ボタンでチャンネルを選び、決定ボタンを押す

チャンネル

● 設定したいチャンネルを選びます。
● チャンネル ︿ ボタンを押すと、順に大きいチャンネルに切り換わります。
チャンネル ﹀ ボタンを押すと、順に小さいチャンネルに切り換わります。
一番大きいチャンネルからさらにチャンネル ︿ ボタンを押すと放送メディア（BSテレビ/BSラジオ/BSデータ）が下記の順に切り換わります。

一番大きいチャンネル→BSテレビ→BSラジオ→BSデータ

一番小さいチャンネル ←

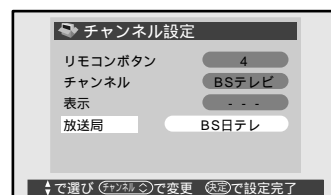
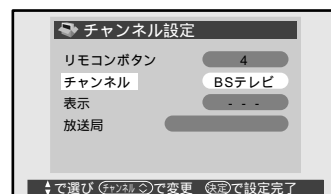
●「表示」には選択時テレビ画面に表示されるチャンネル番号が表示されます。
●「放送局」には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。

こんな設定もできる！

● 1つのリモコンボタンに放送局とその放送局の放送メディア（BSテレビ・BSラジオ・BSデータ）の両方を設定できます。
例えば、リモコンの④ボタンにチャンネルとして「BSテレビ」、放送局名として「BS日テレ」を設定すると④ボタンを押すごとに「BS日テレ」のテレビ放送を順次選局できるようになります。

①手順5の画面で、カーソル ▲・▼ ボタンで設定するリモコンのボタンを選び、決定を押す

②カーソル ▲・▼ ボタンで「チャンネル」を選び、チャンネル ︿・﹀ ボタンで「BSテレビ」、「BSラジオ」または「BSデータ」を選ぶ
・選んだ放送メディアで一番小さいチャンネルが画面表示されます。
・「表示」欄はブランク「－－－」になります。

③カーソル ▲・▼ ボタンで「放送局名」を選び、チャンネル ︿・﹀ ボタンで「BSデジタル放送の事業者名」を選び、決定ボタンを押す

いくつものチャンネルを設定するときは、手順 6 をくり返す

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

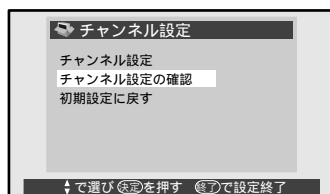
チャンネル設定の確認

● リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタン(0～9、⚹、#)に設定された内容を一覧で見ることができます。

1 **112 ページの手順 1～3 までを行う**

●「チャンネル設定」画面が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「チャンネル設定の確認」を選び、決定ボタンを押す**

●「チャンネル設定の確認」画面が表示されます。

3 **カーソル ▲·▼ ボタンで画面表示をページ切換させて、設定内容を確認する**

4 **決定ボタンを押す**

● 手順**2**の画面に戻ります。

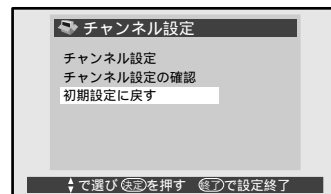
5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

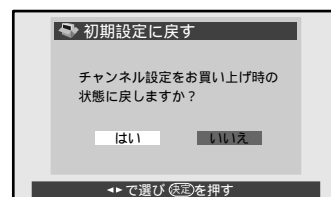
チャンネル設定を最初の状態に戻す

● 買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **112 ページの手順 1～3 までを行う**

●「チャンネル設定」画面が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソル ◀·▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● チャンネル設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

■お買い上げ時のチャンネル設定の状態

BSデジタル放送

リモコンのボタン		放送局	チャンネル
(1)	NHK1	NHK BS1	101
(2)	NHK2	NHK BS2	102
(3)	NHKh	NHK ハイビジョン	103
(4)	BS日テレ	BS日テレ	141
(5)	BS朝日	BS朝日	151
(6)	BS-i	BS-i	161
(7)	BSJ	BSジャパン	171
(8)	BSフジ	BSフジ	181
(9)	WOWOW	WOWOW	BSテレビ
(⚹)	スターチャンネル	スターチャンネル	200
(0)	BS955	BS955	955
(#)		WNI	910

※(9)[WOWOW]については113ページの「こんな設定もできる!」のような設定がされており、(9)ボタンを押すごとに191→192→193と選局できます。

音声の設定

TruSurround® 設定（サラウンド設定）

- TruSurroundは、映画などにおいてより自然な臨場感でお楽しみいただける機能です。
- お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 **ホームメニューボタンを押す**

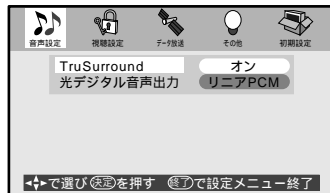
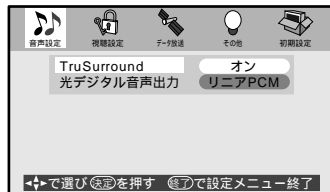
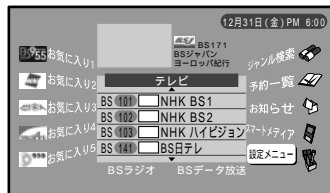
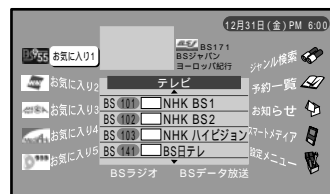
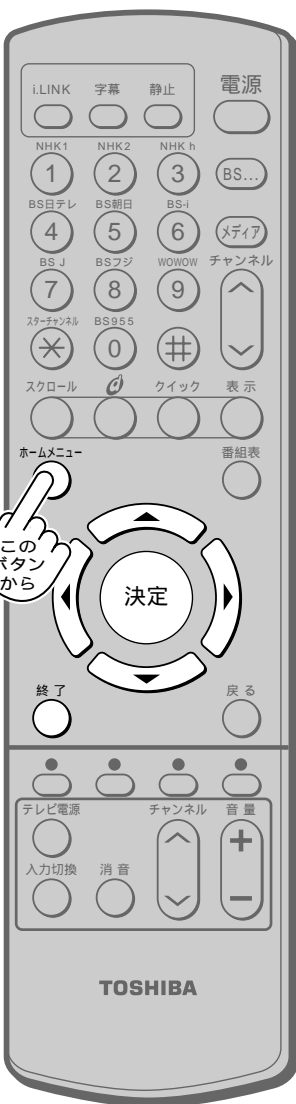
2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定を押す**

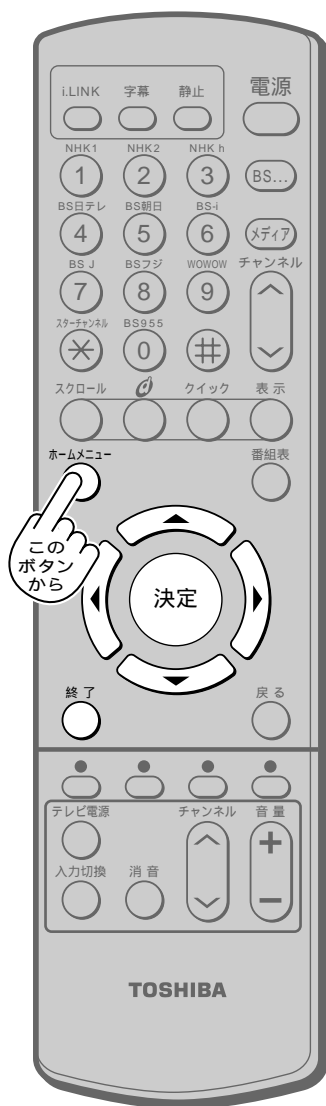
3 **カーソル ◀·▶ ボタンで「音声設定」を選ぶ**

4 **カーソル ▲·▼ ボタンを押して「TruSurround」を選び、決定を押す**

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「オン」または「オフ」を選ぶ**

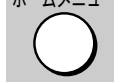
- カーソルボタンを押すごとに切り換わります
  - ・オン････サラウンド効果が出ます。
  - ・オフ････サラウンド効果が出ません。
- 「オン」を選ぶと「表示窓」部に「TruSurround」が点灯します。

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 光デジタル音声出力端子およびビデオ用の音声出力端子からの信号にはサラウンド効果は得られません。
- 番組がモノラル放送の場合など、ご覧になる番組によってはサラウンド効果が得られない場合があります。
- TruSurroundと (●) 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスにより製品化されています。

初期設定を個別に行うとき つづき

音声の設定 つづき

光デジタル音声出力の設定

- 本機背面にある「光デジタル音声出力」端子は、「リニアPCM」と「MPEG-2 AAC」の2種類の信号を切り換えて出力できます。
- お買い上げ時は「リニアPCM」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダー(市販品)をつなぐときは、下記の操作で「MPEG-2 AAC」に設定してください。

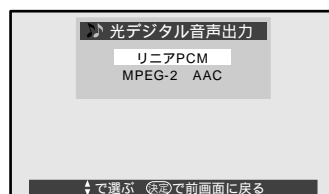
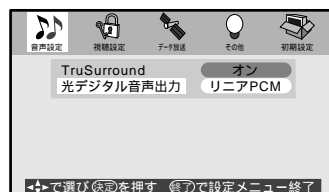
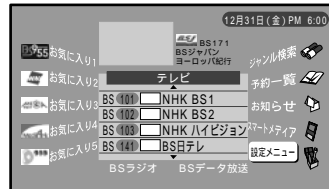
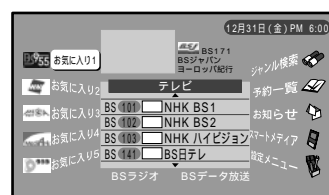
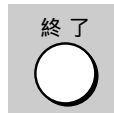
1 ホームメニューボタンを押す

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定を押す

3 カーソル ◀·▶ ボタンで「音声設定」を選ぶ

4 カーソル ▲·▼ ボタンを押して「光デジタル音声出力」を選び、決定ボタンを押す

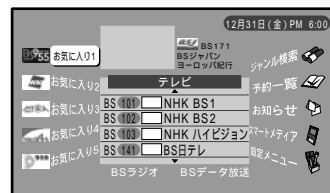
5 カーソル ▲·▼ ボタンで希望の信号を選ぶ

- カーソルボタンを押すごとに「リニアPCM」と「MPEG-2 AAC」が交互に切り換わります。
- 「リニアPCM」・・・・・リニアPCM信号が出力されます。
- 「MPEG-2 AAC」・・MPEG-2 AAC信号が出力されます。

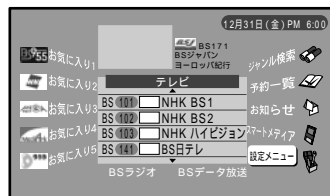
6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 「光デジタル音声出力」設定を「MPEG-2 AAC」に設定した場合でも、音声信号が「MPEG-2 AAC」でない場合は、「リニアPCM」で出力されます。

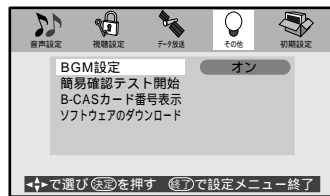
BGM(背景音)の設定

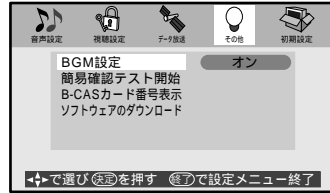
● スクロールナビゲーター、デジタルカメラの画像表示中にBGM(背景音)を流すことができます。
● お買い上げ時は、「オン」に設定されています。

1 **ホームメニューボタンを押す**

● 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

● 「設定メニュー」が表示されます。

3
カーソル ◀·▶ ボタンで「その他」を選ぶ

● 「その他」の設定画面になります。

4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「BGM設定」を選び、決定ボタンを押す**

● 「BGM設定」画面になります。

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す**

● カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。
・オン……スクロールナビゲーターやデジタルカメラの画像表示でBGM(背景音)が流れます。
・オフ……スクロールナビゲーターやデジタルカメラの画像表示でBGM(背景音)が流れません。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

設定のしかた

初期設定を個別に行うとき つづき

BS受信設定

BSアンテナ電源供給の設定

- BSアンテナに取り付けられたコンバーターへの電源供給をするかしないかの設定をします。
- お買い上げ時は､｢供給する｣に設定されています。
  マンション共聴などで他の機器からBSアンテナに電源を供給している場合は､下記の操作で｢供給をしない｣に設定してください。

1 ホームメニューボタンを押す

- ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンを押して「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- ｢設定メニュー｣画面が表示されます。

3 カーソル ◀·▶ ボタンを押して「初期設定」を選ぶ

- ｢初期設定｣画面になります。

4 カーソル ▲·▼ ボタンを押して「BS 受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

- ｢BS受信設定｣画面になります。

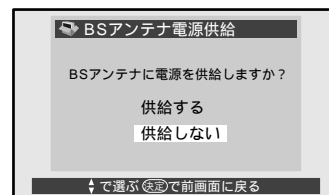
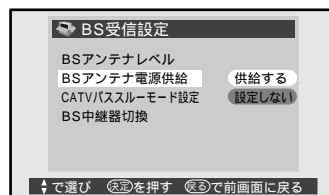
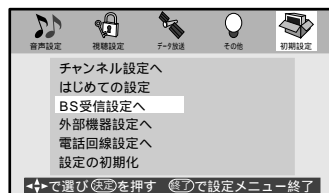
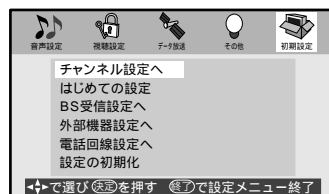
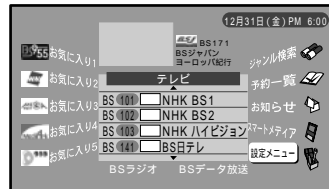
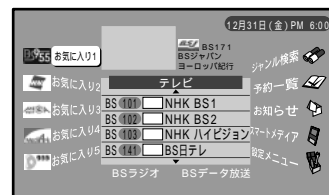
5 カーソル ▲·▼ ボタンを押して「BSアンテナ電源供給」を選び、決定ボタンを押す

- ｢BSアンテナ電源供給｣画面が表示されます。

6 カーソル ▲·▼ ボタンで「供給しない」を選び、決定ボタンを押す

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

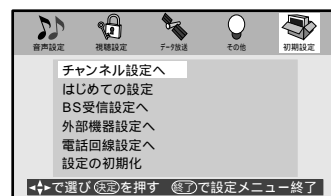
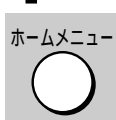
- 「供給する」に設定されている場合は、本機の電源が「待機中」であっても契約情報の更新やダウンロード実行などの際に自動的にBSアンテナ電源が供給されます。
- 67ページの「アンテナ線の接続」も合わせてご覧ください。

BSアンテナレベル表示

- BSアンテナの方向調整や、アンテナからの受信状態を確認するときに使用します。
  この数値が最大になるようにBSアンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

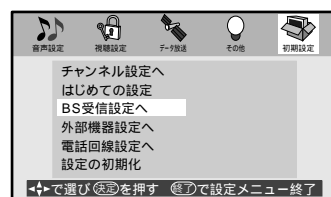
1 118ページの手順１～３までを行う

ホームメニュー

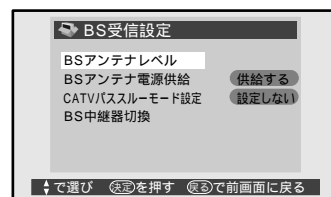
- 「初期設定」画面になります。

音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
チャンネル設定へ
はじめての設定
BS受信設定へ
外部機器設定へ
電話回線設定へ
設定の初期化
で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

2 カーソル ▲·▼ ボタンで「BS受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

- BS受信画面になります。

音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
チャンネル設定へ
はじめての設定
BS受信設定へ
外部機器設定へ
電話回線設定へ
設定の初期化
で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

3 カーソル ▲·▼ ボタンで「BSアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

決定

- 「BSアンテナレベル」画面が表示されます。

4 現在放送が行われているBSチャンネルを選局する

- チャンネル ⋀·⋁ ボタンで選局できます。

5 「BSアンテナレベル」の数値が最大となるようにBSアンテナを調整する

- アンテナレベルが大きくなると↗が表示され、小さくなると↘が表示されます。
- アンテナレベルの最大値を覚えておき、アンテナを固定したときにレベルが下がっていないことを確認してください。

6 ［通常画面に戻るには］ アンテナを固定して、終了ボタンを押す

■映像が出ない場合

- 契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。　契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んでアンテナの調整をしてください。

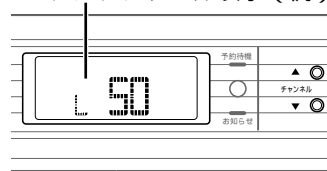
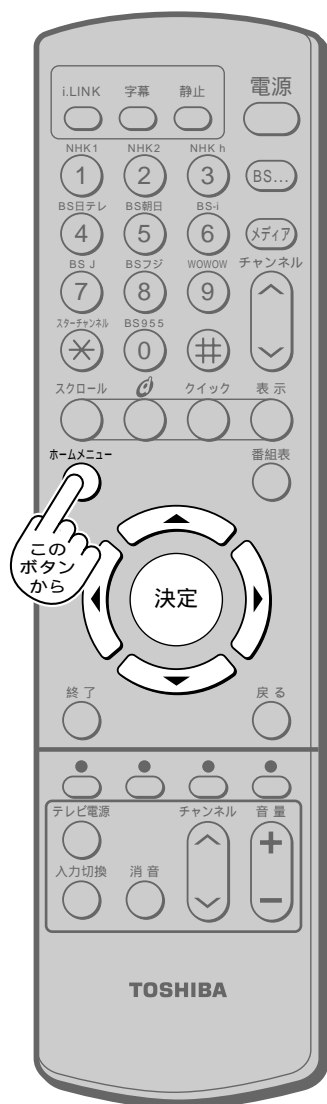
- テレビ画面と同時に本体の「表示窓」にもBSアンテナレベルが表示されます。（アンテナ設置時に本体をアンテナの近くに移動して、BSアンテナレベルを見ることができます。）

<操作手順>
電源を入れ、本体の「チャンネル ⋀·⋁ 」ボタンを同時に押します。
受信画面に戻るには、リモコンの「終了」ボタンを押します。

<表示>
チャンネル番号表示がBSアンテナレベル表示にかわります。
BSアンテナレベル表示時は数値の左に「L」が点灯します。

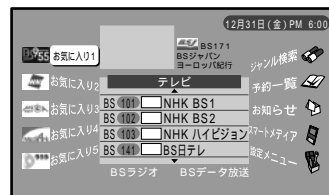
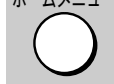
BSアンテナレベル表示（例）

本体の前面部

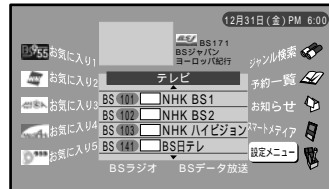
設定のしかた

初期設定を個別に行うとき つづき

ＢＳ受信設定 つづき

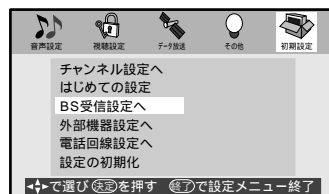
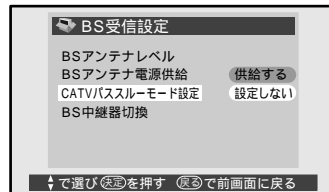
CATVパススルーモードの設定(ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください)

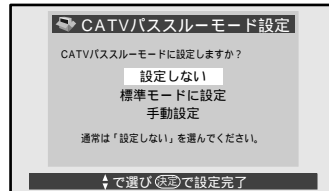
- ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
  その場合、下記の「CATVパススルーモード設定」が必要となることがあります。
- この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

1 ホームメニューボタンを押す

- ホームメニューが表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「BS受信設定へ」を選んで決定ボタンを押す

- 「BS受信設定」画面になります。

4 カーソル ▲・▼ ボタンで「CATV パススルーモード設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソル ▲・▼ ボタンで設定する状態を選び、決定ボタンを押す

- 右下表によって、設定内容を選んでください。
- 「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合はその状態に設定され、「BS受信設定」画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「手動設定」を選んだ場合は、手順**6**に進んでください。
- CATVパススルーモード方式で受信しない場合は「設定しない」を選んでください。

選択項目	内　容
設定しない	CATVパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なCATVパススルー方式
手動設定	伝送するBS-IFチャンネルとその並びを指定する場合

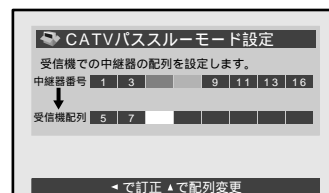
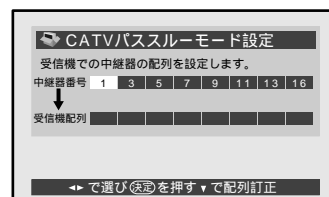
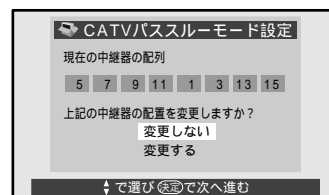
6 [「手動設定」を選んだ場合には]
下記の操作で設定する

①現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままで良い場合は「変更しない」を、設定を変える場合は「変更する」をカーソル ▲·▼ ボタンで選んで、決定ボタンを押す

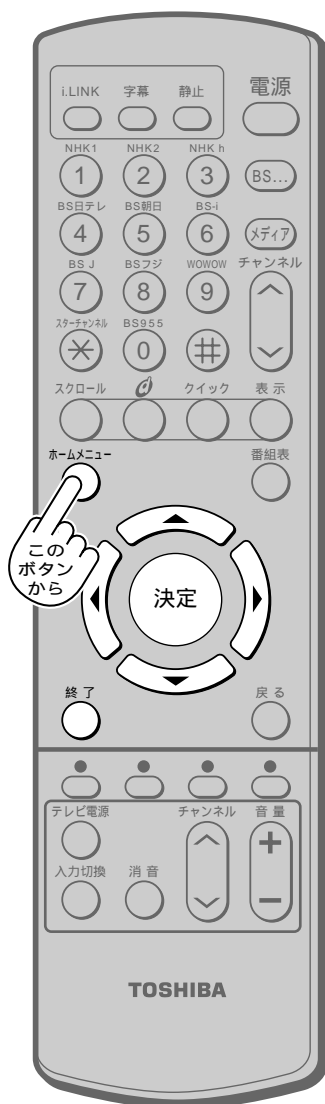
- 「変更しない」を選んだ場合は「BS受信設定」画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「変更する」を選んだ場合は、手順②に進んでください。

②カーソル ◀·▶ ボタンで設定する中継器を選んで決定ボタンを押す

- 中継器は、設定欄の選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、カーソル ▼ ボタンを押し、カーソル ◀ ボタンを押すと一つずつ左に戻ります。
  訂正したらカーソル ▲ ボタンを押してください。

- すべての設定欄に登録されると、手順**4**の画面に戻ります。

項　目	BS-IF							
中心周波数（MHz）	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
CATVパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

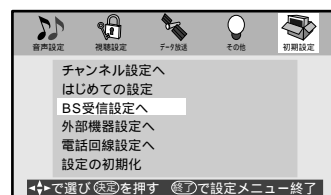
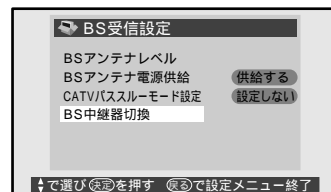
③通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

BS受信設定 つづき

BS中継器切換

- 通常は切り換えの必要はありません。
- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。その際は、下記の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
- 衛星の中継機が故障した場合以外にも、外部機器からの電波の干渉によって、一部の中継機が受信できない場合も同様です。

1 **120 ページの手順１～３まで行う**

- 「BS受信設定」画面が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼ ボタンで「BS 中継器切換」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソル ◀·▶ ボタンで中継器を切り換える**

- 選択できる中継器は、「1，3，5，7，9，11，13，15」です。

BS中継器切換
BS中継器切換 ◀ 09 ▶
現在受信中のチャンネル 101 NHK-BS
BSアンテナレベル
BS Digital 53 最大 64
◀▶ で選び 決定で設定完了

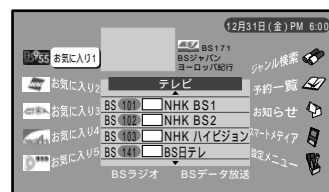
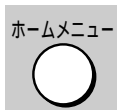
4 **放送が受信できたことを確認したら、決定ボタンを押す**

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

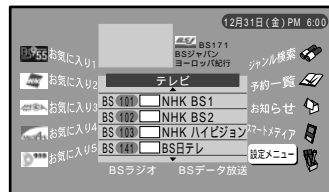
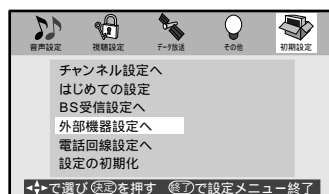
外部機器の設定

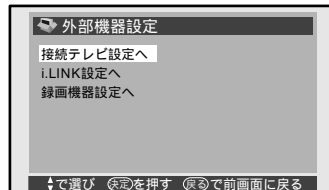
接続されるテレビの設定

- 接続されるテレビが通常のテレビ（画面の横縦比が4:3）か、ワイドテレビ（画面の横縦の比が16:9）かを設定します。また、D（D4/3/2/1)映像出力端子でテレビと接続する場合の出力モードも設定します。
- BSデジタル放送では、放送される映像の横縦の比の信号をテレビで忠実に再現するための信号が送られており、この信号を検出して最適な画面サイズにするための設定です。
- 本設定を行う前に、「テレビへの映像出力端子の設定方法」（→74、75ページ）によって、本機とテレビの接続方法を設定してください。
  出荷時はワイドテレビに設定されています。

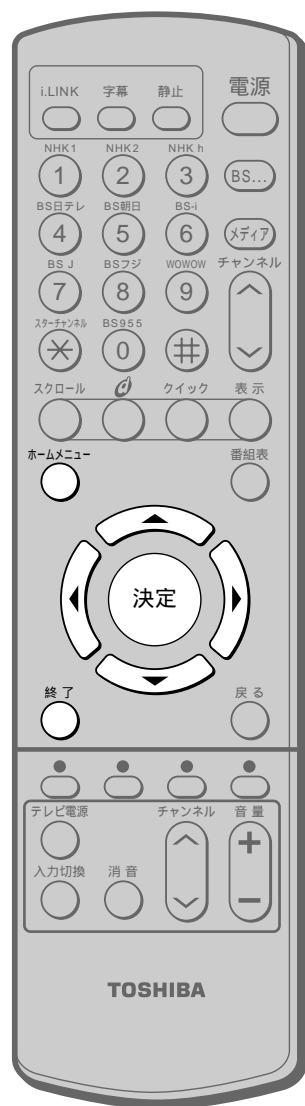
1 **ホームメニューボタンを押す**

- 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選んで、カーソル ▲・▼ ボタンで「外部機器設定へ」を選んで、決定ボタンを押す**

4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「接続テレビ設定へ」を選び、決定ボタンを押す**

- テレビに接続する映像端子に合わせて設定を行ってください。
  詳しい設定方法は下記の表をご覧ください。

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

本機からテレビへの映像信号の接続方法	本機背面のテレビ映像切換スイッチの設定	詳細説明ページ
S2映像またはピン端子の映像端子で接続されている場合	S2/映像	90ページの手順1～5を行い本ページの手順5に戻ります
D（D4/3/2/1）映像端子で接続されている場合	D端子	91ページの手順1～4を行い本ページの手順5に戻ります

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

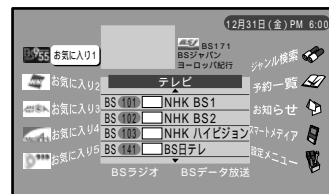
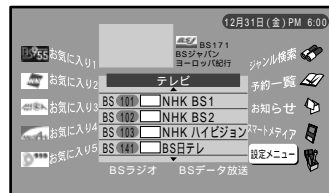
● i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、下記の設定を行ってください。

i.LINK設定

■ i.LINK 接続した機器の登録

● i.LINK機能を使用するには、i.LINK接続した機器を本機に登録しておくことが必要です。
● 最大15台までの機器が登録できます。
● 本機にi.LINK接続できるのはD-VHSビデオ、デジタルテレビなどです。
上記以外の機器はi.LINK接続をしたり機器登録できない場合があります。

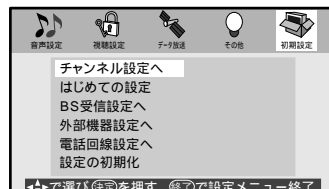
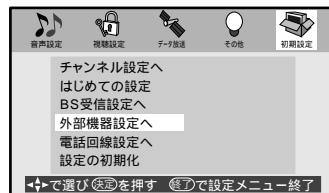
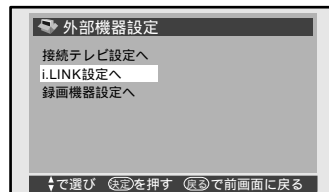
はじめに **登録したい機器を i.LINK 接続する（→ 83 ページ）**

1 **ホームメニューボタンを押す**

● 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

● 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀·▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ**

● 「初期設定メニュー」が表示されます。

4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「i.LINK 設定へ」を選び、決定ボタンを押す**

6 **94～95ページの手順3～5の操作を行う**

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

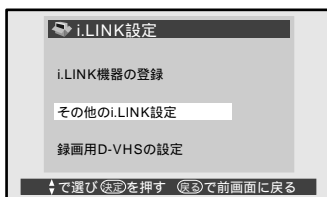
■その他のi.LINK設定

●お買い上げ時は、基本的な状態に設定されています。設定を変える場合は、下記の操作によって行ってください。

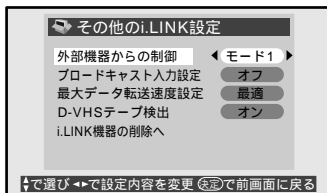
1 前ページの手順１～５までを行う

●i.LINK設定画面が表示されます。

2 カーソル ▲·▼ ボタンで「その他のi.LINK設定」を選び、決定ボタンを押す

●「その他のi.LINK設定」画面になります。

3 下記の操作によって、設定を行う

①外部機器からの制御（モード１／モード2）

●「モード2」にすると、i.LINK接続されている他の機器から制御されるようなります。（８７ページの「他機から本機をi.LINK制御する際のご注意」をご覧ください。）
お買い上げ時は、「モード１」（制御されない）に設定されています。

設定のしかた

●カーソル ▲·▼ ボタンで「外部機器からの制御」を選び、◀·▶ ボタンで「モード1」、「モード2」を選ぶ

②ブロードキャスト入力設定（オン／オフ）

●ブロードキャストとは、i.LINK接続されている複数の機器に同時に信号を送り、それぞれの機器で同時にその信号を受けるようにした機能のことです。

●本機では、ブロードキャスト入力を「オン」にすることで、他機器からのブロードキャストを受けることが できます。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。（操作方法は、→８４ページ）

設定のしかた

●カーソル ▲·▼ ボタンで「ブロードキャスト入力設定」を選び、◀·▶ ボタンで「オン」、「オフ」を選ぶ

●接続される機器によっては、本機で「ブロードキャスト入力設定」を「オン」に設定しても、ブロードキャストをご覧になれない場合があります。

③最大データ転送速度設定（最適／S100）

●お買い上げ時は「最適」に設定されています。（通常はこの状態でご使用ください。）
転送速度が１００Mbpsのケーブルや機器を使用する場合は、「S１００」に設定してください。

設定のしかた

●カーソル ▲·▼ ボタンで「最大データ転送速度設定」を選び、◀·▶ ボタンで「最適」または「S１００」を選ぶ

④D-VHSテープ検出

●録画予約やBS一発録画をデジタル録画で行う際、D-VHSテープが入っているかを自動検出する機能です。お買い上げ時は「オン」に設定されています。

設定のしかた

●カーソル ▲·▼ ボタンで「D-VHSテープ検出」を選び、◀·▶ ボタンで「オン」または「オフ」を選ぶ
「オン」…自動検出を行います。（自動検出は、本機ではなくD-VHSビデオが行います）デジタル録画予約やBS一発録画（デジタル録画の場合）で、実行時にD-VHSテープが入っていない場合は録画を実行しません。
（その場合、デジタル録画予約のときには、「本機に関するお知らせ」を発行します。）
「オフ」…自動検出を行いません。

●D-VHSテープを入れても、D-VHSテープが入っていないというメッセージが表示される場合はこの機能を「オフ」に設定してください。これは、D-VHSビデオにD-VHSテープの自動検出機能がないためです。本機の故障ではありません。

⑤i.LINK機器の削除

●「i.LINK接続した機器の登録」（→９４ページ）で登録した内容を削除します。

●次ページ「i.LINK機器を削除・変更するには」で、削除の操作を行ってください。

4 終了ボタンを押す

●上記で設定した内容は、次にi.LINKボタンを押してi.LINKモードにしたときから反映されます。

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

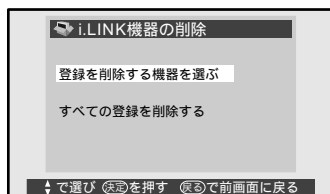
i.LINK設定 つづき

■ i.LINK 機器を削除・変更するには

- 「i.LINK接続した機器の登録」(→94ページ)で登録した内容を削除します。個別に削除する方法と、まとめて削除する方法があります。
- i.LINK機器の登録内容を変更したい場合は、下記の操作で削除した後、「i.LINK接続した機器の登録」を行ってください。

●前ページの手順3の画面でカーソル ▲·▼ ボタンを押して、「i.LINK 機器の削除へ」を選び、決定ボタンを押す

個別に削除する場合

①カーソル ▲·▼ ボタンで「登録を削除する機器を選ぶ」を選び、決定ボタンを押す

②カーソル ▲·▼ ボタンで削除したい機器を選び、決定ボタンを押す
- 「この機器を削除しますか？」が表示されます。

録画用D-VHSの設定

	種別	メーカー	型名
i.1	D-VHS	▲▲	＊＊＊
i.2	D-VHS	▲▲	＊＊＊
i.3			
i.4			
i.5			

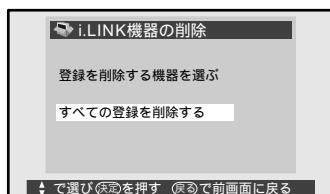
録画で使用するD-VHSを選んでください。
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

③カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す

続けて他の機器を削除する場合は、手順②、③を繰り返す

④削除の操作が終わったら、終了ボタンを押す

全てをまとめて削除する場合

①カーソル ▲·▼ ボタンで「すべての登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す
- 「すべてのi.LINK機器の登録を削除しますか？」が表示されます。

②カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
③削除の操作が終わったら、終了ボタンを押す

■録画用 D-VHS ビデオの設定

- デジタルで録画予約やBS一発録画をする場合に使用するD-VHSビデオの設定を行います。

- デジタルで録画予約やBS一発録画をする場合は、この設定が必要です。お買い上げ時には設定されていませんので、必ず設定を行ってください。

1 下記の操作によって、「i.LINK設定」の画面にする

①ホームメニューボタンを押す
- ホームメニューが表示されます。

②カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
- 設定メニューが表示されます。

③カーソル ◀·▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ
- 「初期設定メニュー」が表示されます。

④カーソル ▲·▼ ボタンで「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

⑤カーソル ▲·▼ ボタンで「i.LINK設定へ」を選び、決定ボタンを押す

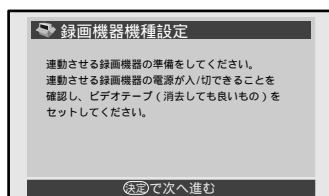
2 96 ページ手順２～４を行う

3 終了ボタンを押す

■録画機器の機種設定

● 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、録画機器への録画予約を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。

はじめに **付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する（→ 82 ページ）**

1 下記の操作によって、「録画機器機種設定」の画面を表示させる

①ホームメニューボタンを押す
● ホームメニューが表示されます。

②カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
● 設定メニューが表示されます。

③カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

④カーソル ▲・▼ ボタンで「録画機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

⑤カーソル ▲・▼ ボタンで「録画機器機種設定」を選び、決定ボタンを押す

2 92～93ページ手順3～8を行い、手順9で終了ボタンを押す

■録画機器連動動作の確認

● ビデオコントロールケーブルによって録画機器が正しくコントロールされているか、確認することができます。

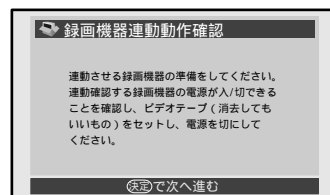
はじめに
● 付属のビデオコントロールケーブルが正しく接続、設置されていること（→82ページ）
● 左記の「録画機器の機種設定」が完了していること

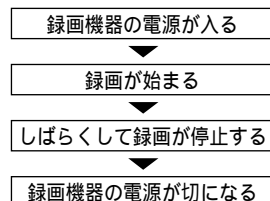
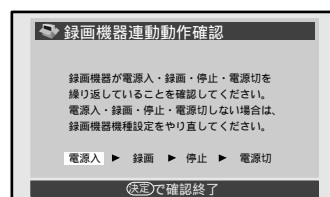
1 「録画機器設定」の画面を表示させる

● 左記の「録画機器の機種設定」の手順**1**の①～④の操作を行い「録画機器設定」の画面にします。

2 カーソル ▲・▼ ボタンで「録画機器連動動作確認」を選び、決定ボタンを押す

3 連動させる機器の準備をする

● 右の画面のメッセージが表示されます。
● 下記のように準備をしてください。
①ビデオテープ（消去してもよいもの）を録画機器に入れる
②録画機器の電源を待機にする

4 決定ボタンを押す

● ビデオコントロールケーブルからリモコン信号が送信され、録画機器が自動的に動作を開始します。
● 画面の表示にしたがって、下記のとおり動作することを確認してください。
（録画機器によっては、下記のそれぞれの動作にしばらく時間がかかる場合があります。）

● 録画機器が上記のとおり正常に動作しない場合は、「付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた」（→82ページ）、「録画機器機種設定」を再度確認してください。
● 「録画機器機種設定」で「該当なし」に設定した場合は、録画機器の連動動作の確認はできません。

5 録画機器が動作していることを確認したら、決定ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

電話回線の設定

● BSデジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを受けるには、電話回線の設定が必要です。
●「はじめての設定」(→101ページ)で上記設定がお済みの場合は、設定の必要はありません。

電話回線設定のしかた

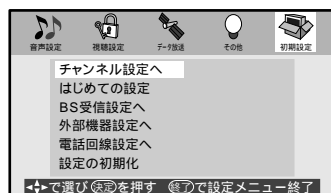
● ここでは電話回線設定の各項目を個別で行う場合の操作方法を説明します。
● 詳しい設定の説明内容は下表の各指定ページをご覧ください。

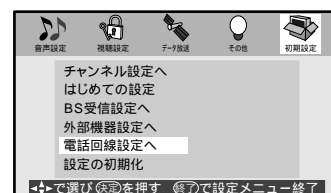
1 **ホームメニューボタンを押す**

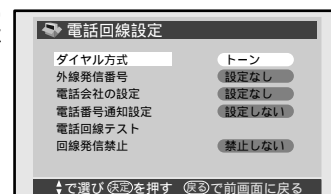
● ホームメニューが表示されます。

2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

● 設定メニューが表示されます。

3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選ぶ**

4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「電話回線設定へ」を選び、決定を押す**

● 電話回線設定画面になります。

5 **カーソル ▲・▼ ボタンで設定する項目を選び、決定を押す**

● 各項目の詳しい設定方法は下記の表をご覧ください。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

●「電話回線設定」には次の項目があります。

電話回線設定	機能概要	詳細説明ページ
ダイヤル方式設定	ダイヤル方式を選びます。	101ページの手順3、4を行い、本ページの手順6に戻ります。
外線発信番号	外線発信時に、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合に設定します。	103ページの手順2～5を行い、本ページの手順6に戻ります。
電話会社の設定	電話の発信をする際に使用する電話会社を設定します。	105ページの項目2～4を行い、本ページの手順6に戻ります。
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者（センター）に通知するかどうかを設定できます。	106ページの手順2、3を行い、本ページの手順6に戻ります。
ダイヤル待ち時間の設定	各種付加番号のうしろに待機時間が必要な場合に設定します。	107ページの手順2～5を行い、本ページの手順6に戻ります。
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	108ページの手順2～4を行い、本ページの手順6に戻ります。
回線発信禁止設定	お子様などのいたずら防止のために、電話の発信を禁止させる設定ができます。	110ページの手順2～4を行い、本ページの手順6に戻ります。

暗証番号の設定

● 暗証番号は、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際や、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

● 暗証番号を忘れないようにご注意ください。

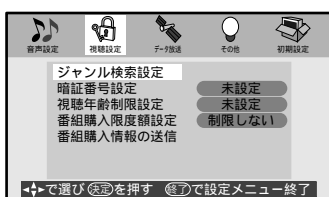
1 **ホームメニューボタンを押す**

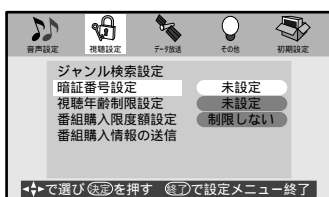
●「ホームメニュー」が表示されます。

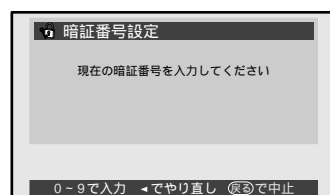
2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

●「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ**

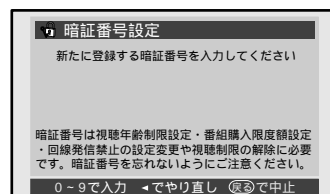
●「視聴設定」画面になります。

4 **カーソル ▲・▼ ボタンで「暗証番号設定」を選び、決定を押す**

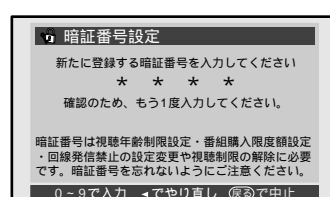
● 決定ボタンを押すと、新規登録の場合は手順**6**の画面に、変更の場合は手順**5**の画面になります。

5 ［暗証番号を変更する場合］
数字ボタン（0〜9）で変更する前の暗証番号を入力する

● 間違って入力した場合は、カーソル左ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。

6 **数字ボタン（0〜9）で登録したい暗証番号を入力する**

● 数字ボタン（0〜9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。

● 間違って入力した場合は、カーソル ◀ ボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。

● 決定ボタンを押すと、項目**7**の画面になります。

7 **数字ボタン（0〜9）でもう一度暗証番号を入力する**

● 暗証番号が設定されます。

8 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

視聴年齢制限の設定

- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。(年齢の設定値は、4歳〜20歳です。)
- 「はじめての設定」(→98ページ)で上記設定がお済みの場合は、設定の必要はありません。

視聴年齢制限設定のしかた

- ここでは年齢制限設定を個別で行う場合の操作方法を説明します。
- 詳しい設定の説明内容は「はじめての設定」(→98ページ)をご覧ください。

1 **ホームメニューボタンを押す**
- 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**
- 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ**

4 **「はじめての設定」の「視聴年齢制限の設定」(→ 98 ページ)の手順 2 〜 4 を行う**

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

視聴制限年齢が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき
- 通常どおり番組は受信できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき
- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。

番組を見るためには

①決定ボタンを押す
②数字ボタン(0〜9)で暗証番号を入力する
- 間違って入力した場合はカーソル ◀ ボタンを押し、もう一度1桁目から入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき
- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。
- 決定ボタンを押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。内容を確認した後、それらの設定を行ってください。

番組購入限度額の設定

- ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
- 「はじめての設定」(→99ページ)で上記設定がお済みの場合は、設定の必要はありません。
- 詳しい設定の説明内容は「はじめての設定」(→98ページ)をご覧ください。

1 **ホームメニューボタンを押す**
- 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**
- 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀・▶ ボタンで「視聴設定」を選ぶ**

4 **「はじめての設定」の「番組購入限度額の設定」(→ 99 ページ)の手順 2 〜 6 を行う**

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

データ放送設定を個別に行うとき

郵便番号と地域の設定

- お住まいの地域に応じたBSデータ放送(天気予報・選挙速報)や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
- 「はじめての設定」(→97ページ)で上記設定がお済みの場合は、設定の必要はありません。

郵便番号と地域の設定のしかた

- 詳しい設定の説明内容は「はじめての設定」(→97ページ)をご覧ください。

1 **ホームメニューボタンを押す**

- 「ホームメニュー」が表示されます。

2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソル ◀·▶ ボタンで「データ放送」を選ぶ**

4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「郵便番号と地域の設定」を選び、決定を押す**

5 **「はじめての設定」の「郵便番号と地域の設定」(→97ページ)の手順3～5を行う**

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

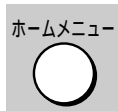
データ放送設定を個別に行うとき つづき

文字スーパー表示の設定

● BSデジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合、本機で表示する言語を選択することができます。
● お買い上げ時は、日本語を優先で表示するように設定されています。

文字スーパー表示設定のしかた

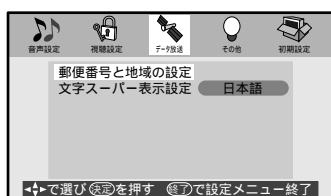
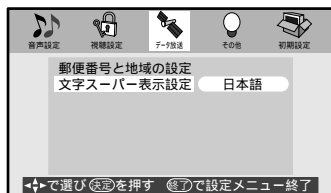
● ここでは文字スーパー表示設定を個別で行う場合の操作方法を説明します。

1 ホームメニューボタンを押す

●「ホームメニュー」が表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

●「設定メニュー」が表示されます。

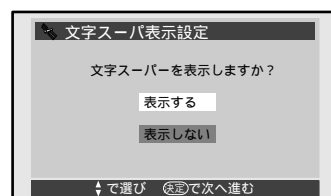
3 カーソル ◀・▶ ボタンで「データ放送」を選ぶ

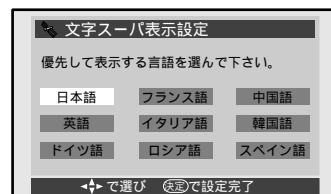
●データ放送設定画面になります。

4 カーソル ▲・▼ ボタンで「文字スーパー表示設定」を選び、決定を押す

5 カーソル ▲・▼ ボタンで「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す

「表示する」を選んだ場合

● 手順**6**に進みます。

「表示しない」を選んだ場合

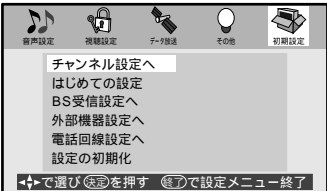
● 手順**7**に進みます。
● 文字スーパーは表示されません。

6 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで言語を選び、決定を押す

● 以下の言語が選択できます。
日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/ロシア語/中国語/韓国語/スペイン語

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

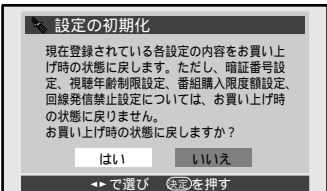
● 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがある場合は、その言語を表示します。
設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

お買い上げ時の状態に戻すには

● お好みに設定された内容を初期化します。(お買い上げ時の状態に戻します。)
● お買い上げ時の状態(初期設定の状態)については、下の表をご覧ください。

1 ホームメニューボタンを押す

●「ホームメニュー」が表示されます。

2 カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

●「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソル ◀・▶ ボタンで「初期設定」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「設定の初期化」を選んで、決定ボタンを押す

4 初期化する場合は、カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す

● 設定された内容が初期化されます。(右の表をご覧ください。)

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">初期設定状態</th></tr>
<tr><td colspan="2">TruSurround</td><td colspan="2">オ ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">光デジタル音声出力</td><td colspan="2">リニアＰＣＭ</td></tr>
<tr><td colspan="2">お好みジャンル</td><td colspan="2">映画、スポーツ、音楽、ニュース・報道、ドラマ、バラエティー、教養・ドキュメンタリー、趣味・教育、福祉、情報・ワイドショー、劇場・公演、アニメ・特撮</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵便番号設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域の設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字スーパー表示設定</td><td colspan="2">日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＧＭ設定</td><td colspan="2">オ ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動ダウンロード</td><td colspan="2">ダウンロードする</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＳアンテナ電源供給</td><td colspan="2">供給する</td></tr>
<tr><td colspan="2">CATVパススルーモード設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">接続されるテレビの設定</td><td colspan="2">ワイドテレビ(16:9)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">i・LINK設定</td><td>i.LINK機器の登録</td><td colspan="2">登録なし</td></tr>
<tr><td>外部機器からの制御</td><td colspan="2">モード1</td></tr>
<tr><td>ブロードキャスト入力設定</td><td colspan="2">オ フ</td></tr>
<tr><td>最大データ転送速度設定</td><td colspan="2">最 適</td></tr>
<tr><td>D-VHSテープ検出</td><td colspan="2">オ ン</td></tr>
<tr><td>録画用D-VHSの設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画機器機種設定</td><td colspan="2">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイヤル方式</td><td colspan="2">トーン</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信番号</td><td colspan="2">外線発信番号なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信待ち時間設定</td><td colspan="2">自動設定する</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話会社の設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">マイラインプラス加入解除</td><td colspan="2">解除しない(122を付加しない)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号通知設定</td><td colspan="2">通知しない</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ダイヤル待ち時間の設定</td><td>電話番号通知</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>マイラインプラス解除番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>電話会社指定番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">お気に入り登録</td><td colspan="2">お気に入り1:BS955(955)
お気に入り2:WNI(910)
お気に入り3:メガポート(900)
お気に入り4:メディアーク(963)
お気に入り5:デジキャス(933)</td></tr>
<tr><td colspan="2">字 幕</td><td colspan="2">字幕オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル設定</td><td colspan="2">114ページの表の設定になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">お知らせ</td><td colspan="2">オールクリア</td></tr>
<tr><td colspan="2">視聴予約、録画予約</td><td colspan="2">オールクリア</td></tr>
<tr><td colspan="2">任意ダウンロード予約</td><td colspan="2">オールクリア</td></tr>
</table>

● 下記については、初期化されません。
・ 暗証番号/視聴年齢制限・番組購入限度額/回線発信禁止設定の状態
● 本機のソフトウェアをバージョンアップされている場合は、「設定の初期化」を行っても、お買い上げ時のソフトウェアに戻すことはできません。ソフトウェアのバージョンアップについては次ページをご覧ください。

バージョンアップするには

●本機のソフトウェアを書き換えて更新させることができます。

■バージョンアップの種類

- ソフトウェアをバージョンアップする方法としては、ダウンロードによってソフトウェアを書き換える方法（→135～137ページ）と、スマートメディア™を使って書き換える方法（→138ページ）の2種類があります。

■ダウンロードについて

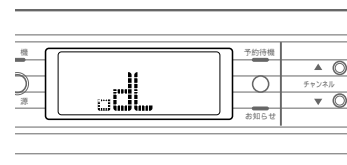
- ダウンロードとは、放送局が書き換え用のソフトウェアを放送電波の中に入れて送信し、それを受信してソフトウェアを書き換える方法のことです。
- ダウンロードには、下表の2つの場合があります。
  どちらの場合でも、ダウンロードが行われるのは電源が待機状態のときのみです。

自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする（→135ページ）	●あらかじめ設定しておくことにより、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
任意ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→136、137ページ）	●任意ダウンロードについての情報が送られてくるとテレビ画面にその情報が表示されます。 ●ダウンロードをするには、ダウンロード情報に基づいて予約を行います。

■ダウンロードの動作について

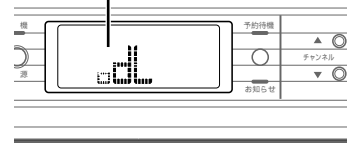
- **ダウンロードは、電源が「待機」状態のときのみ、実行されます。**
- 本機の電源が「入」の場合は、ダウンロード開始時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。
- 自動ダウンロードの場合はダウンロードが実行されると「お知らせ」を発行してご連絡します。「お知らせ」については、64ページをご覧ください。

電源待機時にダウンロードが実行された場合

- 本体表示窓に右の表示がされます。ただし表示窓部は明るくなりません。
- ダウンロードが正常に終了した場合は、電源を「入」にすると通常どおり操作できます。

本体の前面部

ダウンロードの実行中に、電源ボタンが押されたとき

- 本体表示窓に右の表示がされ、表示窓部が明るくなります。また、テレビ画面には右のメッセージが表示されます。
- これ以降は、ダウンロードがすべて完了し、「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが画面に表示されるまで、本機には触れないでください。
- 特に、リセットボタンを押したり、電源コードを抜いたりしないでください。ソフトウェアの書込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。
- 「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されたら決定ボタンを押してください。電源が「待機」になった後、再び「入」になります。以降は通常どおり操作できます。
- 表示窓部を消灯するには、もう一度電源ボタンを押してください。待機中の動作に戻りダウンロードの実行を継続します。

表示窓部が明るくなります。

本体の前面部

「ソフトウェアを更新中です。ソフトウェアを更新中は、本機に触れないでください。」

- ダウンロード中は、電源コードを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。
  ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 電源待機時にダウンロードが実行された場合、一時的に「表示窓」部に明かりがつくことがありますが、故障ではありません。明かりは数秒後に消えます。
- 任意ダウンロードは録画予約した番組が時間変更となり任意ダウンロード予約と重なった場合や悪天候の場合などには実行されません。その場合、ダウンロードに失敗した旨の「お知らせ」を発行します。
- ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。
- BS一発録画中に、任意ダウンロード予約の開始時刻になると任意ダウンロード予約は取り消されます。

送信されてくるソフトウェアをダウンロードする

自動ダウンロードをするには

● 下記の設定をすることによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送信されているときに自動的にダウンロードが行われます。

■「自動ダウンロード」の設定をする

● お買い上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。

1 **ホームメニューボタンを押す**

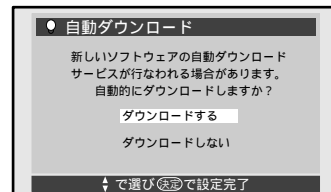
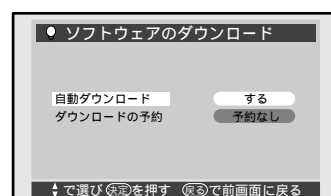
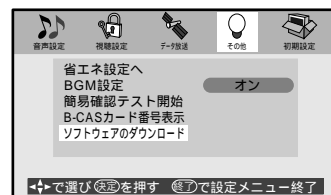
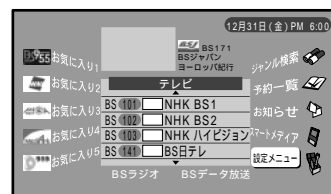
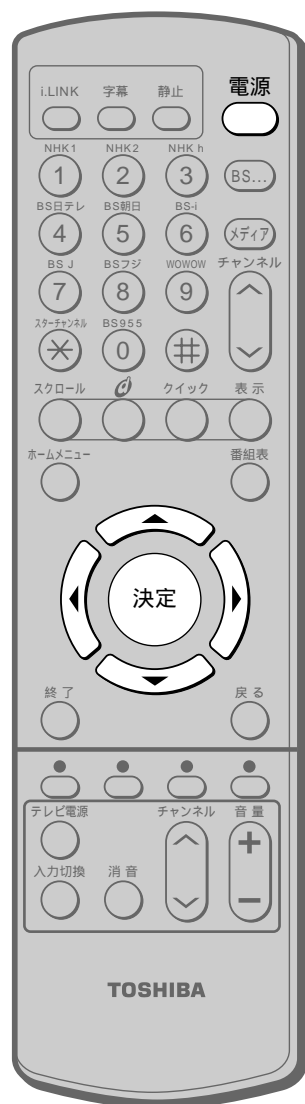
● ホームメニューが表示されます。

2 **カーソル ▲·▼·◀·▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソル ◀·▶ ボタンで「その他」を選び、カーソル ▲·▼ ボタンで「ソフトウェアのダウンロード」を選んで決定ボタンを押す**

4 **カーソル ▲·▼ ボタンで「自動ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソル ▲·▼ ボタンで「ダウンロードする」、または「ダウンロードしない」を選び、決定ボタンを押す**

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

バージョンアップするには つづき

送信されてくるソフトウェアをダウンロードする つづき

任意ダウンロードをするには

■任意ダウンロードを予約する

はじめに

●任意ダウンロードについての情報があるときには、右のメッセージまたは「本機に関するお知らせ」（→64ページ）を発行して連絡します。

「ソフトウェアのダウンロードサービスが行われています。ソフトウェアをダウンロード予約しますか？」

1 **ダウンロードの予約をする場合は、カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

●ダウンロードの予約をしない場合は、「いいえ」を選んで決定ボタンを押してください。

2 **表示されている説明を読み、ダウンロード予約をする場合は、カーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソル ▲·▼ ボタンで予約する時間を選び、決定ボタンを押す**

●ダウンロードが予約されます。
●設定できるダウンロード予約は1つです。

BSデジタル放送の予約と時間が重なっている場合

●右のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押すと前画面に戻ります。
ダウンロードの予約日時を変えるか、または終了ボタンを押した後、BSデジタル放送の予約を取り消してください。（→55ページ）

「番組予約と時間が重なっています。」

4 **表示されるメッセージを読んだ後、決定ボタンを押す**

5 **予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源待機状態にする**

●ダウンロードは電源が「待機」のときのみ、行われます。

手順1で「いいえ」を選んだ場合

● ダウンロードサービスが行われていることを「本機に関するお知らせ」（→64ページ）にてご連絡します。
● ダウンロード予約を行う場合は、下記の手順で行ってください。
「ホームメニュー」、「設定メニュー」、「その他」、「ソフトウェアのダウンロード」、「ダウンロードの予約」と選択し、予約設定を行います。

■任意ダウンロード予約の日時を変更したり、予約を取り消すには

1 下記の操作でダウンロード予約画面にする

①ホームメニューボタンを押す
②カーソル ▲・▼・◀・▶ ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソル ◀・▶ ボタンで「その他」を選び、カーソル ▲・▼ ボタンで「ソフトウェアのダウンロード」を選んで決定ボタンを押す
④カーソル ▲・▼ ボタンで「ダウンロードの予約」を選び、決定ボタンを押す

2 下記を行う

ダウンロード予約の日時を変更する場合

①カーソル ▲・▼ ボタンで変更する日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
●選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。
③予約開始時刻の前までに、電源ボタンを押して電源待機状態にする
●ダウンロードは電源が「待機」のときのみ、行われます。

ダウンロード予約を取り消す場合

①カーソル ▲・▼ ボタンで予約されているダウンロードの日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソル ◀・▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す
●ダウンロード予約が取り消されます。

バージョンアップするには つづき

スマートメディア™のソフトウェアを書き込む

1 スマートメディア™ を本体に差し込む

●差し込みかたなど詳しくは、45ページをご覧ください。
●正しく差し込まれると、自動的にソフトウェアの説明画面になります。

2 画面の説明を読み、ダウンロードする場合はカーソル ◀·▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す

●バージョンアップについてのご注意が表示されます。

3 画面の説明を読んでから、決定ボタンを押す

●ダウンロードが始まります。

以下のメッセージが表示された場合

●以下のメッセージが表示された場合は、ダウンロードできません。
終了ボタンを押して、中止してください。
「このソフトウェアでは書き換えできません」
「バージョンアップ中にエラーが発生しました」

4 右のメッセージが表示されたら、決定ボタンを押す

●自動的に電源が「待機」になった後、再び「入」になります。以降、通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新しました。ソフトウェアのバージョンアップを完了するため決定ボタンを押してください。決定ボタンを押すといったん電源が切れた後、自動的に電源が入ります。」

● ソフトウェアの書き込み中は、電源コードを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。
動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
● ダウンロードにより、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。

● バージョンアップ実行中は、予約は実行されません。

アイコン一覧

■番組についてのアイコン

アイコン	説　明
	ペイ・パー・ビュー番組
	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
	番組連動データ放送
	字幕放送

■録画、予約、お知らせについてのアイコン

アイコン	説　明
	未読の「お知らせ」
	既に読んだ「お知らせ」
	予約
	録画予約
	録画できます
	録画購入すれば録画できます（録画購入してもデジタル録画できない場合もあります。）
	デジタル録画はできません
	録画できません
	光デジタル音声の録音ができます
	録画購入すれば光デジタル音声の録音ができます
	光デジタル音声の録音はできません

エラー表示、メッセージ表示について

●代表的なエラー表示を説明します。

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「BSアンテナ線がショートしています。アンテナとの接続をご確認ください。」	●アンテナ線の心線とアース線(網線)がショートして信号を受信できない。	●アンテナ線を調べてください。(→67ページ)
●「電波が受信できません。」	●雨や雷などの気象条件によって一時的に受信できない。 ●アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ●アンテナの設定値が合ってない。 ●アンテナの方向ずれや故障。	●アンテナの設定が合っているか確かめてください。(→67ページ) ●アンテナ線を確認してください。 ●アンテナの方向を確かめてください。
●「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。」	●気象条件などにより信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	●降雨対応放送に切り換えることができます。(40ページ)
●「現在放送されていません。」	●選局したチャンネルでの放送が休止中。 ●放送時間が終了している。	●番組表などで放送時間をお確かめください。 ●放送中のチャンネルを選局してください。
●「放送チャンネルではないためご覧になれません。」	●通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ●ホテル客など特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	●このチャンネル(番組)は視聴できません。 ●通常の放送チャンネルを選局してください。
●「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	●B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●B-CASカードの装着をご確認ください。(→66ページ)
●「B-CASカードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。	●B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●それでも正常にはたらかない場合は、放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	●付属のB-CASカード以外のカードを挿入している。	●付属のB-CASカードを挿入してください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。	●使用できないB-CASカードを挿入している。	●付属のB-CASカードを挿入してください。
●「この番組には視聴制限があります。」	●設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ●設定した購入上限額よりも高い料金の番組を選局した。	●ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(→129ページ)

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。」	● 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	● このチャンネル(番組)は視聴できません。 ● 視聴制限のないチャンネル（番組）を選局してください。
●「番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。」	● B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっている。	●「番組購入情報の送信」を行ってください。（→63ページ）
●「BS番組を録画中です。本体電源ボタンを押すと録画を中止します。」	● 録画予約実行中に操作された場合。 ● BS一発録画実行中に操作された場合。	● 録画が終了してから切り換えてください。 ● 録画を中止する場合は、本体電源ボタンを押してください。
●「回線発信禁止に設定されています。」	● 回線発信禁止機能が「禁止する」に設定されているときに、双方向データ放送などで電話回線を使用した。	● 回線発信禁止の設定を「禁止しない」にする。（→110ページ）

エラー表示、メッセージ表示について つづき

■i.LINKに関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「選択された機器にi.LINK接続されていません。」	● i.LINK操作パネルの機器リストで選んだ機器に接続を失敗した。 ● i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	● i.LINK機器の接続を確認してください。 ● もう1度操作パネルでこの機器を選んでください。 ● 相手機器の電源を入れて立ち上げてください。 ● 相手機器のi.LINK設定を見直してください。
●「切り換えられません。」	● i.LINK機器が登録されていません。	● i.LINK接続、設定を行ってください。（→83ページ）
●「ブロードキャスト出力機器はありません。」	● ブロードキャスト出力している機器がない。	● i.LINK接続機器をご確認ください。
●「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	●「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	● この機器から出力されている信号は本機では受信できません。 ● 本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
●「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	● i.LINK接続ケーブルが外れている、または接続が不十分。	● 接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、決定ボタンで中止し、i.LINK機器の接続、設定を確認ください。（→83ページ）
●「i.LINK機器の接続を確認してください。」	● i.LINK機器との接続が正しくない。	● i.LINK機器はループ状態に接続できません。正しく接続してください。（→87ページ）
	● i.LINK機器を64台以上接続している。	● 64台以上のi.LINK機器接続はできません。 ● i.LINK機器の接続は63台以下にしてください。
●「外部機器から接続されています。」	● 外部のi.LINK機器から接続されているため、i.LINK操作ができません。	● i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続を終了させてください。

修理を依頼される前にお調べください

このようなとき	ここをお調べください
すべての操作ボタンを受け付けない	•「バージョンアップするには」(→134ページ)でソフトウェアの書き替えを行なっている場合は、終了するまで、操作ボタンは受けつけません。終了するまで、本機には触れないでください。 •上記以外の場合は本体前面のとびらを開き、つまようじなどの細いものでリセットボタンを押して、リセットしてください。(→18ページ)
電源が入らない	•本機の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
映像や音声が出ない	•テレビおよび本機の電源が入っていますか。 •本機がテレビに正しく接続されていますか。またテレビの入力切換は間違っていませんか。 •衛星からのアンテナ入力ケーブルは正しく接続されていますか。 •アンテナの向きは正しく合っていますか。 •アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 •「アンテナ電源供給の設定」は合っていますか。(→118ページ) •接続されるテレビに合わせた設定がされていますか。 74ページを参照して、ご使用のテレビとの設定を確認してください。
音声は出るが映像が出ない、または乱れる	•接続されるテレビに合わせた設定がされていますか。 74ページを参照して、ご使用のテレビとの設定を確認してください。
光デジタル音声が出ない	•「光デジタル音声出力の設定」は接続する機器に合わせて正しく設定されていますか。(→116ページ)
横長映像や縦長映像になる	•「接続されるテレビの設定」(→90ページ)がご使用のテレビの種類(ワイドテレビ「16:9」、通常のテレビ「4:3」)に合わせて正しく設定されていますか。
有料放送が視聴できない	•B-CASカードは正しく挿入されていますか。(→66ページ) •有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 •電話回線の接続や設定は正しいですか。(→68ページ、101ページ)
チャンネルが変えられない	•録画予約やBS一発録画が実行中ではありませんか。
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約できない	•録画機器の入力切換を、正しく設定していましたか。 •録画機器の電源を「切(待機)」にしていましたか。 •録画機器本体での予約設定が行なわれていて、予約待機の状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか。 •録画機器機種設定が正しく行なわれていますか。(→92ページ) •ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行なわれていますか。(→82ページ)
「放送局からのお知らせ」が見られない	•B-CASカードは正しく挿入されていますか。(→66ページ)
未読の「お知らせ」がなくなっている	•「放送局からのお知らせ」は10個、「本機に関するお知らせ」は20個までが記憶されます。 これを超えると、すでに読んだ「お知らせ」で古いものから自動的に削除されます。 •「設定の初期化」をしませんでしたか。
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	•BSアンテナとの接続にBSデジタル放送に非対応なケーブルなどを使用していませんか。 •携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。BSデジタル放送に対応したケーブルなどをご使用ください。(→67ページ)
付属のリモコンでテレビの操作ができない	•リモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作していますか。 •リモコンのメーカー設定は正しく行なわれていますか。(→16ページ) お願い 設定した内容は、乾電池交換でお買い上げ時の設定に戻ることがありますので、その場合はもう一度設定してください。(→16ページ)

■次のような場合は故障ではありません

• BSアンテナへの積雪や豪雨などによって電波が弱くなり、一時的に映像や音声などにノイズが発生したり、ひどい場合にはまったく視聴できなくなる場合があります。
これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
• 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。
このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。

用語について（索引）

タ行

ハ行

ヤ行

ラ行

BSデジタル放送の受信契約について

このページについてのお問い合わせは、NHK放送センター（このページの下部に記載）にお願いします。

ＮＨＫ・BSデジタル放送をご覧いただくには

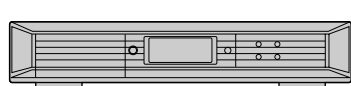
ＮＨＫは…

<デジタルハイビジョン>
美しい高画質映像やデジタルサウンドによる高音質で、大河ドラマ・ニュース・大型企画番組などをお届けします。
<データ放送>
番組ガイドや気象情報・ニュースなど、欲しい情報をすぐに見ることのできる新しい放送サービスです。
<デジタルBS1>
世界と日本の動きを多角的に伝えるニュース・情報番組、世界中のメジャースポーツをダイナミックな編成でお届けします。
<デジタルBS2>
見応えある大型番組・海外の人気ドラマや、公開番組・地域密着型の番組を数多く編成し、お楽しみいただきます。

ＮＨＫ衛星放送をご覧にいただくためには 衛星受信契約 が必要です。

（すでに衛星受信契約をいただいている場合は受信契約は不要です。）

1 B-CASカードを挿入してください

① B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入してください。（→66ページ）

本機　B-CASカード

② BSデジタル放送が受信されていることをご確認ください。

2 B-CASカードの登録をお願いします

B-CASカードについているユーザー登録はがき（赤と黒の2色刷り）に必要事項をご記入・押印のうえ、ポストに投かんしてください（切手は不要です）。

ＮＨＫでは、BSデジタル受信機のメッセージ機能を利用して受信確認を行います。
ユーザー登録はがきをお送りいただけない場合、またはお送りいただいても、ＮＨＫへの情報提供に同意いただけない場合は、平成13年1月以降、ＮＨＫのチャンネルに合わせると、15分間、画面左下にご連絡をお願いするメッセージが出ます。

（メッセージ表示例）

**ＮＨＫへのBS受信機設置のご連絡をお願いしております。
フリーダイヤル0120-XXXXXXを
ご利用ください。メッセージはすぐに消えます。**

画面に表示されるＮＨＫのフリーダイヤルにお電話いただき、B-CASカード番号、住所、お名前、電話番号をお伝えいただければ、メッセージはすぐに消えます。

3 ＮＨＫ衛星受信契約をお願いします

テレビをお持ちの場合は、放送法第32条により、ＮＨＫとの受信契約が必要です。
① 本機に梱包されている契約書・パンフレットの中にあるＮＨＫ「衛星放送受信契約書」のはがきを取り出してください。
② 必要事項をご記入ください（押印もお願いします）。
③ ポストに投かんしてください（切手は不要です）。

受信料額（消費税を含みます）	支払区分	2か月払額	6か月前払額	12か月前払額
衛星カラー契約（カラー契約受信料を含みます）	口座振替・継続振込	4,580円	13,090円	25,520円
	訪問集金	4,680円	13,390円	26,100円

（平成12年現在）　（沖縄県は料額が異なります。）

ＮＨＫは、みなさまからいただいた受信料だけで運営されている、視聴者のみなさまのための「公共放送」です。

より多くの方に楽しんでいただく番組を放送するのはもちろんですが、福祉や教養・教育番組など、社会にとって必要な番組をお届けし、また、災害や大事故がおきた時には、みなさまの生命・財産を守るための情報を素早く、正確にお届けしています。
これらの役割を果たすために必要な経費を、全国のテレビをお持ちの方々から公平にご負担いただいているのが「受信料」です。

ＮＨＫ・BSデジタルキャラクター
きらり

新しい世界 NHK BSデジタル放送

お問い合わせ先：ＮＨＫ放送センター
TEL：03-3465-1111（代表）

WOWOWデジタル有料放送をご覧いただくには

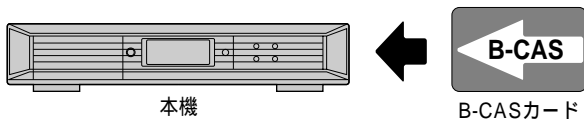
このページについてのお問い合わせは、WOWOWカスタマーセンター（下記の手順 **4** に記載）にお願いします。

WOWOWとは…

WOWOWは、HDTV（有効走査線1080本の高画質テレビジョン）の高品位画面を使用してハリウッドはもとより世界中の優れた映画作品を放送します。また、BSデジタル放送では唯一、マルチチャンネル放送を実現します。従来のアナログ放送では1チャンネルを使って映画､音楽、スポーツを放送していました。マルチチャンネル放送では、WOWOW、WOWOW-2、WOWOW-3と言うように3チャンネルの放送がお楽しみいただけます。WOWOWチャンネルではサイマル放送、WOWOW-2では常に映画番組、WOWOW-3では常にスポーツと言うように見たい番組が見たい時にご覧になれます。映画番組の中には5.1chサラウンド・ステレオに対応したものがあり、お手持ちの5.1chサラウンド・ステレオ対応のオーディオ機器に接続いただくと、家庭に居ながらにして映画館のような大迫力のホームシアターとしても楽しんでいただけます。

WOWOWデジタル有料放送をご覧にいただくためには **加入契約** が必要です。

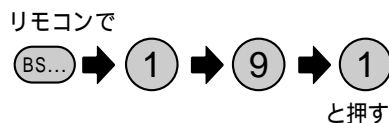
1 BSデジタル放送を受信しましょう

① B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入する（→66ページ）

② BSデジタル放送が受信されていることを確認する

2 WOWOW有料放送を受信しましょう

① リモコンでWOWOW有料放送191チャンネルに合わせる

リモコンで BS… ➡ 1 ➡ 9 ➡ 1 と押す

リモコン

② この状態ではテレビの画面は映像のない状態（スクランブルがかかっている）及び「契約がないため視聴できません」「ご覧のチャンネルにお問い合わせください」のメッセージが表示されている

テレビ画面

契約がないため視聴できません
ご覧のチャンネルにお問い合わせください。

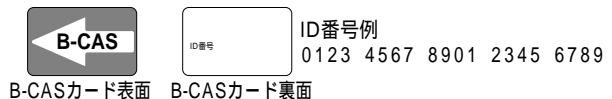
3 スクランブルを解除しましょう

① 電話をする前にB-CASカードのID番号を確認する
（カード台紙の加入申込書用バーコードシールの20桁の番号、またはB-CASカードの裏面の20桁の番号）

② WOWOWカスタマーセンターに電話する

スクランブル解除専用フリーダイヤル
0120-3-81649（09:00～20:00年中無休）

B-CASカード表面　B-CASカード裏面

ID番号例
0123 4567 8901 2345 6789

③ オペレーターにB-CASカードのID番号を告げる

④ 15分～30分程度でWOWOWデジタル放送画面に切り替わったことを確認

⑤ WOWOW有料放送が視聴可能です

4 加入契約をしましょう

① 本機に同梱されている加入契約書・パンフレットの入った透明の封筒から加入契約書を取り出す

② 加入契約書に必要事項を記入する

③ 記入もれがないかどうか確認する

④ 記入済みの加入契約書をWOWOWカスタマーセンターに郵送する

注1 必ずスクランブル解除後2週間以内に郵送しないと再び「スクランブル」がかかり番組が視聴できなくなります。

注2 仮登録、本登録したにもかかわらず視聴できないとか、視聴契約の確認等のご質問はWOWOWカスタマーセンター0570－00808にお電話ください。携帯電話や各種LCRなどの設定によって上記の電話番号をご利用いただけない場合は、045－683－8080へおかけください。

本機に同梱されている加入契約書･パンフレットの入った透明な封筒

WOWOW加入契約書
必要事項記入

2週間以内に郵送

WOWOW有料放送加入契約完了

5 「B-CASカード登録」がまだの方は…

※ 本機に同梱されているB-CASカードのユーザー登録はがきにも必要事項を記入の後、ご投函ください。

加入契約が完了しました。

それでは、WOWOWの高画質、高音質、豊富な番組と信頼性の高いサービスをご満喫ください。ありがとうございました。

その他

BSデジタル放送の受信契約について つづき

スター・チャンネル（200ch）をご覧いただくには

このページについてのお問い合わせは、スター・チャンネル　カスタマーセンター（このページの下部に記載）にお願いします。

スター・チャンネルとは…

- （株）スター・チャンネルは映画専用の放送局です。日本初の映画専用チャンネルとしてスタートしてから15年。全国のケーブルテレビやCSデジタル放送を通じて多くの人からの支持を集めています。
- 世界の映画ファンが注目するハリウッドのメジャー作品を中心に、世界中の新作・話題作をノーCM、24時間放送。いつでも映画が楽しめます。

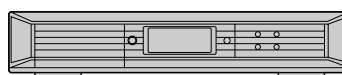
スター・チャンネルは有料放送です。ご覧にいただくには 加入契約 が必要です。

1 B-CASカードのユーザー登録をしましょう

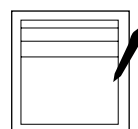
- 本機に同梱されているB-CASのユーザー登録はがきに必要事項を記入の上、投函する

B-CASカード　ユーザー登録完了

2 B-CASカードを挿入しましょう

- B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入する（→66ページ）

3 スター・チャンネル加入申込書を送りましょう

- 本機に同梱されている加入申込書に必要事項を記入の上、申込書をスター・チャンネル　カスタマーセンターに送る

契約完了

※ケーブルテレビ局でご視聴の方は、視聴方法が異なる場合がございます。ご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

お問い合わせは
スター・チャンネル　カスタマーセンターへ

0570－010－110

年中無休　営業時間9:00～20:00

※携帯電話・PHSはご使用できません。
※電話番号はお間違いのないようにお願いいたします。

スター・チャンネル最新情報はホームページでもご覧頂けます
http://www.star-ch.co.jp

BS955のデータ放送をご覧いただくには

このページについてのお問い合わせは、（株）メディアサーブ双方向サービスセンター・登録係（このページの下部に記載）にお願いします。

BS955をはじめ「BSデジタル放送」各局（予定）の双方向サービスをお楽しみいただくためには双方向サービスセンターへの 利用者登録 が必要です。

BS955とは…
（株）メディアサーブが運営するBSデジタルデータ放送局の呼称です。

双方向サービスセンターとは…
（株）メディアサーブが運営するBSデジタル放送用の双方向データ処理を行うサーバー施設の呼称です。

登録料・年間費は無料！　方法は4通り、さあ今すぐ登録しましょう！
※あらかじめ利用者規約をお読みになり、電話回線の接続を済ませてから、お好みの方法でお申し込み願います。

[1]　ハガキでのお申し込み

● 同梱されているB-CASカードの「加入申込書用バーコードシール」をはがし、双方向サービスセンター宛て「利用者登録申し込みハガキ」に貼付し、必要事項を記入して郵便ポストに入れてください。

[2]　FAXでのお申し込み

● 同梱されているB-CASカードの「加入申込書用バーコードシール」をはがし、双方向サービスセンター宛て「FAX申し込み用紙」に貼付し、必要事項を記入して　FAX番号 03-5351-9025 に送信願います。

[3]　電話でのお申し込み

● 同梱されているB-CASカードの「加入申込書用バーコードシール」の番号と、必要事項をメモして双方向サービスセンター・登録係にお電話ください。登録代行いたします。

[4]　リモコンを使ってテレビ画面でのお申し込み

● この方法での登録は2000年12月１日の放送開始以降から利用できます。「双方向サービス登録申し込みメニュー画面」を映し出し、画面上の申し込み案内に従ってリモコンで入力し送信してください。

※本機に同梱されているB-CASカードのユーザー登録はがきも必要事項をご記入の上、投函願います。

お問い合わせは
（株）メディアサーブ　双方向サービスセンター・登録係までお電話ください。

年中無休　営業時間9:00〜21:00
・東京 03ー5351ー9388　・大阪 06ー6444ー6055
・名古屋 052ー265ー3866　・福岡 092ー732ー8901

仕様

種類		BSデジタルハイビジョンチューナー	
		本体	リモコン
形名		TT-D2000	CT-90051
電源		AC100V　50/60Hz　共用	DC3V（単四形、2本）
消費電力	電源入	24W（アンテナ電源供給しないとき）	―
	待機	1.0W（i.LINK設定モード1の場合、アンテナ電源供給しないとき）	
		5.0W（i.LINK設定モード2の場合、アンテナ電源供給しないとき）	
外形寸法	幅	370mm	
	高さ	73mm（脚含む）	
	奥行	324mm（端子含む）	
質量（重量）		2.8kg	116g（乾電池含まず）
受信周波数		1032～1336MHz	
入力・出力端子	アンテナ端子	BS IF入力：1（BSアンテナ電源供給15V　最大4W）　BS IF出力：1	
	コンポーネント出力端子 D4端子	D4/D3/D2/D1映像　Y：$1V_{(P-P)}$, 75Ω, P_B/C_B, P_R/C_R：$0.7V_{(P-P)}$, 75Ω	
	映像出力（テレビ用：1）（ビデオ用：1）	S2映像：Y：$1V_{(P-P)}$, 75Ω　C：$0.286V_{(P-P)}$, 75Ω 映像Y：$1V_{(P-P)}$, 75Ω	
	音声出力（テレビ用：1ビデオ用：1）	音声：250mV(rms)（標準）、2.2KΩ以下	
	光デジタル音声出力	トスリンク	
	i.LINK（TS）（2系統）	IEEE1394準拠、4ピン　S200対応、MPEG-TS信号	
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック	
	デジタルチューナーコントロール端子	口径3.5mmミニジャック　当社カラーテレビ 36ZP50,32ZP50,28ZP50,36ZX720,32ZP720に接続	
	スマートメディアスロット	3.3V品のスマートメディア™対応	
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式	
使用条件		使用周囲温度　0℃～40℃　使用周囲湿度　10%～80%（結露のないこと）	
主な付属品		取扱説明書 ×1部 リモコン ×1個 リモコン用乾電池（単四） ×2本 電源コード ×1本 F型コネクター付ケーブル（1.5m） ×1本 ビデオコントロールケーブル ×1本	S映像用コード ×1本 映像用コード ×1本 音声用コード ×1本 電話機コード（10m） ×1本 モジュラー分配器 ×1個 B-CASカード ×1枚

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This BS Tuner is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品の改造は感電、火災などの恐れがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- リモコンで電源を切っても本機にわずかな電流が流れています。
- 電源が待機状態でも自動的にBSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行う場合があります。この場合は、本体表示窓に「ロ」が表示され、一時的に電源入と同じ24Wの電力を消費します。

※本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

B-CASカードID番号記入欄

●下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
・お問い合わせの際に役立ちます。

その他